

(様式4)

一般社団法人薬学教育評価機構

(調書)

薬学教育評価 基礎資料

(平成25年5月1日)

昭和大学薬学部

薬学教育評価 基礎資料

(目次)

	資料概要	ページ
基礎資料 1	学年別授業科目	1
基礎資料 2	修学状況・休学退学者数・学士課程修了状況	8
基礎資料 3	薬学教育モデル・コアカリキュラム等のSBOs に該当する科目	別紙(資料5-7)
基礎資料 4	カリキュラムマップ	11
基礎資料 5	語学教育の要素	12
基礎資料 6	4年次の実務実習事前学習スケジュール	13
基礎資料 7	学生受入状況	17
基礎資料 8	教員・事務職員数	18
基礎資料 9	専任教員年齢構成	19
基礎資料10	専任教員の担当授業科目および時間数	20
基礎資料11	卒業研究の配属状況	40
基礎資料12	講義室等の数と面積	41
基礎資料13	学生閲覧室等の規模	43
基礎資料14	図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	44
基礎資料15	専任教員の教育・研究業績	45

	科目名	前期・後期	1 年 次				授業方法			単位数
			1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数					
教養教育・語学教育	医療物理と薬の生体内作用	前期	116・117	2	233	コ			1	
	情報リテラシー	前期	116・117	2	233	コ			1	
	Freshman English A	前期	37~40	6	233	コ			1	
	Conversational English	前期	37~40	6	233	コ			1	
	健康と運動の科学	前期	57~60	4	233	タ			1	
	保健・医療への招待A	前期	233	1	233	オ			1	
	コミュニケーションA	前期	57~60	4	233	コ			1	
	医療人のためのヒューマンズムA	前期	57~60	4	233	コ			1	
	チーム医療の基盤A	前期	57~60	4	233	コ	S		1	
	基礎数学	前期	233	1	233	コ			1	
	(択)ドイツ語A	前期	8~25	4	67	コ			1	
	(択)フランス語A	前期	2~3	3	7	コ			1	
	(択)中国語A	前期	27~52	3	115	コ			1	
	(択)日本語文章論A	前期	19・33	2	52	コ			1	
	(択)ヨーロッパ文化論A	前期	8~36	4	81	コ			1	
	(択)演劇A	前期	1~14	3	21	コ			1	
	(択)美術A-美術の歴史I (古代から19世紀まで) -	前期	37~69	3	144	コ			1	
	(択)音楽A	前期	1~1	4	4	コ			1	
	(択)生命倫理A	前期	12~27	3	60	コ			1	
	(択)哲学的思考	前期	1・2	2	3	コ			1	
	(択)人間と宗教	前期	4~8	3	17	コ			1	
	(択)ジェンダーの社会学	前期	19	1	19	コ			1	
	(択)社会関係と自己	前期	7・12	2	19	コ			1	
	(択)民主主義と政治構造	前期	4	1	4	コ			1	
	(択)一般社会人の法学入門-法学I-	前期	54~74	3	196	コ			1	
	(択)歴史と事実	前期	3・8	2	11	コ			1	
	(択)数学A	前期	2~4	3	8	コ			1	
	(択)人間学I-哲学的探求-	前期	23~45	1	98	コ			1	
	統計の基礎	後期	233	1	233	コ			1	
	人の行動と心理	後期	116・117	2	233	コ			1	
	Freshman English B	後期	35~41	6	233	コ			1	
	Paragraph Writing	後期	35~41	6	233	コ			1	
	健康とスポーツの科学	後期	57~60	4	233	タ			1	
	保健・医療への招待B	後期	233	1	233	コ			1	
	コミュニケーションB	後期	57~60	4	233	コ			1	
	医療人のためのヒューマンズムB	後期	57~60	4	233	コ			1	
	チーム医療の基盤B	後期	57~60	4	233	コ	S		1	
	(択)ドイツ語B	後期	11~24	3	54	コ			1	
	(択)フランス語B	後期	4・6	2	10	コ			1	
	(択)中国語B	後期	26~66	3	126	コ			1	
	(択)日本語文章論B	後期	4・4	2	8	コ			1	
	(択)ヨーロッパ文化論B	後期	3~20	4	47	コ			1	
	(択)文学B-文学における苦悩の表現-	後期	4	1	4	コ			1	
	(択)演劇B	後期	1~4	3	9	コ			1	
	(択)美術A-美術の歴史II (19世紀-20世紀) -	後期	44~65	3	154	コ			1	
	(択)音楽B	後期	1~2	4	5	コ			1	
	(択)生命倫理B	後期	14~21	3	49	コ			1	
	(択)現代思想	後期	5	1	5	コ			1	
	(択)死生観	後期	3~13	3	22	コ			1	
	(択)ジェンダーの社会学	後期	4	1	4	コ			1	
(択)近代家族論	後期	3・4	2	7	コ			1		
(択)国際政治学-グローバル社会を生きる-	後期	3・7	2	10	コ			1		
(択)医療従事者の法学入門-法学II-	後期	45~98	3	216	コ			1		
(択)歴史と国民	後期	5	1	5	コ			1		
(択)人間学II-社会的探求-	後期	11~47	3	72	コ			1		
(択)医療人としてのコミュニケーション入門	後期	27~41	4	125	コ			1		
薬学への招待	前期	233	1	233	オ			1		
薬になる植物	前期	233	1	233	コ			1		
有機化合物の基礎A	前期	233	1	233	コ			1		
生命活動を担う分子(生命の基本単位)	前期	116・117	2	233	コ			1		
熱力学と化学平衡	後期	233	1	233	コ			1		
有機化合物の基礎B	後期	233	1	233	コ			1		
人体の成り立ちと機能(消化器・血液・運動系・神経)	後期	233	1	233	コ			1		
生命活動を担う分子(細胞構成因子)	後期	233	1	233	コ			1		
実習	総合サイエンス臨床実習入門	前期	45~50	5	233	実			1	
	基礎サイエンス実習I	前期	233	1	233	実			1	
	基礎サイエンス実習II	後期	233	1	233	実			1	
	基礎サイエンス実習III	後期	233	1	233	実			1	
	初年次体験実習	後期			233	コ	S	実	1	
単位数の合計							(必須科目)		32	
							(選択必修科目)		8	
							合計		40	

(凡例) 講義=コ、 PBL/SGD=S、 実習=実、 オムニバス=オ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマンズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)

「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S

6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-2) 学年別授業科目

	2 年 次									
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数	
教養教育・語学教育	Speech and Recitation	前期・後期	31~43	6	211	コ			1	
	Listening for TOEIC	前期・後期	31~43	6	211	コ			1	
薬学専門教育	物質の状態と変化	前期	211	1	211	コ			1	
	有機反応の基礎	前期	211	1	211	コ			1	
	化学平衡	前期	211	1	211	コ			1	
	人体の成り立ちと機能 (感覚器・消化器・循環器・皮膚)	前期	211	1	211	コ			1	
	人体の成り立ちと機能 (呼吸器・血液・泌尿生殖器・内分泌)	前期	211	1	211	コ			1	
	生命活動を担う分子(細胞の動的機能)	前期	211	1	211	コ			1	
	生命活動を担う分子(DNAからタンパク質へ)	前期	211	1	211	コ			1	
	薬の作用と生体内運命	前期	211	1	211	コ			1	
	微生物と感染症	前期	211	1	211	コ			1	
	プレゼンテーション・コミュニケーション	前期	211	1	211	コ	S		1	
	物質の構造	後期	211	1	211	コ			1	
	医薬品の検出と定量	後期	211	1	211	コ			1	
	官能基	後期	211	1	211	コ			1	
	生薬とは何か	後期	211	1	211	コ			1	
	生命活動を担う分子(代謝とエネルギー)	後期	211	1	211	コ			1	
	生体防御と免疫異常	後期	211	1	211	コ			1	
	生活環境と健康	後期	211	1	211	コ			1	
	個人・集団・社会と健康	後期	211	1	211	コ			1	
	薬と疾病(症候と臨床検査・感染症)	後期	211	1	211	コ			1	
薬と疾病(悪性腫瘍・アレルギーと免疫疾患)	後期	211	1	211	コ			1		
生と死	後期	211	1	211	コ	S		1		
実習	物質の性質と分析 実習	前期	46	4	184	コ	実	演	2	
	医薬品の化学Ⅰ 実習	前期	3	1	211	コ	実	S	2	
	人体の成り立ちと機能 実習	前期	106	2	211	実	S		0.5	
	診療の流れを知る	前期	211	1	211	実	S		1	
	(択) 安全な食生活入門	後期	62		62	コ	S	実	1	
	(択) 化粧品学入門	後期	62		62	コ	実		1	
	(択) 医薬品の開発と生産入門	後期	61		61	コ	S	見	1	
	医薬品の化学Ⅱ 実習	後期	基本: 3名/group 漢方丸剤: 6名 漢方軟膏: 1名	1	211	コ	実	S	1	
生命体の成り立ち 実習	後期	3~4	61	211	実	S		2		
演習	生理から病態へ	後期			211	コ	演		1	
単位数の合計							(必須科目)			32.5
							(選択必修科目)			1
							合計			33.5

(凡例) 講義=コ、 PBL/SGD=S、 実習=実、
見学=見、 演習=演、 オムニバス=オ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)

「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-3) 学年別授業科目

	3 年 次								
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法			単位数
薬学専門教育	薬学英語入門	前期	63~64	3	190	コ			1
	溶液の性質	前期	190	1	190	コ	タ		1
	ターゲット分子の合成	前期	190	1	190	コ			1
	薬の宝庫としての天然物	前期	190	1	190	コ			1
	生命活動を担う分子(遺伝子操作)	前期	190	1	190	コ			1
	薬の臓器への到達と消失	前期	190	1	190	コ			1
	薬の効き方	前期	190	1	190	コ			1
	薬と疾病(神経系疾患)	前期	190	1	190	コ			1
	薬と疾病(精神系・耳鼻科系疾患)	前期	190	1	190	コ			1
	処方箋と調剤	前期	190	1	190	コ			1
	物質の性質と製剤	前期	190	1	190	コ			1
	栄養と健康	前期	190	1	190	コ			1
	医療人としての心構え	前期	190	1	190	オ			1
	薬学英語	後期	63~64	3	190	コ			1
	医薬品の剤形	後期	190	1	190	コ			1
	分析化学の臨床応用	後期	190	1	190	コ			1
	医薬品・生体分子の化学	後期	190	1	190	コ			1
	生命活動を担う分子(情報伝達と細胞応答)	後期	190	1	190	コ			1
	化学物質の生体への影響	後期	190	1	190	コ			1
	薬の体内動態と薬物治療	後期	190	1	190	コ			1
	薬と疾病(心・血管系疾患)	後期	190	1	190	コ			1
	薬と疾病(炎症と骨・関節疾患・腎・泌尿器疾患)	後期	190	10	190	コ			1
	薬と疾病(代謝・眼科疾患)	後期	190	1	190	コ			1
医薬品情報と患者情報	後期	190	1	190	コ			1	
社会保障制度と薬剤経済	後期	190	1	190	コ			1	
実習	救急医療・外科医療と薬剤師	後期	190	1	190	コ	S	実	1.5
	健康と環境	前期	47~48	4	190	コ	オ	実	1.5
	製剤化のサイエンス	前期	5~6	36	183	コ	実		1
	調剤・患者対応入門	前期	.	15	190	コ	S	実	1.5
	薬の効くプロセス(PK/PD)	後期	7 or 8		190	コ	実		2.5
	(択) 医療を支えるケミストリー	前期	80 2名/group	1	80	コ	S	実	1
	(択) 医療を支えるテクノロジー	前期	70	1	70	コ	S	実	1
	(択) 医療を支えるバイオロジー	前期	7~10名	(2-4/組)	29	コ	S	実	1
演習	基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)	前期		3	190	演			1
	薬と疾病フューチャル(神経疾患)	前期			190	S			0.5
	薬と疾病フューチャル (心・血管疾患、腎疾患、代謝疾患)	後期	10	19	190	S			0.5
	薬と疾病フューチャル (チーム医療による薬物治療)	後期	8	72	190	S			0.5
単位数の合計							(必須科目)		35.5
							(選択必修科目)		1
							合計		36.5

(凡例) 講義=コ、 PBL/SGD=S、 実習=実
留学=留、 演習=演、 オムニバス=オ

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)

「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-4) 学年別授業科目

		4 年 次								
		科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数	
薬学専門教育	機器分析		前期	188	1	188	コ		1	
	生体分子・医薬品のコアとパーツ		前期	188	1	188	コ		1	
	現代医療の中の生薬・漢方薬		前期	188	1	188	コ		1	
	日常生活と健康		前期	188	1	188	コ		1	
	薬物送達システム		前期	188	1	188	コ		1	
	薬と疾病(呼吸器・皮膚科疾患)		前期	188	1	188	コ		1	
	薬と疾病(消化器系・小児科疾患)		前期	188	1	188	コ		1	
	薬と疾病(血液・内分泌・婦人科系疾患)		前期	188	1	188	コ		1	
	薬と疾病(症状からみた鑑別)		前期	188	1	188	コ		1	
	薬毒物と中毒		前期	188	1	188	コ		1	
	薬剤師を取り巻く法律と制度(1)		前期	188	1	188	コ		1	
	薬剤師を取り巻く法律と制度(2)		前期	188	1	188	コ		1	
	実習	実務実習事前学習		後期	63名/グループ (注) 【病棟】8~9人/G 【リスマネ・注射】4人/G 【薬局】8~9人/G 【始めるにあたって】 医薬品情報:5~6人/G セルフメディケーション:3人/G 復習:8人/G	1	188	コ	実	S
総合薬学研究			前期・後期			188	実			8
演習	基礎薬学演習(実務実習に備える)		後期	188	1	188	演	E	1	
	薬と疾病チュートリアル(呼吸器疾患)		前期	188	1	188	S		0.5	
単位数の合計								(必須科目)	26.5	
								(選択科目)	0	
								合計	26.5	

(凡例) 講義=コ、PBL/SGD=S、実習=実
演習=演、e-learning=E

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)
「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S
6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料 1-5) 学年別授業科目

		5 年 次							
		科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数
実習	実務実習に向けて		前期	184	1	184	演		1
	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)		前期・後期	184	1	184	S	実	10
	薬局実習		前期・後期	184	1	184	S	実	10
	(択) 発展薬学研究(Ⅱ期)		前期・後期			61	実		8
	(択) 発展薬学研究(Ⅲ期)		前期・後期			106	実		8
	(択) 海外における薬剤師の役割を知る(5年次)		後期			2	留		2
	(択) インターンシップ		前期・後期			106	コ	実	1
演習	EBMの活用		前期	8~9	24	184	コ	S	1
	実践セルフメディケーション		前期			209	コ	S	1
	アドバンスト薬学英語		前期・後期	184	1	184	E	演	1
	(択) 総合薬学演習(Ⅱ期)		前期・後期			18	演	S	8
	(択) 総合薬学演習(Ⅲ期)		後期			24	演	S	8
単位数の合計							(必須科目)		24
							(選択科目)		8~11
							合計		32~35

(凡例) 講義=コ、PBL/SGD=S、実習=実
演習=演、e-learning=E、留学=留

[注]

- 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
- 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。

- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)

「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S

- 6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料1-6) 学年別授業科目

	6年次							
	科目名	前期・後期	1クラスあたりの人数	開講クラス数	履修者数	授業方法		単位数
薬学専門教育	医薬品の副作用・有害反応	前期		184		コ	演	1
	医薬品の研究開発の流れ	前期		184		コ		1
	バイオ医薬品とゲノム情報	前期		184		コ		0.5
	※3 (択) がんを分子レベルで理解する	前期	115			コ		※3から1科目以上1単位
	※3 (択) 医療の経済評価入門	前期	14	10	14	オ		※3から1科目以上1単位
	※3 (択) 医療人のための臨床心理学	前期	61	61	61	コ	演	※3から1科目以上1単位
実習	※1 (択) 基礎研究を担う薬剤師	前期		119		実		※1から1科目4単位
	※1 (択) 臨床研究を担う薬剤師	前期	1	1	5	コ	演	※1から1科目4単位
	※1 (択) 薬剤師の臨床判断	前期		42		実	S	※1から1科目4単位
	※1 (択) アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～	前期	1	1	1	実	S	※1から1科目4単位
	※1 (択) 薬剤師インターンシップ (ふるさと実習を含む)	前期		0		実		※1から1科目4単位
	※1 (択) アドバンストチーム 医療実習	前期	2~4	10	14	実	S	※1から1科目4単位
	※1 (択) 海外における薬剤師の 役割を知る(6年次)	前期	4	1	3	留		※1から1科目4単位
	※2 (択) 基礎研究を担う薬剤師 (アドバンスト)	前期		57		実		※2から1科目2単位
	※2 (択) 臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)	前期	1	1	2	実		※2から1科目2単位
	※3 (択) 薬剤師のアドバンスト 臨床技能	前期		3		コ	実	S ※3から1科目以上1単位
演習	実務実習事後学習	前期		184		演		1
	※2 (択) 応用薬学演習	前期	126	126		演	E	※2から1科目2単位
	理論薬学演習(前期) 留年学生のみ履修	前期		9		演		
	実践薬学演習(前期) 留年学生のみ履修	前期		9		演		
	理論薬学演習	前期・後期		184		演		7
	実践薬学演習	前期・後期		184		演		7
単位数の合計							(必須科目)	17.5
							(選択科目)	7~10
							合計	24.5~27.5

(凡例) 講義=コ、PBL/SGD=S、実習=実
演習=演、e-learning=E、留学=留

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。
2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。(上記の凡例でご記入下さい。)
「授業方法」の表記: 講義=コ、 PBL/SGD=S
6 行は適宜加除し、記入してください。

(基礎資料1-7) 学年別授業科目

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数 (延べ)	合計単位数 (科目の重複あり)
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	18	(必修のみ) 11.5 ※
教養教育科目	33	13
語学教育科目	18	(必修のみ) 9
医療安全教育科目	7	(必修のみ) 8 ※
生涯学習の意欲醸成科目	22	(必修のみ) 9.5 ※
コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目	28	(必修のみ) 15 ※

※4年次:実務実習事前学習1科目5単位、5年次:実務実習(薬局実習1科目10単位、病院実習1科目10単位)を除く

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単数を合算して記入してください。

学 年	単位数		
	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	32	8	40
2 年 次	32.5	1	33.5
3 年 次	35.5	1	36.5
4 年 次	26.5	0	26.5
5 年 次	24	8~11	32~35
6 年 次	17.5	7~10	24.5~27.5
合計	168	25~31	193~199

(基礎資料 2 - 1) 修学状況

		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計		
入学年度 における	入学定員数	200	200	200	200	200	200	1,200	A	
	編入定員数	—	—	—	—	—	—	—	B	
	入学者数	232	187	195	192	209	201	1,216		
基準日 における	各学年の在籍学生数	233	211	190	188	209	193	1,224	C	
	編入学生数(内)	—	—	—	—	—	—	—	D	
	留年者数(内)	1	28	23	21	30	32	135		
	留年者の 入学年度	平成18年度	—	—	—	—	—	6	6	
		平成19年度	—	—	—	—	3	26	29	
		平成20年度	—	—	—	5	27	—	32	
		平成21年度	—	2	5	16	—	—	23	
		平成22年度	—	3	18	—	—	—	21	
		平成23年度	—	23	—	—	—	—	23	
		平成24年度	1	—	—	—	—	—	1	
平成25年度	—	—	—	—	—	—	—			
C / (A + B)		1.02								
D / B		—								

- [注] 1 「C / (A + B)」と「D / B」については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
- 2 「編入学生数(内)」および「留年者数(内)」は、「各学年の在籍学生数」の内数を記入してください。
- 3 平成25年度以外は年度末の現状を記入してください。

(基礎資料 2-2) 休学者数および退学者数

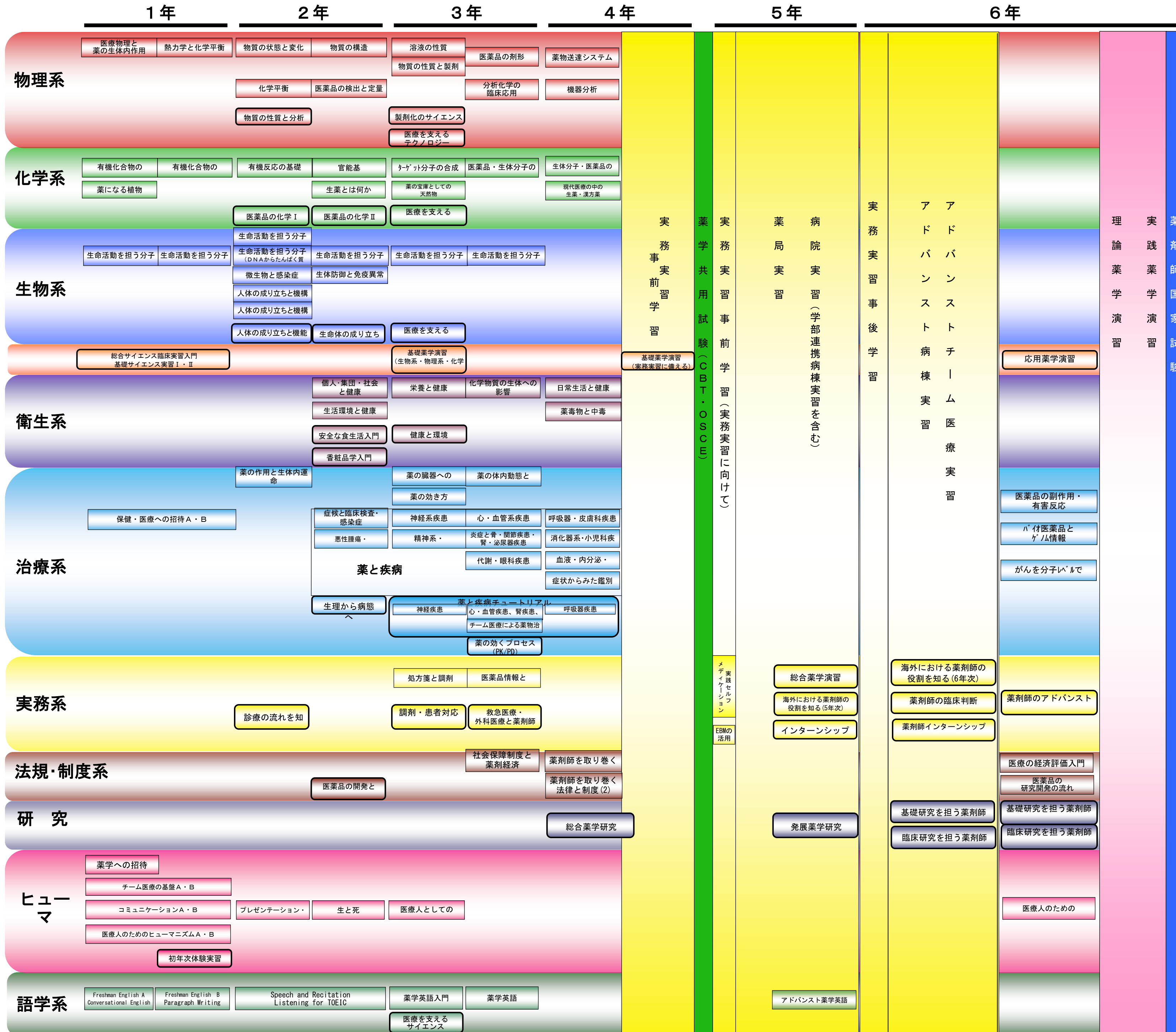
	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
総在籍学生数	587		787		974		1155		1174		1222	
	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数
1年次	1	3	1	4	1	3	0	4	0	3	—	—
2年次	0	4	2	4	1	2	2	5	2	1	1	
3年次	0	1	0	0	0	0	0	4	1	0	—	—
4年次	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	—	—
5年次	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	—
6年次	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—
合計	1	8	3	9	2	5	3	14	4	4	1	—

[注] 平成25年度以外は年度末の現状を記入してください。

(基礎資料2-3) 学士課程修了状況

		平成23年度 (平成24年3月 卒業)	平成23年度 (平成24年9月 卒業)	平成24年度 (平成25年3月 卒業)	平成24年度 (平成25年9月 卒業)	平成25年度 (平成26年3 月卒業)	平成26年度 (平成27年3月 卒業)	平成27年度 (平成28年3月 卒業)	平成28年度 (平成29年3月 卒業)	入学者総数		卒業率 (%)
卒業生総数		164 名	2 名	182 名	9 名	167 名	- 名	- 名	- 名			
卒業生の 入学年度 内訳	平成18年度入学者	164 名	2 名	19 名	3 名	1 名	- 名	- 名	- 名	平成18年度	200 名	83.0%
	平成19年度入学者	- 名	- 名	163 名	6 名	17 名	- 名	- 名	- 名	平成19年度	201 名	84.1%
	平成20年度入学者	- 名	- 名	- 名	- 名	149 名	- 名	- 名	- 名	平成20年度	201 名	74.1%
	平成21年度入学者	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	平成21年度	209 名	#VALUE!
	平成22年度入学者	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	平成22年度	192 名	#VALUE!
	平成23年度入学者	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	- 名	平成23年度	195 名	#VALUE!

昭和大学薬学部6年次までのカリキュラムの流れ



□ : 実習・演習・選択必修・自由選択科目

※人体の成り立ちと機能 (感覚器・消化器・循環器・皮膚)
 人体の成り立ちと機能 (呼吸器・血液・泌尿生殖器・内分泌)

(基礎資料5) 語学教育の要素

科目名	開講年生	要素			
Freshman English A	1	読み	書き	聞く	
Conversational English	1				話す
Freshman English B	1	読み	書き	聞く	
Paragraph Writing	1		書き		
(択) ドイツ語A	1	読み	書き	聞く	話す
(択) フランス語A	1	読み	書き	聞く	話す
(択) 中国語A	1	読み	書き	聞く	話す
(択) ドイツ語B	1	読み	書き	聞く	話す
(択) フランス語B	1	読み	書き	聞く	話す
(択) 中国語B	1	読み	書き	聞く	話す
Speech and Recitation	2				話す
Listening for TOEIC	2		書き	聞く	
薬学英語入門	3	読み	書き	聞く	話す
薬学英語	3	読み	書き	聞く	話す
アドバンスト薬学英語	5	読み			

[注] 要素欄は左記の識別区分にそって作成してください。

読み	書き
聞く	話す

(基礎資料6) 4年次の実務実習事前学習のスケジュール

平成25年10月							
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	
第4週	月	10月28日	12	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	火	10月29日	13	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	水	10月30日	14	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	木	10月31日	15	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SBOs 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SBOs 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SBOs 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習

[注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6) 4年次の実務実習事前学習のスケジュール

平成25年11月							
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	
第4週	月	11月25日	23	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	火	11月26日	24	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	水	11月27日	25	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習	S201～S211講義・実習・演習 S301～S306講義・実習・演習 S401～S407、S411～S414講義・実習・演習 昭和大学オリジナル SB0s 「患者情報(病棟)」1～8 昭和大学オリジナル SB0s 「コミュニケーション(病棟)」1～4 昭和大学オリジナル SB0s 「症例(病棟)」1 S501～S507講義・実習・演習 S601～S606講義・実習・演習
	木	11月28日					

[注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料7) 学生受入状況

部	学科名	入試の種類		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	募集定員数に対する入学者数の比率(6年間の平均)
				入試(20年度実施)	入試(21年度実施)	入試(22年度実施)	入試(23年度実施)	入試(24年度実施)	入試(25年度実施)	
薬学部		一般入試	受験者数	894	965	1,091	1,215	1,467	1,282	
			合格者数	256	261	251	262	264	232	
			入学者数(A)	145	124	115	102	146	111	
			募集定員数(B)	130	115	115	115	115	115	
			A/B*100(%)	111.54%	107.83%	100.00%	88.70%	126.96%	96.52%	
		大学入試センター入試	受験者数	160	299	349	399	401	381	
			合格者数	35	36	44	50	47	64	
			入学者数(A)	1	3	3	4	3	2	
			募集定員数(B)	10	10	10	10	10	10	
			A/B*100(%)	10.00%	30.00%	30.00%	40.00%	30.00%	20.00%	
		A〇入試	受験者数							
			合格者数							
			入学者数(A)							
			募集定員数(B)							
			A/B*100(%)							
		附属校推薦	受験者数							
			合格者数							
			入学者数(A)							
			募集定員数(B)							
			A/B*100(%)							
		指定校推薦	受験者数	20	19	26	44	42	50	
			合格者数	20	19	26	44	42	50	
			入学者数(A)	20	19	25	44	42	50	
			募集定員数(B)	20	25	25	25	25	55	公募と併せて55
			A/B*100(%)	100.00%	76.00%	100.00%	176.00%	168.00%	136.36%	公募と併せて136.36%
		公募推薦入試	受験者数	95	90	115	89	145	123	
			合格者数	43	46	52	37	41	25	
			入学者数(A)	43	46	52	37	41	25	
			募集定員数(B)	40	30	30	30	30	55	指定校と併せて55
			A/B*100(%)	107.50%	153.33%	173.33%	123.33%	136.67%	136.36%	指定校と併せて136.36%
		社会人入試	受験者数							
			合格者数							
			入学者数(A)							
			募集定員数(B)							
			A/B*100(%)							
		留学生入試	受験者数							
			合格者数							
			入学者数(A)							
			募集定員数(B)							
			A/B*100(%)							
帰国生徒入試	受験者数									
	合格者数									
	入学者数(A)									
	募集定員数(B)									
	A/B*100(%)									
学科計	受験者数	1,169	1,373	1,581	1,747	2,055	1,836			
	合格者数	354	362	373	393	394	371			
	入学者数(A)	209	192	195	187	232	188			
	募集定員数(B)	200	180	180	180	180	180			
	A/B*100(%)	104.50%	106.67%	108.33%	103.89%	128.89%	104.44%	109.36%		

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
- 2 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 3 入試の種類ごとに「募集定員数(B)に対する入学者数(A)」の割合を算出してください。
- 4 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 5 各入学(募集)定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
- 6 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
- 7 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)〇年次に・・・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は△△△名」と注を記入してください。

(基礎資料8) 教員・事務職員数

①設置基準において、必要な教員数	34名
②設置基準において、必要な実務家教員数	6名

(教員の部)	教授	准教授	専任講師	助教	助手	備考
教養教育						
語学教育						
薬学基礎教育						
専門薬学教育	19 (3)	14 (2)	14 (4)	61 (22)		
実務実習教育	6 (2)	2 (1)	4 (4)	9 (8)		(実務実習教育と専門薬学教育教員は兼務) TA: 1、RA: 1
小計	19 (3)	14 (2)	14 (4)	61 (22)		
専任教員数	108					
(事務職員の部)	局長	部長	課長	事務員	その他の職種	備考
大学業務関連		1	5	42		大学業務関連職員数については、旗の台キャンパスに在籍している職員数とす
(内 薬学部担当)			1	4		
法人業務関連	1	3	10	55	13	法人業務関連職員数については、旗の台キャンパスに在籍している職員数とする。
小計	1	4	15	97		
事務職員数	117					

- [注] 1 「①設置基準において、必要な教員数」には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。
- 2 主に担当する科目(業務)で算出し、重複しないように注意してください。
- 3 該当する場合は、()内に実務家教員、見なし教員または特任等の数を記入し、「備考」欄にその内訳を記入してください。(例示: 6(2) = 6名のうち2名が特任)
- 4 該当する場合は、()内に臨時・嘱託事務職員数を記入してください。(例示: 3(1) = 3名のうち1名が嘱託事務職員)
- 5 「その他の職種」の欄に記入した数については、「備考」にその職種名を記入してください。
- 6 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

※ 病院薬剤学講座に所属する、実務家教員は、教授1名、准教授1名、講師3名、助教14名である。

(基礎資料9) 専任教員年齢構成

職位	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	計
教授		5	12 (2)	2			19 (2)
		26%	63%	11%			100%
准教授			6 (1)	8 (1)			14 (2)
			43%	57%			100%
専任講師			3 (1)	9 (2)	2		14 (3)
			22%	64%	14%		100%
助教			1	14 (9)	31 (8)	15 (8)	61 (25)
			2%	23%	51%	24%	100%
合計		5	22 (4)	33 (12)	33 (8)	15 (8)	108 (32)
		5%	20%	31%	31%	13%	100%
定年年齢 (教授)	65 歳						
定年年齢 (以外)	60 歳						

[注] 1 上段には人数、下段には%を記入してください。

2 () に女性の数を記入してください。(例示: 2(1) = 2名のうち1名が女性)

3 「定年年齢」には、規定された定年退職年齢を記入してください。

基礎資料10 専任教員の担当授業科目および時間数

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授 業 時 間 数 ※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期	後期		
薬学科	臨床薬学	教授	ヤマモト トシノブ 山元 俊憲	男	63	S59. 4. 1	H9. 4. 1	調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0	43.5	昭和大学大学院 薬学博士
								薬と疾病(症候と臨床検査・感染症)			1.5				0.0	1.5		
								薬と疾病(炎症と骨・関節疾患・腎・泌尿器疾患)			4.5				0.0	4.5		
								薬と疾病(消化器系・小児科疾患)	7.5					7.5	0.0			
								基礎薬学演習(実務実習に備える)			3.0			0.0	3.0			
								薬と疾病(症状からみた鑑別)						0.0	0.0			
								臨床研究を担う薬剤師						0.0	0.0			
								実践薬学演習						0.0	0.0			
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					24.0	24.0	0.0			
								薬学への招待	1.5					1.5	0.0			
							計	7.5	6.0	0.0	3.0	69.0	0.0	76.5	9.0			
薬学科	薬化学	教授	イトウ タカシ 伊藤 喬	男	57	S58. 4. 1	H17. 4. 1	有機反応の基礎	18.0						18.0	0.0	54.8	東京大学大学院 薬学博士
								医薬品の化学 I 実習					30.0	30.0	0.0			
								薬学英語入門						0.0	0.0			
								薬学英語						0.0	0.0			
								医療を支えるケミストリー					30.0	30.0	0.0			
								生体分子・医薬品のコアとパーツ	15.0					15.0	0.0			
								アドバンスト薬学英語						0.0	0.0			
								有機化合物の基礎B			3.0			0.0	3.0			
								基礎サイエンス実習Ⅲ(後期)P						13.5	0.0	13.5		
															計	33.0		
薬学科	薬品製造化学	教授	フクハラ キヨシ 福原 潔	男	51	H25. 4. 1	H25. 4. 1	医薬品の化学 I 実習					30.0	30.0	0.0	63.0	東京大学大学院 薬学博士	
								ターゲット分子の合成	15.0					15.0	0.0			
								医薬品・生体分子の化学		13.5				0.0	13.5			
								薬と疾病(精神系・耳鼻科系疾患)	1.5					1.5	0.0			
								基礎薬学演習(生物系・物理系・化学系薬学を中心 に)			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0			
								実践薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								実践薬学演習				6.0		0.0	6.0			
								有機化合物の基礎A	4.5					4.5	0.0			
								チーム医療の基盤B				18.0		0.0	18.0			
								有機化合物の基礎B			6.0			0.0	6.0			
								基礎サイエンス実習Ⅲ(後期)P						13.5	0.0			13.5
							計	21.0	19.5	15.0	27.0	30.0	13.5	66.0	60.0			

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期	後期		
薬学科	生薬学・植物薬品化学	教授	トイヅカ カズオ 鳥居塚 和生	男	59	H12. 4. 1	H18. 4. 1	生薬とは何か		30.0					0.0	30.0	84.8	千葉大学大学院 薬学博士
								生と死		7.5				0.0	7.5			
								医薬品の化学Ⅱ 実習					30.0	0.0	30.0			
								薬の宝庫としての天然物	12.0					12.0	0.0			
								医療を支えるケミストリー					30.0	30.0	0.0			
								現代医療の中の生薬・漢方薬	15.0					15.0	0.0			
								理論薬学演習（前期）			6.0			6.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			3.0			3.0	0.0			
								理論薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								実践薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								薬になる植物	16.5					16.5	0.0			
								基礎サイエンス実習Ⅲ（後期）P					13.5	0.0	13.5			
								計	43.5	37.5	9.0	6.0	30.0	43.5	82.5	87.0		
薬学科	臨床分析化学	教授	アラカワ ヒデトシ 荒川 秀俊	男	61	S54. 4. 1	H17. 4. 1	化学平衡	18.0						18.0	0.0	44.3	昭和大学大学院 薬学博士
								医薬品の検出と定量		3.0				0.0	3.0			
								物質の性質と分析 実習					33.0	33.0	0.0			
								医療人としての心構え	1.5					1.5	0.0			
								医療を支えるテクノロジー					7.5	7.5	0.0			
								医療人のための臨床心理学	1.5					1.5	0.0			
								理論薬学演習（前期）			3.0			3.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								実践薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								薬学への招待	1.5					1.5	0.0			
								熱力学と化学平衡		7.5				0.0	7.5			
								計	22.5	10.5	9.0	6.0	40.5	0.0	72.0	16.5		

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期 h	後期 h	前期	後期		
薬学科	薬品物理化学	教授	ゴウダ ヒロアキ 合田 浩明	男	47	H25. 4. 1	H25. 4. 1	物質の状態と変化	18.0						18.0	0.0	40.5	東京大学大学院 薬学博士
								物質の構造						0.0	0.0			
								物質の性質と分析 実習				33.0		33.0	0.0			
								物質の性質と製剤						0.0	0.0			
								理論薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								実践薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								チーム医療の基盤A		18.0			18.0	0.0				
								熱力学と化学平衡			6.0		0.0	6.0				
								計	18.0	6.0	18.0	6.0	33.0	0.0	69.0	12.0		
薬学科	衛生薬学	教授	ハラ シュンタロウ 原 俊太郎	男	51	H17. 4. 1	H21. 3. 27	生活環境と健康		10.5				0.0	10.5	48.0	東京大学大学院 薬学博士	
								個人・集団・社会と健康		7.5				0.0	7.5			
								安全な食生活入門					21.0	0.0	21.0			
								健康と環境				45.0		45.0	0.0			
								日常生活と健康		9.0				0.0	9.0			
								基礎薬学演習（実務実習に備える）			3.0			0.0	3.0			
								実務実習事前学習						0.0	0.0			
								実務実習事後学習						0.0	0.0			
								計	0.0	27.0	0.0	3.0	45.0	21.0	45.0			51.0
薬学科	腫瘍細胞生物学	教授	シバスマ モトコ 柴沼 質子	女	52	H4. 7. 1	H21. 3. 27	生体防御と免疫異常		15.0				0.0	15.0	54.0	京都大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病（悪性腫瘍・アレルギーと免疫疾患）		4.5				0.0	4.5			
								医療を支えるバイオロジー				30.0		30.0	0.0			
								がんを分子レベルで理解する	6.0					6.0	0.0			
								理論薬学演習（前期）			6.0			6.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習			6.0			0.0	6.0			
								実践薬学演習			6.0			0.0	6.0			
								生命体の成り立ち 実習					28.5	0.0	28.5			
計	6.0	19.5	12.0	12.0	30.0	28.5	48.0	60.0										

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな		(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
			氏 名							講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
			前期h	後期h						前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期				
薬学科	毒物学	教授	ヌマザフ 沼澤	サトシ 聡	男	52	S60. 4. 1	H24. 9. 11	人体の成り立ちと機能(感覚器・消化器・循環器・皮膚)	4.5						4.5	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
									薬の作用と生体内運命	3.0					3.0	0.0			
									化粧品学入門						0.0	0.0			
									日常生活と健康	6.0					6.0	0.0			
									化学物質の生体への影響		13.5				0.0	13.5			
									薬毒物と中毒	9.0					9.0	0.0			
									薬剤師インターンシップ(ふるさと実習を含む)				34.5		34.5	0.0			
									医薬品の副作用・有害反応	10.5					10.5	0.0			
									理論薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
									実践薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
									理論薬学演習				6.0		0.0	6.0			
									実践薬学演習				6.0		0.0	6.0			
									人体の成り立ちと機能 実習					7.5	7.5	0.0			
									健康と環境					45.0	45.0	0.0			
									薬の効くプロセス(PK/PD)						9.0	0.0	9.0		
									薬学への招待	1.5					1.5	0.0			
															計	30.0	13.5		12.0
薬学科	薬理学	教授	ホンダ カズオ 本田 一男	男	63	H16. 4. 1	H16. 4. 1	薬の効き方	10.5						10.5	0.0	東京大学 薬学博士		
								薬と疾病(心・血管系疾患)		6.0				0.0	6.0				
								薬と疾病(炎症と骨・関節疾患・腎・泌尿器疾患)		1.5				0.0	1.5				
								薬と疾病フェトリアル (心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)			9.0			0.0	9.0				
								薬の効くプロセス(PK/PD)					33.0	0.0	33.0				
								インターンシップ					19.5	0.0	19.5				
								医薬品の研究開発の流れ	10.5					10.5	0.0				
								理論薬学演習(前期)			18.0			18.0	0.0				
								実践薬学演習(前期)			15.0			15.0	0.0				
								理論薬学演習				18.0		0.0	18.0				
実践薬学演習				15.0		0.0	15.0												
						計	21.0	7.5	33.0	42.0	0.0	52.5	54.0	102.0	78.0				
薬学科	生物化学	教授	イタベ ヒロユキ 板部 洋之	男	52	H16. 4. 1	H16. 4. 1	生命活動を担う分子(DNAからタンパク質へ)	19.5						19.5	0.0	東京大学大学院 薬学博士		
								生命体の成り立ち 実習					33.0	0.0	33.0				
								生命活動を担う分子(情報伝達と細胞応答)		9.0				0.0	9.0				
								基礎薬学演習(実務実習に備える)			3.0			0.0	3.0				
								医療を支えるサイエンス						0.0	0.0				
								海外における薬剤師の役割を知る(5年次)						0.0	0.0				
								海外における薬剤師の役割を知る(6年次)						0.0	0.0				
								理論薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0				
								理論薬学演習				6.0		0.0	6.0				
								生命活動を担う分子(細胞構成因子)		16.5				0.0	16.5				
						計	19.5	25.5	6.0	9.0	0.0	33.0	25.5	67.5	46.5				

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	授業科目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習・実技		計			
			前期h						後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期			
薬学科	臨床精神薬学	教授	ハチス ミツグ 蜂須 貢	男	63	H20. 4. 1	H20. 4. 1	医薬品の開発と生産入門						9.0	0.0	9.0	13.5	昭和大学大学院 医学博士
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)						18.0	0.0	18.0		
								計	0.0	0.0	0.0	18.0	0.0	9.0	0.0	27.0		
薬学科	薬学教育学	教授	キウチ ユウジ 木内 祐二	男	53	S63. 4. 1	H10. 4. 1	人体の成り立ちと機能(感覚器・消化器・循環器・皮膚)	4.5						4.5	0.0	164.3	昭和大学大学院 医学博士
								人体の成り立ちと機能(呼吸器・血液・泌尿器)	7.5					7.5	0.0			
								人体の成り立ちと機能(呼吸器・血液・泌尿生殖器・内分泌)						0.0	0.0			
								薬と疾病(悪性腫瘍・アレルギーと免疫疾患)						0.0	3.0			
								生と死						0.0	9.0			
								生理から病態へ				7.5		0.0	7.5			
								EBMの活用			21.0			21.0	0.0			
								人体の成り立ちと機能 実習					9.0	9.0	0.0			
								診療の流れを知る					28.5	28.5	0.0			
								薬と疾病(神経系疾患)	10.5					10.5	0.0			
								薬と疾病(精神系・耳鼻科系疾患)	4.5					4.5	0.0			
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)			9.0			9.0	0.0			
								医薬品情報と患者情報			1.5			0.0	1.5			
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)					18.0	0.0	18.0			
								薬と疾病(血液・内分泌・婦人科系疾患)	3.0					3.0	0.0			
								基礎薬学演習(実務実習に備える)				9.0		0.0	9.0			
								アドバンストチーム医療実習					30.0	30.0	0.0			
								救急医療・外科医療と薬剤師						3.0	0.0	3.0		
								薬の効くプロセス(PK/PD)						6.0	0.0	6.0		
								チーム医療実践の基フェトリアル(実務実習事前学習)						18.0	18.0	0.0		
								薬剤師の臨床判断						78.0	78.0	0.0		
								理論薬学演習(前期)					12.0		12.0	0.0		
								実践薬学演習(前期)					12.0		12.0	0.0		
理論薬学演習						12.0	0.0	12.0										
実践薬学演習						9.0	0.0	9.0										
薬学への招待	1.5					1.5	0.0											
人体の成り立ちと機能(消化器・血液・運動系・神経)				1.5		0.0	1.5											
計	31.5	15.0	54.0	55.5	163.5	9.0	249.0	79.5										
薬学科	薬物動態学	教授	サウ エトシ 佐藤 均	男	53	H12. 3. 16	H12. 3. 16	薬の体内動態と薬物治療		15.0					0.0	15.0	58.5	東京大学大学院 薬学博士
								理論薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0			
								実践薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0			
								理論薬学演習				6.0		0.0	6.0			
								実践薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								診療の流れを知る					3.0	3.0	0.0			
								調剤・患者対応入門					45.0	45.0	0.0			
								薬の効くプロセス(PK/PD)						21.0	0.0	21.0		
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0	18.0	0.0			
								計	0.0	15.0	6.0	9.0	66.0	21.0	72.0	45.0		

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授 業 時 間 数 ※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	遺伝解析薬学	教授	ナカノ ヤスコ 中野 泰子	女	57	H14. 1. 1	H19. 11. 13	個人・集団・社会と健康		7.5					0.0	7.5	60.0	東京大学 薬学博士
								生命活動を担う分子(遺伝子操作)	3.0					3.0	0.0			
								医薬品情報と患者情報		1.5				0.0	1.5			
								薬と疾病(呼吸器・皮膚科疾患)	4.5					4.5	0.0			
								薬と疾病フェーズII(呼吸器疾患)			9.0			9.0	0.0			
								バイオ医薬品とゲノム情報	7.5					7.5	0.0			
								理論薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
								実践薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								実践薬学演習				9.0		0.0	9.0			
								調剤・患者対応入門					45.0	45.0	0.0			
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0	18.0	0.0			
								計	15.0	9.0	21.0	12.0	63.0	0.0	99.0	21.0		
薬学科	医薬情報解析学	教授	カウ ヤスヒサ 加藤 裕久	男	58	H20. 4. 1	H20. 4. 1	薬と疾病(悪性腫瘍・アレルギーと免疫疾患)		7.5				0.0	7.5	75.8	昭和大学 薬学博士	
								処方箋と調剤	9.0					9.0	0.0			
								医薬品情報と患者情報		9.0				0.0	9.0			
								薬と疾病フェーズII(呼吸器疾患)			9.0			9.0	0.0			
								基礎薬学演習(実務実習に備える)				3.0		0.0	3.0			
								実務実習に向けて					30.0	30.0	0.0			
								病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7～8/2、II期9/2～11/29、III期12/2～12/20、1/6～3/7 実習時間9:30～17:00として指導を行っている。									
								薬局実習						0.0	0.0			
								理論薬学演習(前期)			7.5			7.5	0.0			
								実践薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0			
								理論薬学演習				7.5		0.0	7.5			
								実践薬学演習				3.0		0.0	3.0			
								調剤・患者対応入門					45.0	45.0	0.0			
アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0	18.0	0.0											
計	9.0	16.5	19.5	13.5	93.0	0.0	121.5	30.0										
薬学科	医薬品評価薬学	教授	イワイ シンイチ 岩井 信市	男	45	H11. 4. 1	H24. 9. 11	救急医療・外科医療と薬剤師					33.0	0.0	33.0	117.0	昭和大学大学院 医学博士	
								薬と疾病フェーズII(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0			
								医薬品の研究開発の流れ	1.5					1.5	0.0			
								薬剤師の臨床判断					114.0	114.0	0.0			
								薬剤師のアドバンスト臨床技能					30.0	30.0	0.0			
								人体の成り立ちと機能 実習					9.0	9.0	0.0			
								診療の流れを知る					28.5	28.5	0.0			
計	1.5	0.0	0.0	18.0	181.5	33.0	183.0	51.0										

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	病院薬剤学	教授	ムラヤマ ジョンイチロウ 村山 純一郎	男	63	H6.5.1	H22.2.9	臨床研究を担う薬剤師					1.5		1.5	0.0	17.3	昭和大学大学院 薬学修士
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					24.0		24.0	0.0		
								臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)							0.0	0.0		
								医療の経済評価入門	3.0						3.0	0.0		
								医療人としての心構え	1.5						1.5	0.0		
								理論薬学演習 (前期)			3.0				3.0	0.0		
								理論薬学演習				1.5			0.0	1.5		
								計	4.5	0.0	3.0	1.5	25.5	0.0	33.0	1.5		
薬学科	薬剤学	教授	ナカムラ アキヒロ 中村 明弘	男	53	H18.4.1	H18.4.1	薬の臓器への到達と消失	15.0						15.0	0.0	75.8	京都大学大学院 薬学博士
								医薬品の剤形			7.5				0.0	7.5		
								薬と疾病(代謝・眼科疾患)			10.5				0.0	10.5		
								薬物送達システム	12.0						12.0	0.0		
								生理から病態へ				4.5			0.0	4.5		
								薬と疾病フェトリアル (心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)				9.0			0.0	9.0		
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0		
								総合薬学演習(Ⅱ期)							0.0	0.0		
								総合薬学演習(Ⅲ期)							0.0	0.0		
								理論薬学演習 (前期)			12.0				12.0	0.0		
								実践薬学演習 (前期)			9.0				9.0	0.0		
								理論薬学演習				15.0			0.0	15.0		
								実践薬学演習				15.0			0.0	15.0		
								製剤化のサイエンス					1.5		1.5	0.0		
								薬の効くプロセス(PK/PD)						3.0	0.0	3.0		
アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0		18.0	0.0										
薬学への招待	1.5						1.5	0.0										
計	28.5	18.0	21.0	61.5	19.5	3.0	69.0	82.5										
薬学科	薬化学	准教授	ナガタ カズヒロ 永田 和弘	男	49	S63.4.1	H17.7.1	官能基		18.0					0.0	18.0	59.3	富山医科薬科大学大学院 薬学博士
								基礎薬学演習 (実務実習に備える)			3.0			0.0	3.0			
								理論薬学演習 (前期)			9.0			9.0	0.0			
								実践薬学演習 (前期)			6.0			6.0	0.0			
								理論薬学演習				9.0		0.0	9.0			
								実践薬学演習				6.0		0.0	6.0			
								医薬品の化学 I 実習					30.0	30.0	0.0			
								医療を支えるケミストリー					30.0	30.0	0.0			
								有機化合物の基礎A	7.5					7.5	0.0			
計	7.5	18.0	15.0	18.0	60.0	0.0	82.5	36.0										

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	授業科目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	生薬学・植物薬品化学	准教授	タカマツ サトシ 高松 智	男	49	H25. 4. 1	H25. 4. 1	生薬とは何か		12.0					0.0	12.0	41.3	千葉大学大学院 薬学博士
								薬の宝庫としての天然物	7.5					7.5	0.0			
								理論薬学演習			3.0			0.0	3.0			
								医薬品の化学Ⅱ 実習				30.0	0.0	30.0				
								医療を支えるケミストリー				30.0		30.0	0.0			
								チーム医療の基盤A		18.0								
							計	7.5	12.0	18.0	3.0	30.0	30.0	37.5	45.0			
薬学科	臨床分析化学	准教授	イトウ カツシ 伊藤 克敏	男	50	H2. 4. 1	H17. 8. 1	分析化学の臨床応用		15.0					0.0	15.0	33.0	昭和大学 薬学博士
								理論薬学演習（前期）			6.0			6.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			3.0			3.0	0.0			
								理論薬学演習			3.0			0.0	3.0			
								実践薬学演習			6.0			0.0	6.0			
								物質の性質と分析 実習				33.0		33.0	0.0			
							計	0.0	15.0	9.0	9.0	33.0	0.0	42.0	24.0			
薬学科	衛生薬学	准教授	ナカタニ ヨシト 中谷 良人	男	45	H6. 4. 1	H23. 4. 1	生活環境と健康		4.5					0.0	4.5	58.5	東京大学大学院 薬学博士
								栄養と健康	10.5					10.5	0.0			
								理論薬学演習（前期）			12.0			12.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			12.0			12.0	0.0			
								理論薬学演習			12.0			0.0	12.0			
								実践薬学演習			12.0			0.0	12.0			
								安全な食生活入門					9.0	0.0	9.0			
								健康と環境				45.0		45.0	0.0			
							計	10.5	4.5	24.0	24.0	45.0	9.0	79.5	37.5			
薬学科	薬品物理化学	准教授	キタガワ ヤスユキ 北川 康行	男	53	H8. 4. 1	H9. 4. 1	物質の構造		18.0					0.0	18.0	49.5	大阪大学大学院 理学博士
								溶液の性質	15.0					15.0	0.0			
								基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			3.0			3.0	0.0			
								理論薬学演習（前期）			9.0			9.0	0.0			
								実践薬学演習（前期）			9.0			9.0	0.0			
								理論薬学演習			6.0			0.0	6.0			
								実践薬学演習			6.0			0.0	6.0			
								物質の性質と分析 実習				33.0		33.0	0.0			
							計	15.0	18.0	21.0	12.0	33.0	0.0	69.0	30.0			

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	授業科目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	薬剤学	准教授	クラタナオミ 倉田 なおみ	女	59	S51.10.1	H18.1.1	プレゼンテーション・コミュニケーション	16.5						16.5	0.0	昭和大学	医学博士
								薬と疾病フェトリアル(神経系疾患)			4.5			4.5	0.0			
								医薬品の剤形		7.5			0.0	7.5				
								医薬品情報と患者情報		3.0			0.0	3.0				
								薬と疾病フェトリアル(心・血管疾患、腎疾患、代謝疾患)			3.0		0.0	3.0				
								薬物送達システム	3.0				3.0	0.0				
								製剤化のサイエンス				24.0	24.0	0.0				
								インターンシップ					0.0	0.0				
								理論薬学演習(前期)			6.0		6.0	0.0				
								実践薬学演習(前期)			6.0		6.0	0.0				
								理論薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								実践薬学演習			9.0		0.0	9.0				
								診療の流れを知る				28.5	28.5	0.0				
								チーム医療実践の基フェトリアル(実務実習事前学習)				18.0	18.0	0.0				
								実務実習に向けて				3.0	3.0	0.0				
								インターンシップ					19.5	0.0	19.5			
								アドバンストチーム医療実習				30.0	30.0	0.0				
薬学への招待	1.5				1.5	0.0												
					計	21.0	10.5	16.5	15.0	103.5	19.5	141.0	45.0	93.0				
薬学科	薬理学	准教授	オオハタヒサユキ 大幡 久之	男	59	S52.4.1	H6.6.1	薬の作用と生体内運命	6.0					6.0	0.0	昭和大学	薬学博士	
								薬と疾病(精神系・耳鼻科系疾患)	6.0				6.0	0.0				
								薬と疾病(神経系疾患)	6.0				6.0	0.0				
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)			9.0		9.0	0.0				
								理論薬学演習(前期)			3.0		3.0	0.0				
								実践薬学演習(前期)			6.0		6.0	0.0				
								理論薬学演習			4.5		0.0	4.5				
								実践薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								人体の成り立ちと機能 実習				9.0	9.0	0.0				
								薬の効くプロセス(PK/PD)					39.0	0.0	39.0			
					計	18.0	0.0	18.0	7.5	9.0	39.0	45.0	46.5	45.8				
薬学科	生物化学	准教授	ヤマグチトモヒロ 山口 智広	男	41	H21.3.1	H21.3.1	生命活動を担う分子(細胞の動的機能)	15.0					15.0	0.0	九州大学大学院	薬学博士	
								生命活動を担う分子(情報伝達と細胞応答)		6.0			0.0	6.0				
								生理から病態へ			7.5		0.0	7.5				
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0		0.0	18.0				
								実践セルフメディケーション			6.0		6.0	0.0				
								実践薬学演習(前期)			6.0		6.0	0.0				
								理論薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								実践薬学演習			3.0		0.0	3.0				
								生命体の成り立ち 実習					33.0	0.0	33.0			
					計	15.0	6.0	12.0	31.5	0.0	33.0	27.0	70.5	48.8				

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	授業科目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	臨床薬学	准教授	コバヤシ ヤスオ 小林 靖奈	男	46	H8. 4. 1	H15. 4. 1	薬と疾病(炎症と骨・関節疾患・腎・泌尿器疾患)		6.0					0.0	6.0	昭和薬科大学大学院 薬学博士	
								処方箋と調剤	6.0					6.0	0.0			
								化学物質の生体への影響		1.5				0.0	1.5			
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0			
								総合薬学演習(Ⅱ期)					0.0	0.0				
								総合薬学演習(Ⅲ期)					0.0	0.0				
								理論薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0			
								実践薬学演習(前期)			10.5			10.5	0.0			
								理論薬学演習				1.5		0.0	1.5			
								実践薬学演習				7.5		0.0	7.5			
								人体の成り立ちと機能 実習					9.0	9.0	0.0			
								調剤・患者対応入門					45.0	45.0	0.0			
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					24.0	24.0	0.0			
														計	6.0	7.5		13.5
薬学科	分析センター	准教授	タナカ ノブタダ 田中 信忠	男	43	H8. 4. 1	H20. 4. 1	機器分析	15.0						15.0	0.0	長岡技術科学大学大学院 工学博士	
								基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			3.0			3.0	0.0			
								基礎薬学演習(実務実習に備える)				3.0		0.0	3.0			
								理論薬学演習(前期)			9.0		9.0	0.0				
								実践薬学演習(前期)			3.0		3.0	0.0				
								理論薬学演習				6.0		0.0	6.0			
								実践薬学演習				6.0		0.0	6.0			
								物質の性質と分析 実習					33.0	33.0	0.0			
						計	15.0	0.0	15.0	15.0	33.0	0.0	63.0	15.0	39.0			
薬学科	生理・病態学	准教授	シミズ シュンイチ 清水 俊一	男	50	S62. 4. 1	H11. 2. 1	生理から病態へ				7.5			0.0	7.5	昭和大学大学院 薬学博士	
								人体の成り立ちと機能(感覚器・消化器・循環器・皮膚)	6.0					6.0	0.0			
								人体の成り立ちと機能(呼吸器・血液・泌尿器)	7.5					7.5	0.0			
								薬と疾病(心・血管系疾患)		7.5				0.0	7.5			
								薬と疾病フェトリアル(心・血管疾患、腎疾患、代謝疾患)			9.0			0.0	9.0			
								薬と疾病(血液・内分泌・婦人科系疾患)	4.5					4.5	0.0			
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0			
								理論薬学演習(前期)			6.0			6.0	0.0			
								実践薬学演習(前期)			12.0			12.0	0.0			
								理論薬学演習				9.0		0.0	9.0			
								実践薬学演習				9.0		0.0	9.0			
								人体の成り立ちと機能 実習					7.5	7.5	0.0			
								薬学への招待	1.5					1.5	0.0			
						計	19.5	7.5	18.0	52.5	7.5	0.0	45.0	60.0	52.5			

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号		
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期				
薬学科	薬学教育学	准教授	ミウラ ナンコ 三浦 南虎	男	59	S56. 4. 1	H10. 6. 1	生命活動を担う分子(代謝とエネルギー)		15.0					0.0	15.0	昭和大学大学院 薬学博士			
								基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			15.0			15.0	0.0					
								応用薬学演習						0.0	0.0					
								生と死		7.5			0.0	7.5						
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0		0.0	18.0						
								実践薬学演習(前期)		3.0			3.0	0.0						
								実践薬学演習			3.0		0.0	3.0						
								計	0.0	22.5	18.0	21.0	0.0	0.0	18.0	43.5		30.8		
薬学科	感染制御薬学	准教授	イシノ ケイコ 石野 敬子	女	41	H22. 9. 1	H22. 9. 1	微生物と感染症	12.0					12.0	0.0	共立薬科大学大学院 薬学博士				
								薬と疾病(症候と臨床検査・感染症)		10.5				0.0	10.5					
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0					
								生命体の成り立ち 実習					31.5	0.0	31.5					
								理論薬学演習(前期)		6.0			6.0	0.0						
								実践薬学演習(前期)		6.0			6.0	0.0						
								理論薬学演習			6.0		0.0	6.0						
								実践薬学演習			6.0		0.0	6.0						
								診療の流れを知る				28.5	28.5	0.0						
								生命体の成り立ち 実習					31.5	0.0	31.5					
計	12.0	10.5	12.0	30.0	28.5	63.0	52.5	103.5	78.0											
薬学科	病院薬剤学	准教授	サイトウ イサオ 齋藤 勲	男	46	H15. 8. 1	H23. 9. 13	アドバンスト薬学英語						0.0	0.0	昭和大学大学院 薬学博士				
								医療の経済評価入門	3.0					3.0	0.0					
								病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。											
								実践薬学演習(前期)			3.0			3.0	0.0					
								実践薬学演習				9.0		0.0	9.0					
								臨床研究を担う薬剤師					6.0	6.0	0.0					
								アドバンスト病棟実習 ~臨床から見つける薬学的課題とその改善~					24.0	24.0	0.0					
								計	3.0	0.0	3.0	9.0	30.0	0.0	36.0		9.0	22.5		
薬学科	薬品製造化学	講師	クマモト ヒロキ 熊本 浩樹	男	41	H9. 4. 1	H16. 4. 1	ターゲット分子の合成	7.5					7.5	0.0	昭和大学大学院 薬学博士				
								基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			6.0		6.0	0.0						
								医薬品・生体分子の化学		7.5			0.0	7.5						
								実践薬学演習(前期)			6.0		6.0	0.0						
								実践薬学演習				6.0	0.0	6.0						
								医薬品の化学 I 実習					30.0	30.0	0.0					
								有機化合物の基礎 A	4.5				4.5	0.0						
計	12.0	7.5	12.0	6.0	30.0	0.0	54.0	13.5	33.8											

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	臨床分析化学	講師	サノヨシヒロ 佐野 佳弘	男	42	H13. 6. 1	H21. 4. 1	医薬品の検出と定量		15.0					0.0	15.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0		
								理論薬学演習				3.0			0.0	3.0		
薬学科	衛生薬学	講師	クワタヒロシ 桑田 浩	男	41	H8. 4. 1	H23. 5. 1	栄養と健康	4.5						4.5	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			3.0				3.0	0.0		
								安全な食生活入門						9.0	0.0	9.0		
								健康と環境					45.0		45.0	0.0		
							計	4.5	15.0	3.0	21.0	45.0	9.0	52.5	45.0	48.8		
薬学科	毒物学	講師	タナカサチコ 田中 佐知子	女	50	S62. 4. 1	H16. 4. 1	人体の成り立ちと機能(呼吸器・血液・泌尿器)	3.0						3.0	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病(神経系疾患)	1.5						1.5	0.0		
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)				9.0			9.0	0.0		
								薬毒物と中毒	4.5						4.5	0.0		
								実践セルフメディケーション				6.0			6.0	0.0		
								健康と環境						45.0		45.0		0.0
								薬の効くプロセス(PK/PD)						9.0	0.0	9.0		
								チーム医療の基盤A				18.0			18.0	0.0		
								人体の成り立ちと機能(消化器・血液・運動系・神経)				1.5			0.0	1.5		
							計	9.0	1.5	33.0	0.0	45.0	9.0	87.0	10.5	48.8		
薬学科	薬理学	講師	ファンヤンイル 黄 洋一	男	55	H2. 4. 1	H10. 4. 1	薬の作用と生体内運命	7.5						7.5	0.0	都立大学大学院 理学博士	
								薬の効き方	4.5						4.5	0.0		
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)				9.0			9.0	0.0		
								薬と疾病(呼吸器・皮膚科疾患)	3.0						3.0	0.0		
								薬と疾病(消化器系・小児科疾患)	1.5						1.5	0.0		
								理論薬学演習(前期)				6.0			6.0	0.0		
								実践薬学演習(前期)				3.0			3.0	0.0		
								理論薬学演習					6.0		0.0	6.0		
								実践薬学演習						3.0	0.0	3.0		
								人体の成り立ちと機能 実習						9.0		9.0		0.0
薬の効くプロセス(PK/PD)							33.0	0.0	33.0									
							計	16.5	0.0	18.0	9.0	9.0	33.0	43.5	42.0	42.8		
薬学科	生理・病態学	講師	イシイマサカズ 石井 正和	男	43	H10. 4. 1	H18. 4. 1	人体の成り立ちと機能(感覚器・消化器・循環器・皮膚)	3.0						3.0	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病フェトリアル (心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)				9.0			0.0	9.0		
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0		
								チーム医療の基盤A				18.0			18.0	0.0		
							計	3.0	0.0	18.0	9.0	45.0	0.0	66.0	9.0	37.5		

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	薬学教育学	講師	サグチ ケンイチ 佐口 健一	男	44	H9. 4. 1	H18. 10. 1	基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			15.0				15.0	0.0		昭和大学大学院 薬学博士
								生命活動を担う分子(遺伝子操作)	4.5						4.5	0.0		
								基礎薬学演習(実務実習に備える)				6.0			0.0	6.0		
								製剤化のサイエンス					24.0		24.0	0.0		
								チーム医療の基盤B				18.0			0.0	18.0		
								計	4.5	0.0	15.0	24.0	24.0	0.0	43.5	24.0		33.8
薬学科	薬学教育学	講師	コウゴ マリ 向後 麻里	女	43	H6. 4. 1	H18. 2. 1	病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。									昭和大学大学院 薬学博士
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)			4.5				4.5	0.0		
								社会保障制度と薬剤経済		3.0					0.0	3.0		
								薬と疾病フェトリアル (心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)				3.0			0.0	3.0		
								医薬品の副作用・有害反応	1.5						1.5	0.0		
								救急医療・外科医療と薬剤師					24.0		0.0	24.0		
								理論薬学演習(前期)			3.0				3.0	0.0		
								理論薬学演習				3.0			0.0	3.0		
								実務実習に向けて					12.0		12.0	0.0		
								臨床研究を担う薬剤師					28.5		28.5	0.0		
								アドバンスト病棟実習 ~臨床から見つける薬学的課題とその改善~					24.0		24.0	0.0		
								計	1.5	3.0	7.5	6.0	64.5	24.0	73.5	33.0		53.3
薬学科	遺伝解析薬学	講師	ネゴロ タカハル 根来 孝治	男	51	H11. 8. 1	H18. 4. 1	生理から病態へ				7.5			0.0	7.5		昭和大学大学院 薬学博士
								生命活動を担う分子(遺伝子操作)	4.5						4.5	0.0		
								薬と疾病(血液・内分泌・婦人科系疾患)	6.0						6.0	0.0		
								薬と疾病フェトリアル(呼吸器疾患)			9.0				9.0	0.0		
								理論薬学演習(前期)			6.0				6.0	0.0		
								実践薬学演習(前期)			3.0				3.0	0.0		
								理論薬学演習				3.0			0.0	3.0		
								実践薬学演習				6.0			0.0	6.0		
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0		
								チーム医療の基盤B				18.0			0.0	18.0		
								計	10.5	0.0	18.0	34.5	45.0	0.0	73.5	34.5		54.0

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	地域医療薬学	講師	アカガワ ケイコ 赤川 圭子	女	47	H14. 5. 1	H18. 2. 1	社会保障制度と薬剤経済		10.5						0.0	10.5	昭和大学大学院 薬学博士
								薬剤師を取り巻く法律と制度(1)	10.5						10.5	0.0		
								薬剤師を取り巻く法律と制度(2)	6.0						6.0	0.0		
								基礎薬学演習(実務実習に備える)				3.0			0.0	3.0		
								実践セルフメディケーション			15.0				15.0	0.0		
								理論薬学演習(前期)			15.0				15.0	0.0		
								実践薬学演習(前期)			19.5				19.5	0.0		
								理論薬学演習				12.0			0.0	12.0		
								実践薬学演習				10.5			0.0	10.5		
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0		
								チーム医療実践の基フューチャル(実務実習事前学習)					18.0		18.0	0.0		
								実務実習に向けて					48.0		48.0	0.0		
								薬学への招待	1.5						1.5	0.0		
								計	16.5	10.5	49.5	25.5	111.0	0.0	177.0	36.0	102.0	
薬学科	薬化学	講師	カナミネ タクヤ 金光 卓也	男	45	H17. 4. 1	H24. 4. 1	医薬品の化学 I 実習					30.0		30.0	0.0	名古屋大学大学院 薬学博士	
								医療を支えるケミストリー					30.0		30.0	0.0		
								基礎サイエンス実習Ⅲ(後期)P						13.5	0.0	13.5		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	13.5	60.0	13.5	36.8	
薬学科	医薬品評価薬学	講師	カメイ ダイスケ 亀井 大輔	男	38	H22. 4. 1	H23. 12. 1	薬と疾病フューチャル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								薬剤師を取り巻く法律と制度(2)	4.5						4.5	0.0		
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0		
								救急医療・外科医療と薬剤師						30.0	0.0	30.0		
								薬剤師の臨床判断					114.0		114.0	0.0		
								薬剤師のアドバンスト臨床技能					3.0		3.0	0.0		
								計	4.5	0.0	0.0	18.0	162.0	30.0	166.5	48.0	107.3	
薬学科	病院薬剤学	講師	ワタナベ トオル 渡邊 徹	男	45	H20. 4. 1	H22. 4. 1	医療の経済評価入門	1.5						1.5	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。									
								理論薬学演習(前期)			3.0				3.0	0.0		
								理論薬学演習				4.5			0.0	4.5		
								臨床研究を担う薬剤師					7.5		7.5	0.0		
								アドバンスト病棟実習 ~臨床から見つける薬学的課題とその改善~					24.0		24.0	0.0		
								計	1.5	0.0	3.0	4.5	31.5	0.0	36.0	4.5	20.3	
薬学科	病院薬剤学	講師	アベ セイジ 阿部 誠治	男	39	H10. 4. 1	H23. 7. 1	医療の経済評価入門	3.0						3.0	0.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。									
								理論薬学演習(前期)			1.5				1.5	0.0		
								理論薬学演習				1.5			0.0	1.5		
								救急医療・外科医療と薬剤師						24.0	0.0	24.0		
								アドバンスト病棟実習 ~臨床から見つける薬学的課題とその改善~					18.0		18.0	0.0		
								計	3.0	0.0	1.5	1.5	18.0	24.0	22.5	25.5	24.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ホシ アカネ 星 茜	女	33	H17. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習(学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	薬化学	助教	ミヤザキ ミチコ 宮崎 倫子	女	44	H6. 4. 1	H6. 4. 1	医薬品の化学Ⅰ 実習					30.0		30.0	0.0	30.0	共立薬科大学大学院 薬学博士
								医療を支えるケミストリー					30.0		30.0	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	60.0	0.0		
薬学科	生薬学・植物薬品化学	助教	フクムラ モトノブ 福村 基徳	男	36	H13. 4. 1	H15. 4. 1	医薬品の化学Ⅱ 実習					30.0	0.0	30.0		30.0	昭和大学 薬学学士
								医療を支えるケミストリー					30.0		30.0	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
薬学科	生薬学・植物薬品化学	助教	コイケ ユカ 小池 佑果	女	28	H25. 4. 1	H25. 4. 1	医薬品の化学Ⅱ 実習					30.0	0.0	30.0		30.0	昭和大学大学院 薬学修士
								医療を支えるケミストリー					30.0		30.0	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
薬学科	臨床分析化学	助教	カラサワ コウジ 唐沢 浩二	男	34	H15. 4. 1	H22. 4. 1	物質の性質と分析 実習					33.0		33.0	0.0	35.3	昭和大学大学院 薬学修士
								医療を支えるテクノロジー					3.0		3.0	0.0		
								チーム医療実践の基フューチャール(実務実習事前学習)					18.0		18.0	0.0		
								実務実習に向けて					16.5		16.5	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	70.5	0.0	70.5	0.0		
薬学科	臨床分析化学	助教	ハラヤ シオミ 原谷 汐美	女	26	H25. 5. 1	H25. 5. 1						0.0	0.0		0.0	0.0	昭和大学大学院 薬学修士
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
薬学科	衛生薬学	助教	ヨダ エミコ 依田 恵美子	女	32	H21. 4. 1	H21. 4. 1	安全な食生活入門					10.5	0.0	10.5		27.8	昭和大学大学院 薬学博士
								健康と環境					45.0		45.0	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	10.5	45.0	10.5		
薬学科	薬品物理化学	助教	ウメダ トモフ 梅田 知伸	男	36	H20. 4. 1	H20. 4. 1	基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)		3.0				3.0	0.0	18.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								物質の性質と分析 実習					33.0		33.0			0.0
								計	0.0	0.0	3.0	0.0	33.0	0.0	36.0			0.0
薬学科	薬品物理化学	助教	クサカベ ヨシオ 日下部 吉男	男	36	H13. 4. 1	H13. 4. 1	基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)		3.0				3.0	0.0	33.0	昭和大学大学院 薬学博士	
								物質の性質と分析 実習					33.0		33.0			0.0
								計	0.0	0.0	9.0	0.0	99.0	0.0	108.0			0.0
薬学科	薬剤学	助教	フジタ ヨシアキ 藤田 吉明	男	47	H8. 2. 1	H8. 2. 1	プレゼンテーション・コミュニケーション	9.0					9.0	0.0	43.5	埼玉大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病フューチャール(心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)					9.0		0.0			9.0
								実践セルフメディケーション			15.0				15.0			0.0
								製剤化のサイエンス					24.0		24.0			0.0
								薬の効くプロセス(PK/PD)					30.0	0.0	30.0			
								計	9.0	0.0	15.0	9.0	24.0	30.0	48.0			39.0
薬学科	薬剤学	助教	ムラヤマ ノブヒロ 村山 信浩	男	49	H6. 5. 1	H6. 5. 1	プレゼンテーション・コミュニケーション	10.5					10.5	0.0	48.8	九州大学大学院 薬学博士	
								薬と疾病フューチャール(心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)					9.0		0.0			9.0
								実践セルフメディケーション			6.0				6.0			0.0
								製剤化のサイエンス					24.0		24.0			0.0
								薬の効くプロセス(PK/PD)					30.0	0.0	30.0			
								チーム医療の基盤B				18.0		0.0	18.0			
								計	10.5	0.0	6.0	27.0	24.0	30.0	40.5			57.0

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	毒物学	助教	アシノ タカシ 芦野 隆	男	36	H13. 4. 1	H13. 4. 1	薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0		昭和大学大学院 薬学博士
								健康と環境					45.0		45.0	0.0		
								薬の効くプロセス(PK/PD)					6.0	0.0	6.0			
								計	0.0	0.0	0.0	18.0	45.0	6.0	45.0	24.0	34.5	
薬学科	毒物学	助教	カイザキ アスカ 貝崎 明日香	女	32	H17. 4. 1	H17. 4. 1	健康と環境					45.0		45.0	0.0		昭和大学大学院 薬学修士
								薬の効くプロセス(PK/PD)					9.0	0.0	9.0			
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	9.0	45.0	9.0	54.0	
薬学科	腫瘍細胞生物学	助教	イシカワ フミヒロ 石川 文博	男	33	H21. 4. 1	H21. 4. 1	がんを分子レベルで理解する	3.0						3.0	0.0		昭和大学大学院 薬学博士
								生命体の成り立ち 実習					28.5	0.0	28.5			
								医療を支えるバイオロジー					30.0		30.0	0.0		
								計	3.0	0.0	0.0	0.0	30.0	28.5	33.0	28.5	30.8	
薬学科	腫瘍細胞生物学	助教	モリ カズノリ 森 一憲	男	35	H14. 4. 1	H16. 4. 1	がんを分子レベルで理解する	3.0						3.0	0.0		昭和大学大学院 薬学博士
								生命体の成り立ち 実習					28.5	0.0	28.5			
								医療を支えるバイオロジー					30.0		30.0	0.0		
								チーム医療の基盤B				18.0			0.0	18.0		
								計	3.0	0.0	0.0	18.0	30.0	28.5	33.0	46.5	39.8	
薬学科	薬理学	助教	ハシモト テルマサ 橋本 光正	男	53	H17. 4. 1	H17. 4. 1	薬と疾病(精神系・耳鼻科系疾患)	3.0						3.0	0.0		昭和大学大学院 薬学博士
								薬と疾病フェトリアル(神経疾患)			9.0				9.0	0.0		
								薬の効くプロセス(PK/PD)						39.0	0.0	39.0		
								チーム医療の基盤A			18.0				18.0	0.0		
								計	3.0	0.0	27.0	0.0	0.0	39.0	30.0	39.0	34.5	
薬学科	生物化学	助教	オバマ タカシ 小瀨 孝士	男	37	H17. 4. 1	H17. 4. 1	※留学中							0.0	0.0		名古屋大学大学院 薬学博士
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
薬学科	生物化学	助教	カウリナ 加藤 里奈	女	40	H17. 3. 1	H17. 3. 1	生命体の成り立ち 実習						33.0	0.0	33.0		東京理科大学大学院 薬学博士
								チーム医療の基盤A			18.0				18.0	0.0		
								計	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	33.0	18.0	33.0	25.5	
薬学科	生物化学	助教	ササベ ナオコ 笹部 直子	女	30	H24. 8. 1	H24. 8. 1	生命体の成り立ち 実習						33.0	0.0	33.0		昭和大学大学院 薬学修士
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0	0.0	33.0	16.5	
薬学科	臨床薬学	助教	オオバヤシ マサユキ 大林 真幸	男	36	H14. 4. 1	H14. 4. 1	薬剤師を取り巻く法律と制度(1)	1.5						1.5	0.0		昭和大学大学院 薬学修士
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0		
								救急医療・外科医療と薬剤師						24.0	0.0	24.0		
								計	1.5	0.0	0.0	0.0	45.0	24.0	46.5	24.0	35.3	
薬学科	臨床薬学	助教	ヨウヤマ ノリコ 神山 紀子	女	39	H14. 11. 1	H14. 11. 1	薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0		九州大学大学院 薬学博士
								実践セルフメディケーション			6.0				6.0	0.0		
								人体の成り立ちと機能 実習					9.0		9.0	0.0		
								調剤・患者対応入門					42.0		42.0	0.0		
								臨床研究を担う薬剤師					28.5		28.5	0.0		
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0		18.0	0.0		
								EBMの活用			16.5				16.5	0.0		
								計	0.0	0.0	22.5	18.0	97.5	0.0	120.0	18.0	69.0	

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号	
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期			
薬学科	分析センター	助教	オダナカ ムキ 小田中 友紀	女	42	H6. 4. 1	H6. 4. 1	実践セルフメディケーション			15.0				15.0	0.0	29.3	昭和大学	薬学学士
								薬剤師の臨床判断				12.0		12.0	0.0				
								チーム医療の基盤B			18.0			0.0	18.0				
								基礎サイエンス実習Ⅰ（前期）				4.5		4.5	0.0				
								基礎サイエンス実習Ⅲ（後期）P					9.0	0.0	9.0				
計	0.0	0.0	15.0	18.0	16.5	9.0	31.5	27.0											
薬学科	分析センター	助教	マツバヤシ サトコ 松林 智子	女	43	H4. 4. 1	H6. 4. 1	実践セルフメディケーション			6.0			6.0	0.0	3.0	昭和大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	6.0				0.0
薬学科	生理・病態学	助教	クリハラ タツヤ 栗原 竜也	男	36	H13. 4. 1	H19. 4. 1	薬と疾病フェトリアル(心・血管疾患・腎疾患・代謝疾患)			9.0				0.0	9.0	107.3	昭和大学大学院	薬学修士
								EBMの活用			21.0			21.0	0.0				
								人体の成り立ちと機能 実習					9.0		9.0	0.0			
								調剤・患者対応入門					45.0		45.0	0.0			
								救急医療・外科医療と薬剤師						24.0	0.0	24.0			
								チーム医療実践の基フェトリアル（実務実習事前学習）					18.0		18.0	0.0			
								臨床研究を担う薬剤師					28.5		28.5	0.0			
								薬剤師の臨床判断					60.0		60.0	0.0			
計	0.0	0.0	21.0	9.0	160.5	24.0	181.5	33.0											
薬学科	薬学教育学	助教	コバヤシ アヤ 小林 文	女	44	H22. 4. 1	H22. 4. 1	薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0	48.0	共立薬科大学大学院	薬学修士	
								救急医療・外科医療と薬剤師					24.0	0.0	24.0				
								実務実習に向けて					24.0		24.0				0.0
								臨床研究を担う薬剤師					12.0		12.0				0.0
								アドバンスト病棟実習 ～臨床から見つける薬学的課題とその改善～					18.0		18.0				0.0
計	0.0	0.0	0.0	18.0	54.0	24.0	54.0	42.0											
薬学科	薬物動態学	助教	サイトウ キヨミ 齊藤 清美	女	40	H10. 4. 1	H10. 4. 1	基礎薬学演習 (生物系・物理系・化学系薬学を中心に)			3.0			3.0	0.0	28.5	昭和大学大学院	薬学博士	
								EBMの活用			15.0			15.0	0.0				
								薬の効くプロセス(PK/PD)						21.0	0.0				21.0
								チーム医療の基盤A			18.0			18.0	0.0				
計	0.0	0.0	36.0	0.0	0.0	21.0	36.0	21.0											
薬学科	薬物動態学	助教	スギヤマ エリカ 杉山 恵理花	女	41	H19. 1. 1	H19. 1. 1	薬の効くプロセス(PK/PD)					24.0	0.0	24.0	18.0	東京大学大学院	薬学博士	
								薬剤師の臨床判断					12.0		12.0				0.0
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	24.0	12.0				24.0
薬学科	遺伝解析薬学	助教	タニオカ トシヒロ 谷岡 利裕	男	40	H16. 4. 1	H16. 4. 1	生命活動を担う(遺伝子操作)	3.0					3.0	0.0	31.5	昭和大学大学院	薬学博士	
								薬と疾病フェトリアル(呼吸器疾患)			9.0			9.0	0.0				
								EBMの活用			10.5			10.5	0.0				
								実務実習に向けて					40.5		40.5				0.0
計	3.0	0.0	19.5	0.0	40.5	0.0	63.0	0.0											
薬学科	医薬情報解析学	助教	ハンダ サトコ 半田 智子	女	47	H22. 4. 1	H22. 4. 1	薬と疾病フェトリアル(チーム医療による薬物治療)			18.0			0.0	18.0	30.8	南不ハタ薬科大学大学院	薬学博士	
								薬と疾病フェトリアル(呼吸器疾患)			9.0			9.0	0.0				
								EBMの活用			10.5			10.5	0.0				
								救急医療・外科医療と薬剤師					24.0	0.0	24.0				
計	0.0	0.0	19.5	18.0	0.0	24.0	19.5	42.0											

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授 業 時 間 数 ※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	病院薬剤学	助教	ヘイトウ アキラ 平藤 彰	男	41	H10. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東京薬科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	インシ アヤコ 石井 亜矢子	女	34	H17. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	フジハラ ヒサト 藤原 久登	男	39	H10. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東京薬科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	タナカ ヒロノリ 田中 広紀	男	39	H10. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東北薬科大学大学院 薬学修士	
								薬剤師の臨床判断					6.0		6.0	0.0		
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0	3.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	イチクラ ダイスケ 市倉 大輔	男	34	H16. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東京理科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ヤギ ヒトシ 八木 仁史	男	35	H14. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東京理科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	スキサワ サトル 杉沢 諭	男	31	H18. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	オオト ユウジ 大戸 祐治	男	35	H16. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								名古屋市立大学 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	オカザキ ケイスケ 岡崎 敬之介	男	34	H16. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	フケトシヤ 冨家 俊弥	男	40	H11. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								明治薬科大学大学院 薬学博士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ミヤノ マサヒロ 宮野 正広	男	37	H13. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								明治薬科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ワカバヤシ ヒトミ 若林 仁美	女	34	H15. 4. 1	H22. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	フジミヤ タツヒロ 藤宮 龍祥	男	26	H24. 4. 1	H24. 4. 1	学外研修中 平成25年4月1日~平成26年3月31日										
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ススキ コウスケ 鈴木 康介	男	27	H24. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	オガワ ヤスハ 小川 泰葉	女	26	H24. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								昭和大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ニオ ユウタ 仁尾 祐太	男	26	H24. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								東京理科大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	カワシマ フタル 川島 渉	男	26	H24. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習 (学部連携病棟実習を含む)	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9:30~17:00として指導を行っている。								北里大学大学院 薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号	
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期			
薬学科	病院薬剤学	助教	ウスダ マサヒロ 臼田 昌弘	男	26	H24. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学大学院	薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	感染制御薬学	助教	マエダ マサユキ 前田 真之	男	32	H23. 7. 1	H23. 7. 1	微生物と感染症	1.5						1.5	0.0		昭和大学大学院	薬学修士
								EBMの活用			10.5				10.5	0.0			
								生命体の成り立ち 実習						31.5	0.0	31.5			
								救急医療・外科医療と薬剤師						24.0	0.0	24.0			
								チーム医療実践の基フューチャル（実務実習事前学習）						18.0	0.0	18.0			
								薬剤師の臨床判断						12.0	0.0	12.0			
								計	1.5	0.0	10.5	0.0	30.0	55.5	42.0	55.5	48.8		
薬学科	医薬品評価薬学	助教	コジマ タカシ 小島 章嗣	男	36	H14. 4. 1	H14. 4. 1	薬剤師の法律と制度（2）	4.5						4.5	0.0		昭和大学大学院	薬学修士
								医薬品の研究開発の流れ	1.5						1.5	0.0			
								病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。										
								救急医療・外科医療と薬剤師						30.0	0.0	30.0			
								チーム医療実践の基フューチャル（実務実習事前学習）						18.0	0.0	18.0			
								実務実習に向けて						24.0	0.0	24.0			
								薬剤師の臨床判断						114.0	0.0	114.0			
								薬剤師のアドバンスト臨床技能						3.0	0.0	3.0			
								計	6.0	0.0	0.0	0.0	159.0	30.0	165.0	30.0	97.5		
薬学科	臨床薬学	助教	ナカダ アキコ 中田 亜希子	女	40	H23. 7. 1	H23. 7. 1	薬と疾病フューチャル(チーム医療による薬物治療)				18.0			0.0	18.0		東京大学大学院	薬学修士
								実務実習に向けて						48.0	0.0	48.0			
								計	0.0	0.0	0.0	18.0	48.0	0.0	48.0	18.0	33.0		
薬学科	病院薬剤学	助教	タカダ コウスケ 高田 昂輔	男	25	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								神戸薬科大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ヨネザワ リョウ 米澤 龍	男	25	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ナガイ ツトム 永井 努	男	37	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学大学院	薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	クフハラ クルミ 薬原 久留美	女	29	H21. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								城西大学大学院	薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	オオタ シナコ 太田 品子	女	25	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	ニムラ サトミ 二村 哲未	女	25	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	モリ アイナ 森 愛奈	女	27	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	コシツカ ヒロミ 越塚 宏美	女	26	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								日本大学	薬学学士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
薬学科	病院薬剤学	助教	スナガ トモコ 須永 登美子	女	33	H25. 4. 1	H25. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I期5/7~8/2、II期9/2~11/29、III期12/2~12/20、1/6~3/7 実習時間9：30~17：00として指導を行っている。								昭和大学大学院	薬学修士	
								計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

所属学科	所属講座等	職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	授 業 科 目 科目名	授業時間数※								年間平均授業時間数	最終学歴及び学位称号
									講義		演習		実験・実習 ・実技		計			
									前期h	後期h	前期h	後期h	前期h	後期h	前期	後期		
薬学科	病院薬剤学	助教	ウチクラ タカシ 内倉 健	男	34	H15. 4. 1	H24. 4. 1	病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I 期5/7～8/2、II 期9/2～11/29、III 期12/2～12/20、1/6～3/7 実習時間9：30～17：00として指導を行っている。								北里大学大学院	薬学修士
薬学科								医療の経済評価入門	3.0						3.0	0.0		
								計	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	1.5	
薬学科	病院薬剤学	助教	キタハラ カナユキ 北原 加奈之	男	37	H12. 4. 1	H24. 4. 1	薬と疾病(症状からみた鑑別)	1.5						1.5	0.0		明治薬科大学大学院 薬学修士
								病院実習（学部連携病棟実習を含む）	I 期5/7～8/2、II 期9/2～11/29、III 期12/2～12/20、1/6～3/7 実習時間9：30～17：00として指導を行っている。									
								計	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.8	

- [注] 1 「所属学科」には、（ ）に兼任の学科名を記入してください。
- 2 「所属講座等」には、所属講座または研究室、センター名などを記入してください。
- 3 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。
- 4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、実質時間数を記入してください。（例：1コマ90分授業の場合の実質時間数は1.5時間）
- 5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。
- 6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。

※「毎週授業時間数」について
毎週固定の授業を実施していないため、実際の担当した授業時間を記載しております。

※病院薬剤学教員について
病院薬剤師と兼業のため、学生実習期間中の実習期間を記載し、時間数は記載しておりません。

(基礎資料11) 卒業研究の配属状況

4年生の在籍学生数 188
 5年生の在籍学生数 209
 6年生の在籍学生数 193

		配属講座名		指導教員数	4年生 配属学生数	5年生 配属学生数	6年生 配属学生数	合計	研究室の広さ(m ²)	
1	薬学部	1	創薬分子薬学	薬化学部門	4	11	12	35	265.7	
2	薬学部	2	創薬分子薬学	薬品製造化学部門	2	9	9	25	265.7	
3	薬学部	3	創薬分子薬学	生薬学・植物薬品化学部門	4	11	15	34	268.4	
4	薬学部	4	物性解析薬学	臨床分析化学部門	5	8	10	26	268.4	
5	薬学部	5	物性解析薬学	薬品物理化学部門	4	9	10	28	255	
6	薬学部	6	生体分子薬学	生物化学部門	4	11	4	23	227.7	
7	薬学部	7	生体分子薬学	腫瘍細胞生物学部門	3	8	10	26	171.4	
8	薬学部	8	生体制御機能薬学	毒物学部門	4	11	13	35	229.2	
9	薬学部	9	生体制御機能薬学	薬理学部門	4	11	11	27	227.7	
10	薬学部	10	生体制御機能薬学	生理・病態学部門	3	8	11	21	130.5	
11	薬学部	11	薬物療法学	薬剤学部門	4	11	13	30	235.6	
12	薬学部	12	薬物療法学	薬物動態学部門	3	8	8	24	131.6	
13	薬学部	13	薬物療法学	臨床薬学部門	5	11	9	24	180.2	
14	薬学部	14	薬物療法学	遺伝解析薬学部門	3	8	1	15	130.5	
15	薬学部	15	薬物療法学	感染制御薬学部門	2	5	4	11	55	
16	薬学部	16	薬物療法学	医薬情報解析学部門	2	5	5	10	59	
17	薬学部	17	社会健康薬学	医薬品評価薬学部門	3	7	4	13	53.8	
18	薬学部	18	社会健康薬学	地域医療薬学部門	2	3	2	7	59	
19	薬学部	19	社会健康薬学	衛生薬学部門	4	10	12	34	239.5	
20	薬学部	20	病院薬剤学		34	0	1	1	66.7	
21	薬学部	21		臨床精神薬学(寄付講座)	1	1	2	4	24.3	
22	薬学部	22		薬学教育学	4	6	1	11	175.5	
23	医学部	23	薬理学	医科薬理学部門	7	3		3	282.7	
29	医学部	24	薬理学	臨床薬理学部門	5	2		2	301.3	
24	医学部	25	生化学		9	1		1	649.9	
25	医学部	26	解剖学	顕微解剖学	11	3		3	197.5	
27	医学部	27	生理学	生体調整機能学	4	1		1	281.2	
		28	法医学		7	2		2	255.2	
28	医学部	29	微生物学		13	2		2	225	
30	歯学部	30	スパ・シムルニス 口腔医学	口腔衛生学部門	7	1		1	195.3	
31	歯学部	31	歯科薬理学		5	1		1	285.5	
合計					172	188	167	125	480	6394

4年生：「総合薬学研究」（必修）研究テーマ選択教室

5年生：「発展薬学研究Ⅱ」、「発展薬学研究Ⅲ」（選択必修）履修者

6年生：「基礎研究を担う薬剤師」、「基礎研究を担う薬剤師（アドバンス）」（選択必修）履修者

(基礎資料12) 講義室等の数と面積

キャンパス	講義室等	室数	総面積(m ²)(A)	専用・共用の別	収容人員 (総数)	利用学生総数 (B)	利用学生1人当たり 面積(m ²)(A/B)
富士吉田 キャンパス (合計)	1号館共用講義室	12	1815.35	共用	1323	233	5.68
	4号館実験室共用部分	4	1265.52	共用	647	233	2.78
	5号館共用講義室	10	888.47	共用	681	233	2.92
	SGSセンター 共用演習室(PBL)	38	829.27	共用	380	233	1.63
	SGSセンター 集会室(ラウンジ)	3	127.87	共用	62	233	0.27
	赤松寮 集会室	4	214.22	共用	68	28	2.43
	赤松寮 学生自習室	41	653.13	共用	164	28	5.86
	百合寮 共同学習室	16	415.72	共用	116	87	1.33
	百合寮 学生自習室	50	1135.59	共用	200	87	2.30
	白樺寮 共同学習室	8	233.31	共用	104	28	3.71
	白樺寮 学生自習室	28	448.56	共用	112	28	4.00
	すみれ寮 共同学習室	6	278.13	共用	110	90	1.22
	すみれ寮 学生自習室	50	705.25	共用	200	90	2.22

(基礎資料12)講義室等の数と面積

キャンパス	講義室等	室数	総面積(m ²)(A)	専用・共用の別	収容人員 (総数)	利用学生総数 (B)	利用学生1人当たり 面積(m ²)(A/B)
旗の台キャンパス (合計)	薬学部研究室	79	4,112.4	専用	—	—	—
	薬学専用講義室	6	1,211.8	専用	1018	991	1.22
	薬学専用実習室(2号館5F)①	1	547.2	専用	220	211	2.59
	PBL教室(自習室)	27	449.8	共用	216	216	2.08
	実験室共用部	6	2,307.4	共用	1320	211	10.94
	共用講義室	7	772.7	共用	907	211	3.66
	学生ホール(自習室)②	2	930.1	共用	319	211	4.41
	学生多目的ホール(共用)③	1	64.7	共用	30	211	0.31
	模擬薬局(1号館3階)④	1	82.5	専用	20	20	4.13
	病棟シミュレーション室(2号館3F)⑤	1	113.4	専用	20	20	5.67
	調剤シミュレーション室(2号館4F)⑥	1	113.4	専用	50	50	2.27
無菌調剤シミュレーション室(2号館4F)⑦	1	89.5	専用	25	25	3.58	

(基礎資料13) 学生閲覧室等の規模

図書室（館）の名称	学生閲覧室 座席数（A）	学生収容 定員数（B）	収容定員に対する 座席数の割合（%） $A/B * 100$	その他の 自習室の名称	その他の 自習室の座席数	その他の 自習室の整備状況	備 考
昭和大学図書館（本館）	272	2,259	12.0%	グループ学習室 個人閲覧室（院生 のみ）	12 6	LANコンセント7 LANコンセント6	学部：薬1,000医600 歯315 大学院：薬32医240 歯72
富士吉田校舎図書室	105	580	18.1%				学部：薬200医 120 歯105保 155
計	377	2,839	13.3%				

- [注] 1 「学生収容定員（B）」には、当該施設を利用している全ての学部・大学院学生等を合計した学生収容定員数を記入してください。
- 2 「備考」欄には学生収容定員（B）の内訳を、学部・大学院等ごとに記入してください。
- 3 「その他の自習室の整備状況」欄には情報処理末端をいくつ設置しているか等を記載してください。

(基礎資料14) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

図書館の名称	図書の冊数 (数)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料の 所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内)	内国書	外国書			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
昭和大学図書館 (本館)	242,601	156,522	2,288	2,323	357	4,928	2,947	2,976	2,604	・定期刊行物は富士吉田 と歯科病院図書室を含む ・電子ジャーナルは本館 で集中管理。
富士吉田校舎 図書室	41,526	41,526			192		1,061	854	809	・定期刊行物は本館に 含む。
計	284,127	198,048	2,288	2,323	549	4,928	4,008	3,830	3,413	

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。
- 2 開架図書の冊数(内)は、図書の冊数のうち何冊かを記入してください。
- 3 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。
- 4 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。
- 5 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

(基礎資料 15)専任教員の教育および研究活動の業績 【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬学教育学講座	勤務施設	旗の台校舎	1282
氏名	木内 祐二	職位	教授	学位	医学博士	
担当科目	薬学への招待、人体の成り立ちと機能（感覚器等）、人体の成り立ちと機能（呼吸器等）、診療の流れを知る、薬と疾病（神経疾患等）、薬と疾病（精神疾患等）、EBMの活用、臨床シナリオ・学部連携PBLチュートリアル、病棟シミュレーション・学部連携PBLチュートリアル、学部連携病棟実習、臨床判断と薬剤師、アドバンストチーム医療実習					
教育活動	チーム医療教育 臨床薬学教育 ヒューマンズ・コミュニケーション教育					
研究業績	【論文】 Prediction and structural equation model of sertraline treatment response in Japanese patients with major depressive disorder (共著・2013) 【論文】 Association between the G252A Tumor Necrosis Factor-β Gene Polymorphism and Medication-Overuse Headache (共著・2012.12) 【論文】 Association of genetic, psychological and behavioral factors with sleep bruxism in a Japanese population (共著・2012.6) 【論文】 Factors involved in resistance to early treatment of acute cholangitis patients. (共著・2012.9) 【その他】 変革する医学教育 我々はいかに対応すべきか 昭和大学における体系的、段階的なチーム医療学習のカリキュラム (単著・2012.12)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会評議員 (2005.4～) 日本医学教育学会 地域医療・多職種連携教育委員会委員 (2012.6～) 日本アプライドセラピューティクス学会理事 (2011.4～)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬学教育学講座	勤務施設	旗の台校舎	1283
氏名	三浦 南虎	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	生命活動を担う分子 (代謝とエネルギー)					
教育活動	第4回昭和大学WS参加 (2012.7) 第5回昭和大学WS参加 (2013.7)					
研究業績	【論文】 睡眠改善薬に関する消費者の現状および販売時における薬剤師のかかわり・共著・2010.2 【論文】 学生の学習への目的意識を高める試み・共著・2010.12 【論文】 The cyclopentapeptide plactin enhances cellular binding and autoactivation of the serine protease plasma hyaluronan-binding protein・共著・20108 【論文】 高校時の理科系科目の履修状況と大学1年生時の理科系科目の学生による自己評価の調査・共著・2010.1 【論文】 Development of patient-oriented participatory clinical clerkship・共著・2009.10					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬学教育学講座	勤務施設	旗の台校舎	1284
氏名	佐口 健一	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	生命活動を担う分子 (遺伝子操作)、実務実習事前学習、基礎薬学演習 (物理系・生物系・化学系薬学を中心に)、基礎薬学演習 (実務実習に備える)					
教育活動	第48回 昭和大学薬学部卒業後教育セミナー 実行委員 (2013.6) 第8回 薬学教育者のためのワークショップ タスクホース (2013.8)					
研究業績	【論文】 基礎薬学演習の導入 (共著・2012.12) 【その他】 薬学実務実習指導者必携 (執筆・2012.6) 【その他】 構造式手帳 (執筆・2013.1) 【論文】 学生の学習への目的意識を高める試み (共著・2010.12) 【論文】 睡眠改善薬に関する消費者の現状および販売時における薬剤師のかかわり (共著・2010.2)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬学教育学講座	勤務施設	旗の台校舎	1285
氏名	小林 文	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	診療の流れを知る、医療を支えるサイエンス、救急医療・外科医療と薬剤師、実務実習事前学習、実務実習に向けて、海外における薬剤師の役割を知る、学部連携病棟実習、病院実習、薬局実習、臨床を担う薬剤師、発展薬学研究、アドバンスド病棟実習、臨床研究概論、アドバンスド薬学英語、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスド)					
教育活動	第3回昭和大学病院実習指導者WS参加 (2013.7) 第6回コロキウム参加 (2013.4) 第2回昭和大学病院実習指導者WS参加 (2013.2)					
研究業績	【学会発表】 学部生を対象とした国際交流活性化 (2013.3) 【論文】 長期実務実習のサポートチームによる指導の有用性 (2012.9) 【著書】 薬学英語? 改訂版 (共著・2012.3) 【学会発表】 昭和大学における実習生を中心としたサポートチーム連携の構築 (2011.10) 【論文】 薬学部2・4年生に対する海外留学・英語学習に対する意識調査 (2011.6)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬学教育学講座	勤務施設	藤が丘病院	1286
氏名	向後 麻里	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師、社会保障制度と薬剤師、薬と疾病チュートリアル、医薬品の副作用・有害反応など					
教育活動	第8回昭和大学薬学教育者のためのワークショップ参加 (2013.8) 昭和大学統括部長会主催ワークショップ参加 (2013.6) 第2回昭和大学病院実習指導ワークショップタスク参加 (2013.2)					
研究業績	【著書】 向後麻里 (分担執筆)、薬学実務実習指導薬剤師必携、じほう、東京、2012 【著書】 向後麻里 (分担執筆)、薬物治療学 VISUAL CORE PHARMA 第2版、南山堂、東京、2013 【論文】 Kogo M, Watahiki M, Sunaga T, et al, Analysis of the risk factors for myelosuppression after chemoradiotherapy involving 5-fluorouracil and platinum for patients with esophageal cancer. Hepatogastroenterology. 58:802-8, 2011. 【論文】 渋谷みどり, 向後麻里, 栗原竜也, 他, 進行非小細胞肺癌患者における第3世代抗癌剤を含む初回化学療法施行後の重篤な好中球減少症発現に關与する危険因子の検討, 薬学雑誌, 133:703-709, 2013. 【論文】 戸村和希, 向後麻里, 近藤英美, 他, 発熱性好中球減少症患者への抗菌薬治療に対する抵抗性とNSAIDsの關連性, Progress in Medicine, 32:1561-1566, 2012					
学会等および社会における主な活動	東京都病院薬剤師会病棟業務整備小委員会 (H13~H26)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座 薬化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1287
氏名	伊藤 喬	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	有機化合物の基礎B、有機反応の基礎、生体分子・医薬品のコアとパーツ					
教育活動	平成23年度日本私立薬科大学協会教育賞受賞 薬学部教育委員会委員 薬学部WS委員会委員					
研究業績	【論文】 A Simple Proline-based Organocatalyst for the Enantioselective Reduction of Imines Using Trichlorosilane as a Reductant. (共著・2012.3) 【論文】 Stereoselective Synthesis of vic-Halohydrins via L-tert-Leucine Catalyzed syn-Selective Aldol Reaction. (共著・2012.2) 【著書】 薬学・生命科学のための有機化学・天然物化学 (共著・2012.4) 【論文】 Asymmetric Alkylation of Malonic Diester Under Phase-transfer Conditions. (共著2011.7) 【論文】 C2-Symmetric Pyrrolidine-Based Chiral Ammonium Salts as a Phase-transfer Catalyst. (共著2011.9)					
学会等および社会における主な活動	薬学共用試験センター理事 (2010・4～) 共用試験問題管理委員会委員長 厚生労働省薬剤師国家試験問題調整委員 (2011・4～) 文部科学省薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会委員 (2011・9～)					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	薬化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1288
氏名	永田 和弘	職位	准教授	学位	薬学修士		
担当科目	有機化合物の基礎 A、基礎薬学準備演習、官能基、基礎薬学演習、医薬品の化学 I 実習、医療を支えるケミストリー 実習						
教育活動	平成 24 年度薬学共用試験 OSCE 評価者養成伝達講習会に参加(2012.9) 第 6 回昭和大学薬学部アドバンスワークショップに参加(2011.8)						
研究業績	C2-Symmetric Pyrrolidine-Based Chiral Ammonium Salts as a Phase-transfer Catalyst. (共著・2011.11) Formal Synthesis of Dihydrocorynantheine and Isorhynchophylline via Proline Catalyzed Mannich-Michael Reaction. (共著・2010.8) Catalytic Asymmetric Alkylation of α -Cyanocarboxylates and Acetoacetate using a Phase-transfer Catalyst. (共著・2009.11) Catalytic Asymmetric Hydroxylation of Oxindoles by Molecular Oxygen Using a Phase-transfer Catalyst. (共著・2008.4) Catalytic Asymmetric Alkylation of α -Cyanocarboxylate using a Phase-transfer Catalyst. (共著・2007.3)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	薬化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1289
氏名	金光 卓也	職位	専任講師	学位	薬学博士		
担当科目	基礎薬学演習、医薬品の化学 I 実習、医療を支えるケミストリー実習						
教育活動	第 4 回昭和大学教育者のためのワークショップ参加(2012.7)						
研究業績	【論文】 A Simple Proline-based Organocatalyst for the Enantioselective Reduction of Imines Using Trichlorosilane as a Reductant. (共著、2012) 【論文】 Stereoselective Synthesis of <i>vic</i> -Halohydrins via <i>L-tert</i> -Leucine Catalyzed <i>syn</i> -Selective Aldol Reaction. (共著、2012) 【論文】 Novel Sulfonamide Catalyzed Asymmetric Hetero-Diels-Alder Reaction of Ethyl Glyoxylate with Danishefsky's Diene. (共著、2011) 【論文】 Asymmetric Alkylation of Malonic Diester Under Phase-transfer Conditions. (共著、2011) 【論文】 <i>L-tert</i> -Leucine Catalyzed Direct Asymmetric Aldol Reaction of Cyclic Ketones. (共著、2011)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	薬化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1290
氏名	宮崎 倫子	職位	助教	学位	薬学修士		
担当科目	有機化学						
教育活動							
研究業績	【論文】 Catalytic Asymmetric Allylation of 3,4-Dihydroisoquinolines and Its Application to the Synthesis of Isoquinoline Alkaloids. (共著、2011.01) 【論文】 Formal Total Synthesis of (-)-Emetine using Catalytic Asymmetric Allylation of Cyclic Imines as a Key Steps. (共著、2006.03) 【論文】 Synthesis of 1,2,3,4,6,7,12,12b-Octahydroindolo[2,3-a]quinolizine and Harmicine Using a Chiral 1-Allyl-1,2,3,4-tetrahydro- β -carbolone as the Starting Material. (共著、2004.03)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	薬品製造化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1291
氏名	福原 潔	職位	教授	学位	薬学博士		
担当科目	ターゲット分子の合成、医薬品・生体分子の化学						
教育活動							
研究業績	【論文】 NMR-based metabolomics of urine in a mouse model of Alzheimer's disease: Identification of oxidative stress biomarkers (共著・2013.3) 【論文】 A new approach to characterization of insulin derived from different species using 1H-NMR coupled with multivariate analysis (共著・2012.2) 【論文】 Synthesis and enhanced radical scavenging activity of a conformationally constrained epigallocatechin analogue (共著・2011.12) 【論文】 Characterization of tea cultivated at four different altitudes using 1H NMR analysis coupled with multivariate statistics (共著・2011.7) 【論文】 1H NMR-based metabolomics approach for mechanistic insight into acetaminophen induced hepatotoxicity (共著・2011.4)						
学会等および社会における主な活動	薬事・食品衛生審議会 日本薬局方部会委員 (2011.4～) 医薬品医療機器総合機構 化学薬品委員会専門委員 (2007.1～) 日本酸化ストレス学会評議員 (2006.6～)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	薬品製造化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1292
氏名	熊本 浩樹	職位	専任講師	学位	薬学修士		
担当科目	P2 医薬品の化学、P3 ターゲット分子の合成、P3 医薬品・生体分子の化学						
教育活動	第 6 回昭和大学 PBL チュートリアル、ファシリテータ要請、シナリオ作成 EWS 参加 (2010, 8) 平成 21 年度昭和大学薬学部アドバンス WS 参加 (2009, 8) 平成 19 年度昭和大学薬学部アドバンス WS 参加 (2007, 8)						
研究業績	Synthesis of 5'-fluoro-2'-beta-methyl analogues of neplanocin Eur. J. Org. Chem. 2011, 2685. Preparation of carbocyclic C-nucleosides from alpha-chloroxime precursor Eur. J. Org. Chem. 2010, 749. Radical mediated stannylation of vinyl sulfonates: access to novel 4'-modified neplanocin A analogues Tetrahedron 2009, 65, 8007. Synthesis of (\pm)-4'-ethynyl-5',5'-difluoro-2',3'-dehydro-3'-deoxy-carbocyclic thymidine: a difluoromethylene analogue of promising anti-HIV agent Ed4T Tetrahedron 2009, 65, 7630. Synthesis of (\pm)-9-[c-4, t-5-bis(hydroxymethyl)cyclopent-2-en-r-1-yl]9H-adenine (BCA) derivatives branched at the 4'-position based on intramolecular SH2' cyclization Tetrahedron 2008, 64, 1494.						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会会員 抗ウイルス療法研究会会員						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	生薬学・植物薬品化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1293
氏名	鳥居塚 和生	職位	教授	学位	薬学修士		
担当科目	P1 薬になる植物、基礎サイエンス実習Ⅲ、P2 生薬とは何か、医薬品の化学Ⅱ 実習、P3 薬の宝庫としての天然物、医療を支えるケミストリー、P4 現代医療の中の生薬・漢方薬						
教育活動	薬用植物園園長						
研究業績	【著書】 伊藤喬 (編著)、鳥居塚和生 (分担執筆)：構造式手帳、京都廣川書店、2013 【論文】 漢方生薬「川芎(Cnidii Rhizoma)」の抗アレルギー作用とその活性成分について、生薬学雑誌 67 (1), 7-12 (共著 2013.02.20) 【論文】 Effects of Atractylodis Lanceae Rhizoma on inflammatory mediator production from the RAW264 macrophage cell line, J Tradit Med 30(3), 124-131 (共著 2013.07.31) 【報告書】 漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病 BPSD 軽減効果の検証-プラセボ対照無作為化臨床第 2 相比較試験-基礎薬理学, プラセボ識別試験-平成 22-24 年度 厚生労働科学研究費補助金 (認知症対策総合研究事業) 総括・分担研究報告書 (代表研究者: 荒井啓行)、p29-32, p81-86, p151-158 (2013) 【その他】 国際標準化と漢方: ISO/TC249 を中心に: ISO, WPRO, ICTM など最近 10 年間の国際標準化の概要、漢方と最新治、22(1), 3-8 (2013.02.15) 【その他】 国際標準化と漢方: ISO/TC249 を中心に: ISO/TC249 WG5 の動向、漢方と最新治療、22(1), 37-43 (2013.02.15) 【その他】 薬剤学から学ぶ漢方薬入門: 製剤の中身に注目! 漢方製剤のピットフォール (4) 防風・浜防風、薬局 64 (11), 2807-2811 (2013.10.05)						
学会等および社会における主な活動	日本東洋医学会副会長、和漢医薬学会理事 (教育担当)、日本生薬学会 (関東支部委員、漢方専門委員)						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	生薬学・植物薬品化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1294
氏名	高松 智	職位	准教授	学位	薬学博士		
担当科目	生薬とは何か、医薬品の化学? 実習、薬の宝庫としての天然物、医療を支えるケミストリー、実務実習事前学習、理論薬学演習、チーム医療の基盤A、初年次体験実習、実践薬学演習						
教育活動	薬学部・新規教員のオリエンテーション参加 (2013.4) 第5回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 (2013.8) BLSヘルスケアプロバイダー講習会 (G2010) 受講 (2013.8)						
研究業績	【論文】 Effects of the herbal medicine composition "Saiko-ka-ryukotsu-borei-To" on the function of endothelial progenitor cells in hypertensive rats (共著・2013.2) 【論文】 Total synthesis and absolute configuration of avenolide, extracellular factor in Streptomyces avermitilis (共著・2011.12) 【論文】 Avenolide, a Streptomyces hormone controlling antibiotic production in Streptomyces avermitilis (共著・2011.9) 【論文】 Inhibitory Effects of Constituents from Morus alba var. multicaulis on Differentiation of 3T3-L1 Cells and Nitric Oxide Production in RAW264.7 Cells (共著・2011.7) 【論文】 Characterization of a silent sesquiterpenoid biosynthetic pathway in Streptomyces avermitilis controlling epi-isozizaene albaflavenone biosynthesis and isolation of a new oxidized epi-isozizaene metabolite (共著・2011.3)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 代議員 (2013.4~2015.3)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	生薬学・植物薬品化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1295
氏名	福村 基徳	職位	助教	学位	薬学学士		
担当科目	初年次体験実習、医薬品の化学 II, 医療を支えるケミストリー, 総合薬学研究, 発展薬学研究, 実務実習事前学習, 薬剤師の臨床判断						
教育活動	第8回薬学教育者のためのWS参加 (2013.8) 病院実習指導者WS (2012.7)						
研究業績	【論文】 Achyranthoside H methyl ester, a novel oleanolic acid saponin derivative from Achyranthes fauriei roots, induces apoptosis in human breast cancer MCF-7 and MDA-MB-453 cells via a caspase activation pathway. (共著, 2009.1) 【論文】 EIGHT NEW OLEANANE-TYPE TRITERPENOID SAPONINS FROM PLATYCODON ROOT (共著, 2010.10) 【論文】 Novel phenolic glycosides, adenophorasides A?E from Adenophora roots (共著, 2010.5) 【論文】 Pharmacognostic studies on ginger and related drugs - part 2 : constituents of Zingiberis processum rhizoma (kankyo). (共著, 2012.7) 【論文】 Two new glucuronide saponins, Achyranthosides G and H, from Achyranthes fauriei root. (共著, 2008.1)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会ファルマシアトピックス小委員 (2010.4~2013.3)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	創薬分子薬学講座	生薬学・植物薬品化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1296
氏名	小池 佑果	職位	助教	学位	薬学修士		
担当科目	植物介在療法, 医薬品の化学?, 医療を支えるケミストリー						
教育活動	第5回 昭和大学教育者のためのWS参加 (2013.7)						
研究業績	【学会発表】 Kaempferia parviflora に含まれる SIRT1 活性化物質の探索 (日本生薬学会第59年会, 2012.9) 【学会発表】 抗ヘルペスウイルス活性を持つ植物成分の探索 (日本生薬学会第58年会, 2011.9) 【学会発表】 ORAC におけるポリフェノール類化合物の抗酸化力の評価 (第15回日本フードファクター学会, 2010.10)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1297
氏名	荒川 秀俊	職位	教授	学位	薬学博士		
担当科目	熱力学と平衡、化学平衡、医療人としての心構え、医療を支えるテクノロジー、医療人としての臨床心理学						
教育活動	薬学部教育委員 富士吉田教育部教育委員						
研究業績	【論文】 「Low-Cost Fluorimetric Determination of Radicals Based on Fluorogenic Dimerization of the Natural Phenol Sesamol」 「共著」 (Anal. Chem. 82:1213?20.2010) 【論文】 「The Development of S-Equol Diastereoisomer Specific ELISA」 「共著」 「American Journal of Analytical Chemistry, 2012, 3, 448-454」 【論文】 「精油から生成する活性酸素種の同定」 「共著」, 「日本アロマセラピー学会誌, Vol.11 No.1, 42-46, 2012」 【論文】 「Development of ultra-high sensitivity bioluminescent enzyme immunoassay for hepatitis B virus surface antigen using firefly luciferase」 「共著」 「Luminescence, 24: 394-399. 2009」 【論文】 「5. Development of bioluminescent pyrophosphate assay using pyruvate phosphate dikinase and its application to single-nucleotide polymorphism analysis」 「著者」 「Anal. Biochem., 379, 86-90 (2008)」						
学会等および社会における主な活動	日本臨床化学会理事 (2013~2017) 日本アロマセラピー学会理事 (2011~2015) 生物科学安全研究所理事 (2013~)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門・分析センター	勤務施設	旗の台校舎	1298
氏名	田中 信忠	職位	准教授	学位	工学博士		
担当科目	機器分析、基礎薬学演習、理論・実践薬学演習						
教育活動							
研究業績	【論文】 Molecular basis of fosmidomycin action in the human malaria parasite Plasmodium falciparum. (共著・2011) 【論文】 Molecular basis for peroxisomal localization of tetrameric carbonyl reductase. (共著・2008) 【論文】 Structural basis for recognition of cognate tRNA by tyrosyl-tRNA synthetase from three kingdoms. (共著・2007) 【論文】 Structural basis for recognition of 2',5'-linked oligoadenylates by human ribonuclease L. (共著・2004) 【論文】 Crystal structure of S-adenosyl-L-homocysteine hydrolase from the human malaria parasite Plasmodium falciparum. (共著・2004)						
学会等および社会における主な活動	Photon Factory User Association 会計幹事 (2012.4~) 日本結晶学会編集委員 (2008.4~2012.3) 日本結晶学会男女共同参画委員 (2008.4~2012.3)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1299
氏名	伊藤 克敏	職位	准教授	学位	薬学博士		
担当科目	分析化学の臨床応用、物質の性質と分析実習、実務実習事前学習、総合薬学研究、理論薬学演習、実践薬学演習、初年次体験実習、基礎サイエンス実習 I						
教育活動	薬学部教育委員 2012~ 薬学部アドバンスドワークショップ (2013)						
研究業績	【論文】 Simultaneous multiplex bio- and chemiluminescent enzyme immunoassay for PCR products derived from genetically modified Papaya (共著・2009) 【論文】 Highly sensitive and rapid tandem bioluminescent immunoassay using aequorin labeled Fab fragment and biotinylated firefly luciferase (共著・2007) 【論文】 Simultaneous bioluminescent immunoassay using aequorin labeled fab fragment and biotinylated firefly luciferase (共著・2007) 【論文】 Highly Sensitive Simultaneous Bioluminescent Measurement of Acetate Kinase and Pyruvate Phosphate Dikinase Activities using a Firefly Luciferase-Luciferin Reaction and Its Application to a Tandem Bioluminescent Enzyme Immunoassay (共著・2003) 【著書】 薬学分析科学の最前線 日本薬学会物理系薬学部・分析化学担当教員会議編集、(株) じほう、生物発光検出を用いる2成分同時検出イムノアッセイ (共著・2009)						
学会等および社会における主な活動	日本分析化学会関東支部幹事 2007~2009 同上 常任幹事 2009~2011 日本分析化学会 Analytical Sciences 誌 編集委員 2007~2011						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1300
氏名	佐野 佳弘	職位	専任講師	学位	薬学博士		
担当科目	医薬品の検出と定量						
教育活動							
研究業績	【論文】 Development of RNA Aptamer and its Ligand Binding Assay on Microchip Electrophoresis (2012) 【論文】 Bioluminescent assay for nitric oxide utilizing the biological enzyme activity of soluble guanylate cyclase. (2011) 【論文】 生物発光を用いる生体成分の分析 (2010) 【学会発表】 日本薬学会 132 年会 (2012) 【学会発表】 第 25 回 バイオメディカル分析科学シンポジウム (BMAS2012) (2012)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門・分析センター	勤務施設	旗の台校舎	1301
氏名	小田中 友紀	職位	助教	学位	薬学学士		
担当科目	構造解析 (核磁気共鳴装置、元素分析装置)						
教育活動							
研究業績	【論文】 Catalytic Asymmetric Allylation of 3,4-Dihydroisoquinolines and Its Application to the Synthesis of Isoquinoline Alkaloids (共著・2011) 【論文】 一般用医薬品の適正使用に貢献できる薬剤師育成のための卒業教育プログラムの構築とその効果 (共著・2010) 【論文】 Radical-mediated stannylation of vinyl sulfones: access to novel 4'-modified neplanocin A analogues (共著・2009) 【論文】 Synthesis of 4'-benzoyloxy cordycepin from adenosine (共著・2008)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門・分析センター	勤務施設	旗の台校舎	1302
氏名	松林 智子	職位	助教	学位	薬学学士		
担当科目	実務実習事前学習、実務実習に向けて、薬局実習、総合薬学研究、初年時体験実習、						
教育活動	第 8 回全国薬学教育者 WS 参加 (2003.12) 昭和大学薬学部教育者 WS 参加 (2007.8)						
研究業績	【研究報告書】 Crystal structure of the inhibitor-free form of 1-deoxy-D-xylulose 5-phosphate reductoisomerase from Plasmodium falciparum (共著・2011) 【論文】 A novel role of group VIB calcium-independent phospholipase A2 (iPLA2gamma) in the inducible expression of group IIA secretory PLA2 in rat fibroblastic cells (共著・2007.7) 【論文】 Comparison of recombinant types IIA, V and IIC phospholipase A2S, the three related mammalian secretory phospholipase A2 isozymes (共著・1999) 【学会発表】 Analysis of N-glycosylation of human group III secretory phospholipase A2 (共著・2006.9) 【学会発表】 Enzymatic function of human group III secretory phospholipase A2 depends on glycosylation (共著・2006.3)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1303
氏名	唐沢 浩二	職位	助教	学位	薬学博士		
担当科目	分析化学、学部連携棟実習						
教育活動	第 7 回医歯薬保合同 WS (2012.7) 薬学部アドバンスドワークショップ (2012) 至誠塾 (2010~2011)						
研究業績	【論文】 Development of novel telomerase assay using PDK-luciferin-luciferase detection system (共著・2013) 【論文】 脳低温療法施行時におけるフェニトインの投与設計に関する検討 (共著・2013) 【論文】 Active Adult Learning 患者担当制棟実習 (Patient Oriented Clerkship) の学習者情動への影響 (共著・2012) 【論文】 Development of bioluminescent pyrophosphate assay using pyruvate phosphate dikinase and its application to single-nucleotide polymorphism analysis. (共著・2008) 【学会発表】 化学発光 HPLC によるマスカハニー中の抗菌成分の分析法と殺菌効果の解明 (共著・2013.8)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	臨床分析化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1304
氏名	原谷 汐美	職位	助教	学位	薬学修士		
担当科目	P2 物質の性質と分析実習、P3 医療を支えるテクノロジー						
教育活動							
研究業績	【学会発表】 血中 Oxytocin 測定を目的とした高感度 Enzyme Immunoassay 測定法の確立 (日本臨床化学会、2010.9) 【学会発表】 血中 Oxytocin 測定を目的とした高感度生物発光免疫測定法の確立 (日本薬学会、2011.3)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会会員						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	薬品物理化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1305
氏名	合田 浩明	職位	教授	学位	薬学博士		
担当科目	物質の状態と変化、物質の性質と分析 (実習)、チーム医療の基盤 A、熱力学と化学平衡、初年次体験実習 (学部実習)、理論・実践薬学演習、基礎研究を担う薬剤師、基礎研究を担う薬剤師 (アドバンスト)、発展薬学研究、総合薬学研究						
教育活動	第 3 回昭和大学病院指導薬剤師 WS 参加 (2013.7) 第 5 回昭和大学教育者のための WS 参加 (2013.7)						
研究業績	【論文】 Human acidic mammalian chitinase as a novel target for anti-asthma drug design using in silico screening. (共著・2013.6) 【論文】 Rational design and synthesis of 4-substituted 2-pyridin-2-ylamides with inhibitory effects on SH2 domain-containing inositol 5'-phosphatase 2 (SHIP2). (共著・2013.4) 【論文】 Three-dimensional solution structure of bottromycin A2: a potent antibiotic active against methicillin-resistant Staphylococcus aureus and vancomycin-resistant Enterococci. (共著・2012.2) 【論文】 NMR spectroscopy and computational analysis of interaction between Serratia marcescens chitinase B and a dipeptide derived from natural-product cyclopentapeptide chitinase inhibitor argifin. (共著・2010.8) 【論文】 Computer-aided rational molecular design of argifin-derivatives with increased inhibitory activity against chitinase B from Serratia marcescens. (共著・2009.5)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会広報委員会・委員 (2004.4~2007.3) 日本薬学会構造活性相関部会・幹事 (2008.4~)						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	薬品物理化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1306
氏名	北川 康行	職位	准教授	学位	理学博士		
担当科目	溶液の性質、物質の構造						
教育活動	昭和大学薬学部 CBT 委員会委員 昭和大学薬学部教育委員会委員 昭和大学薬学部ワークショップ参加 (2010.8)						
研究業績	【論文】 Efficient synthesis of a water-soluble glucoamide inhibitor against human aldose reductase by click chemistry. (共著・2013.4) 【論文】 Tuning efficiency of the 4-exo-trig cyclization by the electronic effect: ring closure of 3,3-difluoro-4-pentenyl carbon radicals and synthesis of a gem-difluorocyclobutane nucleoside (共著・2012.6) 【研究報告書】 Crystal structure of the inhibitor-free form of 1-deoxy-D-xylulose 5-phosphate reductoisomerase from Plasmodium falciparum. (共著・2011.3) 【論文】 Electrophilic glycosidation employing 3,5-O-(di-tert-butylsilylene)-erythro-furanoid glycal leads to exclusive formation of the β-anomer: synthesis of 2'-deoxynucleosides and its 1'-branched analogues (共著・2010.9) 【研究報告書】 Crystal structure analyses of mouse S-adenosyl-L-homocysteine hydrolase (共著・2010.3)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 日本結晶学会 日本生化学会						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	薬品物理化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1307
氏名	梅田 知伸	職位	助教	学位	薬学博士		
担当科目	物質の性質と分析実習、基礎薬学演習、実務実習事前学習、総合薬学研究						
教育活動	平成 24 年度昭和大学薬学部病院実習指導者 WS 参加(2012.7)						
研究業績	【論文】 抗マラリア薬の開発を目指した構造生物学的研究(共著・2013.5) 【論文】 抗マラリア薬の開発を指向した熱帯熱マラリア原虫由来ホスミドマイシン標的酵素の結晶構造解析(共著・2012.6) 【論文】 Molecular basis of fosmidomycin's action on the human malaria parasite Plasmodium falciparum. (共著・2011.6) 【論文】 Crystallization and preliminary X-ray crystallographic analysis of human autotaxin. (共著・2011.6) 【論文】 Crystallization and preliminary X-ray crystallographic study of 1-deoxy-D-xylulose. (共著・2010.6)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	物性解析薬学講座	薬品物理化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1308
氏名	日下部 吉男	職位	助教	学位	薬学博士		
担当科目	物質の性質と分析 実習						
教育活動	文部科学省へ技術参与として出向し、薬学教育の発展に関与 第 8 回昭和大学薬学部アドバンストWS 参加(2013.8)						
研究業績	【論文】 Molecular basis of fosmidomycin's action on the human malaria parasite Plasmodium falciparum. 【論文】 Functional complementation and genetic deletion studies of KirBac channels: activatory mutations highlight gating-sensitive domains. 【論文】 Crystallization of mouse S-adenosyl-L-homocysteine hydrolase. 【論文】 Crystallization and preliminary X-ray crystallographic analysis of yeast tyrosyl-tRNA synthetase complexed with its cognate tRNA.						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座	生物化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1309
氏名	板部 洋之	職位	教授	学位	薬学博士		
担当科目	生命活動を担う分子(細胞構成因子)、生命活動を担う分子(DNA からタンパク質へ)、生命活動を担う分子(情報伝達と細胞応答)、生命体の成り立ち実習、海外における薬剤師の役割を知る、基礎薬学演習、総合薬学研究、理論薬学演習、医療を支えるサイエンス						
教育活動	平成 19-21 年度 大学院 GP 責任者 平成 20 年～ 海外学生実習・研修推進委員長 第 1～8 回 薬学教育者のための WS 参加						
研究業績	【論文】 Crucial Role of Perilipin-3 (TIP47) in Formation of Lipid Droplets and PGE2 Production in HL-60-derived Neutrophils.: Nose F, Yamaguchi T, Kato R, Aiuchi T, Obama T, Hara S, Yamamoto M, and Itabe H. (共著) : PLoS ONE, 2013, 8:e71542. (2013 年 8 月) 【論文】 Oxidized low-density lipoprotein-induced periodontal inflammation is associated with up-regulation of cyclooxygenase-2 and microsomal prostaglandin synthase 1 in human gingival epithelial cells.: Nagahama Y, Obama T, Usui M, Kanazawa Y, Iwamoto S, Su 【論文】 Dietary cholesterol reduces plasma triacylglycerol in apolipoprotein E-null mice: Suppression of lipin-1 and -2 in the glycerol-3-phosphate pathway.: Obama T, Nagaoka S, Akagi K, Kato R, Horiuchi N, Horai Y, Aiuchi T, Arata S, Yamaguchi T, Watanabe M 【論文】 Glucagon regulates intracellular distribution of adipose differentiation-related protein during triacylglycerol accumulation in the liver.: Takahashi K, Sasabe N, Ohshima K, Kitazato K, Kato R, Masuda Y, Tsurumaki M, Obama T, Okudaira S, Aoki J, Arai 【論文】 Detection of oxidized low-density lipoproteins in gingival crevicular fluid from dental patients.: Sakiyama Y, Kato R, Inoue S, Suzuki K, Itabe H, and Yamamoto M.: J. Periodont. Res. 2010, 45(2):216-222. (2010 年 2 月)						
学会等および社会における主な活動	日本生化学会 「生化学」 編集委員会総務 (2007.4～2011.12) 日本動脈硬化学会 評議員 (1999.6.24～) 日本脂質生化学会幹事 (2006.1.1～)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座	生物化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1310
氏名	山口 智広	職位	准教授	学位	薬学博士		
担当科目	生命活動を担う分子(細胞の動的機能)、生命活動を担う分子(情報伝達と細胞応答)、生命体の成り立ち実習						
教育活動	平成 23 年度昭和大学薬学部アドバンスト WS 参加(2011.8) 平成 22 年度昭和大学薬学部アドバンスト WS 参加(2010.8) 平成 21 年度昭和大学薬学部アドバンスト WS 参加(2009.8)						
研究業績	【論文】 Perilipin 5, a lipid droplet-binding protein, protects the heart from oxidative burden by sequestering fatty acid from excessive oxidation. ・共著・2012 年 7 月 【論文】 Glucagon regulates intracellular distribution of adipose differentiation-related protein during triacylglycerol accumulation in the liver. Glucagon regulates intracellular distribution of adipose differentiation-related protein during triacylglycerol a 【論文】 Crucial role of CGI-58/alpha/beta hydrolase domain-containing protein 5 in lipid metabolism. (単著・2010 年 3 月) 【論文】 Dietary cholesterol reduces plasma triacylglycerol in apolipoprotein E-null mice: suppression of lipin-1 and -2 in the glycerol-3-phosphate pathway. (共著・2011 年 8 月) 【論文】 Unique regulation of adipose triglyceride lipase (ATGL) by perilipin 5, a lipid droplet-associated protein. (共著・2011 年 3 月)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 日本生化学会 日本分子生物学会						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座	生物化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1311
氏名	小濱 孝士	職位	助教	学位	薬学博士		
担当科目	生命体の成り立ち実習、基礎薬学演習、実務実習事前学習、初年次体験実習、生体分子の構造解析法						
教育活動							
研究業績	【論文】 Crucial Role of Perilipin-3 (TIP47) in Formation of Lipid Droplets and PGE2 Production in HL-60-Derived Neutrophils. (共著・2013.7) 【論文】 Oxidized low-density lipoprotein-induced periodontal inflammation is associated with the up-regulation of cyclooxygenase-2 and microsomal prostaglandin synthase 1 in human gingival epithelial cells. (共著・2011.10) 【論文】 Dietary cholesterol reduces plasma triacylglycerol in apolipoprotein E-null mice: suppression of lipin-1 and -2 in the glycerol-3-phosphate pathway. (共著・2011.8) 【論文】 Glucagon regulates intracellular distribution of adipose differentiation-related protein during triacylglycerol accumulation in the liver. (共著・2010.9) 【論文】 Oxidized low-density lipoprotein increases interleukin-8 production in human gingival epithelial cell line Ca9-22. (共著・2010.8)						
学会等および社会における主な活動							

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座 生物化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1312
氏名	加藤 里奈	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	学部連携 PBL チュートリアル「チーム医療の基盤 A」、生命体の成り立ち実習、総合薬学研究、実務実習事前学習、薬局実習、病院実習、発展薬学研究、基礎研究を担う薬剤師					
教育活動	第 2 回昭和大学病院実習指導者ワークショップ参加(2013.1) 平成 21 年度 3 年制学部合同 PBL チュートリアル・ファシリテータ養成ワークショップ参加(2009.11) 第 1 回 薬学的臨床研究・教育センター主催ワークショップ参加(2009.6)					
研究業績	【論文】 The dynamics of oxidized LDL during atherogenesis. (共著・総説・2011.5) 【論文】 Transient increase in plasma oxidized LDL during the progression of atherosclerosis in apolipoprotein E knockout mice. (共著・2009.1) 【論文】 Detection of oxidized low-density lipoproteins in gingival crevicular fluid from dental patients. (共著・2010.4) 【論文】 Glucagon regulates intracellular distribution of adipose differentiation-related protein during triacylglycerol accumulation in the liver. (共著・2010.9) 【論文】 Analyses of group III secreted phospholipase A2 transgenic mice reveal potential participation of this enzyme macrophage foam cell formation, and atherosclerosis (共著・2008.11)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座 生物化学部門	勤務施設	旗の台校舎	1313
氏名	笹部 直子	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	総合薬学研究、生命体の成り立ち(実習)、病院実習、薬局実習					
教育活動						
研究業績						
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座 腫瘍細胞生物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1314
氏名	柴沼 質子	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	生体防御と免疫異常、生命体の成り立ち、薬と疾病、医療を支えるバイオロジー、がんを分子で理解する					
教育活動	昭和大学 第 8 回薬学教育者のための WS 参加 (2013.8) 昭和大学 第 7 回薬学教育者のための WS 参加 (2012.8)					
研究業績	【著書】 細胞接着斑タンパク質 HIC-5 による足場依存性細胞増殖の制御機構 (単著・2013.5) 【論文】 A HIC-5- and KLF4-dependent mechanism transactivates p21Cip1 in response to anchorage loss (共著・2012.11) 【論文】 Critical roles of the cAMP-responsive element-binding protein-mediated pathway in disorganized epithelial phenotypes caused by mitochondrial dysfunction (2012.10) 【著書】 HIC-5: a mobile molecular scaffold regulating the anchorage dependence of cell growth (単著・2012) 【論文】 Importance of mitochondrial dysfunction in oxidative stress response: a comparative study of gene expression profiles (共著・2011.6)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座 腫瘍細胞生物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1315
氏名	石川 文博	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	P1 初年次体験実習、P2 薬と疾病チュートリアル(感染症、アレルギーと免疫疾患)、P2 生命体の成り立ち 実習、P3 医療を支えるバイオロジー、P4 総合薬学研究、P5 発展薬学研究、P6 基礎研究を担う薬剤師、P6 がんを分子レベルで理解する					
教育活動	平成 23 年度 第 12 回 関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ (2011.10) 第 1 回 昭和大学 薬学部 病院実習指導者ワークショップ (2012.7)					
研究業績	【論文】 Transcriptional induction of MMP-10 by TGF-beta, mediated by activation of MEF2A and downregulation of class IIa HDACs. (共著・2010.2) 【論文】 Gene expression profiling identifies a role for CHOP during inhibition of the mitochondrial respiratory chain. (共著・2009.6) 【論文】 Downregulation of hepatocyte nuclear factor-4alpha and its role in regulation of gene expression by TGF-beta in mammary epithelial cells. (共著・2008.6) 【論文】 Competitive nuclear export of cyclin D1 and Hic-5 regulates anchorage dependence of cell growth and survival. (共著・2009.1) 【論文】 Importance of mitochondrial dysfunction in oxidative stress response: A comparative study of gene expression profiles. (共著・2011.1)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体分子薬学講座 腫瘍細胞生物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1316
氏名	森 一憲	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	P2 生命体の成り立ち実習、P3 医療を支えるバイオロジー、P4 総合薬学研究、P4 実務実習事前学習、P5 発展薬学研究、P6 基礎研究を担う薬剤師、P6 がんを分子で理解する					
教育活動	第 6 回 昭和大学 薬学部アドバンストワークショップ参加 (2011.8) 昭和大学 薬学部 アドバンストワークショップ参加 (2010.8)					
研究業績	【論文】 A HIC-5- and KLF4-dependent mechanism transactivates p21(Cip1) in response to anchorage loss. (共著 2012.11) 【論文】 Competitive nuclear export of cyclin D1 and Hic-5 regulates anchorage dependence of cell growth and survival. (共著 2009.1) 【論文】 Critical roles of the cAMP-responsive element-binding protein-mediated pathway in disorganized epithelial phenotypes caused by mitochondrial dysfunction. (共著 2012.10) 【論文】 Importance of mitochondrial dysfunction in oxidative stress response: A comparative study of gene expression profiles. (共著 2011.6) 【論文】 Gene expression profiling identifies a role for CHOP during inhibition of the mitochondrial respiratory chain. (共著 2009.7)					
学会等および社会における主な活動	日本組織培養学会 幹事 (2013.4~2017.3)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 毒物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1317
氏名	沼澤 聡	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	P3 化学物質の生体への影響、P4 薬毒物と中毒、P4 日常生活と健康、P6 医薬品の副作用・有害反応、P2 人体の成り立ちと機能、P2 薬の作用と生体内運命					
教育活動	第 5 回昭和大学教育者のための WS (2013.7) 第 8 回昭和大学薬学教育者のための WS (2013.8) 第 8 回関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成 WS (2013.8)					
研究業績	【論文】 The crosstalk between Nrf2 and AMPK signal pathways is important for the anti-inflammatory effect of berberine in LPS-stimulated macrophages and endotoxin-shocked mice. (共著・2013・7) 【論文】 Celecoxib reduces brain dopaminergic neuronal dysfunction, and improves sensorimotor behavioral performance in neonatal rats exposed to systemic lipopolysaccharide. (共著・2013・4) 【論文】 Cross-talk between constitutive androstane receptor and hypoxia-inducible factor in the regulation of gene expression. (共著・2013・5) 【論文】 Redox-sensitive transcription factor Nrf2 regulates vascular smooth muscle cell migration and neointimal hyperplasia. (共著・2013・4) 【論文】 MicroRNA-122 down-regulation is involved in phenobarbital-mediated activation of the constitutive androstane receptor. (共著・2012・7)					
学会等および社会における主な活動	東京都脱法ドラッグ専門調査委員 (2008.4) Biological & Pharmaceutical Bulletin 誌 Editorial Board (2011.4~2013.3) 日本化粧品学会評議員 (2013.6~)					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 毒物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1318
氏名	田中 佐知子	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	P1 および P2 人体の成り立ちと機能、P3 薬と疾病（神経系疾患）、P4 薬毒物と中毒、P3 薬と疾病チュートリアル（神経疾患）、P3 実習健康と環境、P3 実習薬の効くプロセス（PK/PD）、教育部チーム医療の基盤A、教育部初年次体験実習、P4 実務実習事前学習、P4 総合薬学研究、P5 病院実習、P5 薬局実習、P5 学部連携病棟実習、P5 総合薬学演習（II 期）					
教育活動	第 7 回昭和大学薬学教育者のためのワークショップ参加（2011.7） 昭和大学薬学部生涯教育推進委員会					
研究業績	【論文】 Celecoxib reduces brain dopaminergic neuronal dysfunction, and improves sensorimotor behavioral performance in neonatal rats exposed to systemic lipopolysaccharide(共著・2013. 4) 【論文】 Celecoxib attenuates systemic lipopolysaccharide-induced brain inflammation and white matter injury in the neonatal rats (共著・2013.6) 【論文】 Involvement of interleukin-1 in lipopolysaccharide-induced microglial activation and learning and memory deficits(共著・2011.2) 【論文】 Alpha7 nicotinic Ach receptor mediated neuroprotective action by nicotine and GTS-21 ~An approach by the hippocampal organotypic slice cultures~ (共著・2011.4) 【論文】 Recreational drugs, 34-Methylenedioxymethamphetamine (MDMA), 34-methylenedioxyamphetamine (MDA) and dephenylprolinol, inhibit neurite outgrowth in PC12 cells(共著・2010.6)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会評議員(2009.4~現在) 日本薬学会 Society for Neuroscience					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 毒物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1319
氏名	貝崎 明日香	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	健康と環境、薬の効くプロセス(PK/PD)					
教育活動	第 2 回関東・東京ブロック認定実務実習指導薬剤師養成 WS 修了 平成 19 年度昭和大学薬学部アドバンスト WS 参加					
研究業績	【論文】 Maternal MDMA administration in mice leads to neonatal growth delay. (2014.2) 【論文】 New recreational drug 1-phenyl-2-(1-pyrrolidinyl)-1-pentanone (alpha-PVP) activates central nervous system via dopaminergic neuron. (2014.2) 【論文】 Neonatal exposure to lipopolysaccharide enhances accumulation of α-synuclein aggregation and dopamine transporter protein expression in the substantia nigra in responses to rotenone challenge in later life. (共著・2013.6) 【論文】 Celecoxib attenuates systemic lipopolysaccharide-induced brain inflammation and white matter injury in the neonatal rats (共著・2013.6) 【論文】 Celecoxib reduces brain dopaminergic neuronal dysfunction, and improves sensorimotor behavioral performance in neonatal rats exposed to systemic lipopolysaccharide. (2013.4)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 日本薬理学会 Society for Neuroscience					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 毒物学部門	勤務施設	旗の台校舎	1320
氏名	芦野 隆	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	薬と疾病チュートリアル(チーム医療による薬物治療)、健康と環境、薬の効くプロセス(PK/PD)、実務実習事前学習					
教育活動	第 2 回昭和大学病院実習指導者WS 参加 (2013.1)					
研究業績	【論文】 Redox-sensitive transcription factor nrf2 regulates vascular smooth muscle cell migration and neointimal hyperplasia (共著・2013.4) 【論文】 Auranofin protects against cocaine-induced hepatic injury through induction of heme oxygenase-1 (共著・2011.10) 【論文】 Unexpected role of the copper transporter ATP7A in PDGF-induced vascular smooth muscle cell migration (共著・2010.9) 【論文】 Negative feedback regulation of lipopolysaccharide-induced inducible nitric oxide synthase gene expression by heme oxygenase-1 induction in macrophages (共著・2008.4) 【論文】 Effect of interleukin-6 neutralization on CYP3A11 and metallothionein-1/2 expressions in arthritic mouse liver (共著・2007.3)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 日本毒性学会					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 薬理学部門	勤務施設	旗の台校舎	1321
氏名	本田 一男	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	薬の効き方、薬と疾病（心・血管系疾患）、創薬と育薬、インタビューシンプ、医薬品の研究開発の流れ、理論薬学演習					
教育活動	平成 18 年度アドバンスト WS 参加 (2006.8) 平成 20 年度アドバンスト WS 参加 (2008.8) 昭和大学図書館副館長 (2010 年 4 月～現在)					
研究業績	【論文】 Distinct effects of tissue-type plasminogen activator and SMTP-7 on cerebrovascular inflammation following thrombolytic reperfusion. Stroke 142:1097- (共著, 2011) 【論文】 Neuroprotective mechanisms of SMTP-7 in cerebral infarction model in mice. Naunon-Schmied Arch Pharmacol 384:103. (共著, 2011) 【論文】 Shear stress-dependent effects of lysophosphatidic acid on agonist-induced vasomotor responses in rat mesenteric artery. J Cardiovascul Pharm 57:604 (共著, 2011) 【論文】 Shear stress-dependent effects of lysophosphatidic acid on agonist-induced vasomotor responses in rat mesenteric artery. J Cardiovascul Pharm 57:604 (共著, 2011) 【論文】 A novel embolic model of cerebral infarction and evaluation of Stachybotrys microspora triprenyl phenol-7 (SMTP-7), a novel fungal triprenyl phenol metabolite. J Pharmacol Sci 114:41 (共著, 2010)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会 理事 (2001 年 4 月～2003 年 3 月) 日本薬学会 理事 (2002 年 4 月～2003 年 3 月) 日本薬理学会 学術評議員 (1985 年 4 月～現在)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 薬理学部門	勤務施設	旗の台校舎	1322
氏名	大幡 久之	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	薬理学					
教育活動	平成 22-24 年度薬学共用試験 OSCE モニター員 平成 25 年度薬学共用試験 OSCE 評価者養成伝達講習会参加 (2013.8) 平成 24 年度薬学部アドバンスト WS 参加 (2012.8)					
研究業績	【論文】 Lysophosphatidic acid induces shear stress-dependent contraction in mouse aortic strip in situ. (共著、inpress) 【論文】 Spatiotemporal dynamics of intracellular calcium in the middle cerebral artery isolated from stroke-prone spontaneously hypertensive rats (共著、2012.1) 【論文】 M-Calpain induction in vascular endothelial cells on human and mouse atherosclerosis and its roles in VE-cadherin disorganization and atherosclerosis (共著、2011.12) 【論文】 Shear Stress-dependent Effects of Lysophosphatidic Acid on Agonist-induced Vasomotor Responses in Rat Mesenteric Artery (共著、2011.5) 【論文】 Lysophosphatidic acid induces shear stress-dependent Ca ²⁺ influx in mouse aortic endothelial cells in situ (共著、2011.4)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会評議員 (1990.2~) 日本バイオイメージング学会評議員 (2003.1~)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 薬理学部門	勤務施設	旗の台校舎	1323
氏名	黄 洋一	職位	専任講師	学位	理学博士	
担当科目	第 1 学年：初年次体験実習、第 2 学年：薬の作用と生体内運命、人体のなりたちと機能実習、第 3 学年：薬の効き方、薬の効くプロセス実習、第 4 学年：薬と疾病（呼吸器系作用薬）、薬と疾病（消化器系作用薬）、総合薬学研究、実務実習事前学習、第 6 学年：理論薬学演習、実践薬学演習					
教育活動						
研究業績	【論文】 Upregulation of Histidine Decarboxylase Immunoreactivity in Neointimal Smooth Muscle Cells of Balloon-injured Porcine Coronary Arteries (共著・2010.12) 【論文】 Fluorometric determination of nitrite with 2,3-diaminonaphthalene by reverse phase HPLC under alkaline conditions (共著・2009.5) 【論文】 Nitrogen oxide air pollutants interfere with the measurement of nitric oxide using 2,3-diaminonaphthalene: Reduction of background interference (共著・2009.10) 【論文】 Marked increase in the histamine content of neointima after stent implantation of pig coronary artery and growth-promoting effects of histamine in cultured smooth muscle cells (共著・2005.6) 【論文】 Histidine-rich glycoprotein plus zinc reverses growth inhibition of vascular smooth muscle cells by heparin (共著・2003.6)					
学会等および社会における主な活動						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 薬理学部門	勤務施設	旗の台校舎	1324
氏名	橋本 光正	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	薬と疾病					
教育活動						
研究業績	【論文】 Adiponectin enhances calcium dependency of mouse bladder contraction mediated by protein kinase C α expression. (共著 2013.4) 【論文】 Spatiotemporal dynamics of intracellular calcium in the middle cerebral artery isolated from stroke-prone spontaneously hypertensive rats. (共著 2012. 2) 【学会発表】 Altered gene expression in embolic stroke model with SMTP-7 and t-PA treatment (2012.4) 【論文】 Distinct effects of tissue-type plasminogen activator and SMTP-7 on cerebrovascular inflammation following thrombolytic reperfusion. (共著 2011.2) 【論文】 A novel embolic model of cerebral infarction and evaluation of Stachybotrys microspora triprenyl phenol-7 (SMTP-7), a novel fungal triprenyl phenol metabolite. (共著 2010.8)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会学術評議員 (2010.4~2014.3)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 生理・病態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1325
氏名	清水 俊一	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	「人体の成り立ちと機能(循環器系)」「人体の成り立ちと機能(泌尿器系、内分泌系)」「薬と疾病(心・血管疾患)」「薬と疾病(血液・内分泌・婦人科系疾患)」「薬と疾病(心・血管疾患、腎疾患、代謝疾患)」「理論・実践薬学演習」「実務実習事前学習」「総合薬学研究」「発展薬学研究」「病院実習、薬局実習」「臨床研究を担う薬剤師」「基礎研究を担う薬剤師」					
教育活動	薬学部アドバンスト教育ワークショップ (2012.11) 薬学教育者ワークショップ (2011.8) 医療系学部教員による合同WS参加 (2010.12)					
研究業績	【論文】 Neutrophil TRPM2 channels are implicated in the exacerbation of myocardial ischaemia/reperfusion injury. (共著・2013) 【論文】 An important role of increase in tetrahydrobiopterin via H2O2/Jak2 signaling pathway in late phase of ischaemic preconditioning. (共著・2010) 【論文】 TRPM2-mediated Ca ²⁺ influx induces chemokine production in monocytes that aggravates inflammatory neutrophil infiltration. (共著・2008) 【論文】 Hydrogen peroxide stimulates tetrahydrobiopterin synthesis through activation of the Jak2 tyrosine kinase pathway in vascular endothelial cells. (共著・2008) 【論文】 Ca ²⁺ -calmodulin-dependent myosin light chain kinase is essential for activation of TRPC5 channels expressed in HEK293 cells. (共著・2006)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会会員 日本薬理学会評議員 日本生化学会会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 生理・病態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1326
氏名	石井 正和	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	人体の成り立ちと機能、薬と疾病チュートリアル、患者・対応入門、総合薬学研究、学部横断 PBL、実務実習事前学習、発展薬学研究、薬局実習、病院実習、臨床研究を担う薬剤師、基礎研究を担う薬剤師					
教育活動	昭和大学薬学部アドバンスト教育WS (2012, 11) 昭和大学薬学部アドバンストWS (2010, 8) 昭和大学薬学部アドバンストWS (2009, 8)					
研究業績	【論文】 Neutrophil TRPM2 channels are implicated in the exacerbation of myocardial ischemia/reperfusion injury. (共著・2013) 【論文】 Association between the G252A tumor necrosis factor-beta gene polymorphism and medication-overuse headache. (共著・2013) 【論文】 Predictive index for the onset of medication overuse headache in migraine patients. (共著・2013) 【論文】 Association of genetic, psychological, and behavioral factors with sleep bruxism in a Japanese population. (共著・2012) 【論文】 MAOA, MTHFR and TNF-beta genes polymorphisms and personality traits in the pathogenesis of migraine. (共著・2012)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会 評議員 (2005.3~) 日本薬学会会員 日本薬局学会会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	生体制御機能薬学講座 生理・病態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1327
氏名	栗原 竜也	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	EBMの活用、人体の成り立ちと機能、診療の流れを知る、薬と疾病チュートリアル、薬剤師の臨床判断、臨床研究を担う薬剤師、急医療・外科医療と薬剤師					
教育活動	第8回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 第6回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 第7回昭和大学 PBL シナリオ作成ワークショップ参加					
研究業績	【論文】 切除不能進行膵がん患者に対する塩酸ゲムシタピン療法対 S-1 療法の費用効用分析. 共著, 2012 【論文】 Factors predicting the appearance of neutropenia in patients with advanced pancreatic cancer undergoing gemcitabine therapy. 共著, 2012 【論文】 Factors Involved in Resistance to Early Treatment of Acute Cholangitis Patients. 共著, 2012 【論文】 切除不能進行膵がん患者に対する化学療法の費用効果分析: 塩酸ゲムシタピン療法 vs S-1 療法. 共著, 2012 【論文】 進行非小細胞肺癌患者における第3世代抗がん剤を含む初回化学療法施行後の好中球現象発現に関与する危険因子の検討. 共著, 2013					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬剤学部門	勤務施設	旗の台校舎	1328
氏名	中村 明弘	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	薬の臓器への到達と消失、医薬品の剤形、薬物送達システム、総合薬学研究、総合薬学演習ほか					
教育活動	日本薬学会第2回薬学教育者のためのアドバンストワークショップ実行委員 (2012.11) 日本薬学会第3回全国学生ワークショップ実行委員 (2013.8) 文部科学省薬学教育指導者のためのワークショップタスクフォース (2013.8)					
研究業績	【論文】 市販の各種ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠の崩壊特性に及ぼす製剤処方および製法の影響 (共著・2013.7) 【論文】 Vascular Endothelial Growth Factor Electro-Gene Therapy Improves Functional Outcome in a Mouse Model of ALS. (共著・2013.6) 【著書】 スタンダード薬学シリーズ 薬と疾病 ? 薬物治療 (1) 第2版 (共著・2012.12) 【論文】 ファモチジン含有速崩壊性錠剤の崩壊性の比較 (共著・2011.12) 【論文】 Placental growth factor-2 gene transfer by electroporation restores diabetic sensory neuropathy in mice. (共著・2011.1)					
学会等および社会における主な活動	公益社団法人日本薬学会 薬学教育委員会委員 (2011.4~2014.3) 非営利特定法人薬学共用試験センター 理事 (2009.6~) 一般社団法人薬学教育評価機構 基準・要綱検討委員会委員長 (2008.12~)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬剤学部門	勤務施設	旗の台校舎	1329
氏名	倉田 なおみ	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	製剤化のサイエンス、医薬品の剤形、プレゼンテーション・コミュニケーション、医薬品情報と患者情報、福祉の現状を知る、薬物送達システム、診療の流れを知る					
教育活動	第7回シナリオ作成WS参加 (2012.8) 学部連携病棟実習 アドバンストチーム医療実習					
研究業績	【論文】 高齢者が服用しやすい医薬品の研究—服用可能な口腔内崩壊錠の大きさに関する評価— (共著・2010.6) 【論文】 ファモチジン含有速崩壊性錠剤の崩壊性の比較 (共著・2011.12) 【著書】 薬学実務実習指導者必携 (共著・2012.6) 【著書】 経腸栄養マニュアル (共著・2012.2) 【著書】 新しい薬学辞典 (共著・2012.6)					
学会等および社会における主な活動	財団法人日本医療機能評価機構 評価調査者 (2011.4.1~2013.3.3) 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員 (2011.8.1~2013.7.31) 日本病院薬剤師会学術第8小委員会 委員長 (2012.4.1~2014.3.31)					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬剤学部門	勤務施設	旗の台校舎	1330
氏名	藤田 吉明	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	「製剤化のサイエンス」、「薬の効くプロセス」、「事前学習(はじめるにあたって・病棟)」、「実践セルフメディケーション」、「薬と疾病(3)演習」					
教育活動	第2回昭和大学病院実習指導者ワークショップ 2013.1参加					
研究業績	【論文】 Development of sensory neuropathy in streptozotocin-induced diabetic mice (共著・2013.1) 【論文】 Placental growth factor-2 gene transfer by electroporation restores diabetic sensory neuropathy in mice. (共著・2011.1) 【論文】 一般用医薬品の適正使用に貢献できる薬剤師育成のための卒業教育プログラムの構築とその効果 (共著・2010.3) 【学会発表】 臨床を意識付ける薬剤学系学生実習の構築 (共著・2013.5) 【学会発表】 糖尿病性神経障害モデルマウスにおけるプロスタグランジン E2 の挙動 (共著・2013.3)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬剤学部門	勤務施設	旗の台校舎	1331
氏名	村山 信浩	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	プレゼンテーション・コミュニケーション、薬と疾病(心・血管疾患、腎疾患、代謝疾患)、製剤化のサイエンス、薬の効くプロセス(PK/PD)、実務実習事前学習、実践セルフメディケーション、薬剤開発の先端科学、チーム医療の基盤B					
教育活動	薬学部アドバンスト教育ワークショップ(2012.11) 薬学部病院実習指導者ワークショップ(2012.7) 実務実習指導薬剤師養成WS(2009.6)					
研究業績	【論文】 市販の各種ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠の崩壊特性に及ぼす製剤処方および製法の影響 (共著・2013.7) 【学会発表(抄録含む)】 同一有効成分含有の口腔内崩壊錠の崩壊性に関する製品間比較 (共著・2013.5) 【学会発表(抄録含む)】 速崩壊性錠剤の崩壊性に関する比較 (共著・2012.9) 【学会発表(抄録含む)】 酸化マグネシウム錠の崩壊特性の製品間比較 (共著・2012.5) 【学会発表(抄録含む)】 口腔内崩壊錠の崩壊性に及ぼす唾液と製造方法の影響に関する検討 (共著・2012.5)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬物動態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1332
氏名	佐藤 均	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	P2 診療の流れ、P3 薬の体内動態と薬物治療、P3 薬の効くプロセス(PK)、P4 総合薬学研究、P6 臨床研究を担う薬剤師					
教育活動	薬学部アドバンスト教育ワークショップ(2012.11) 第6回薬学教育者のためのワークショップ(2011.8)					
研究業績	【論文】 Stability of ester prodrugs with magnesium oxide using the simple suspension method(共著・2013) 【論文】 Pharmacokinetic and pharmacodynamic study on amrubicin and amrubicinol in Japanese patients with lung cancer. (共著・2012) 【論文】 The use of 13C-erythromycin as an in vivo probe to evaluate CYP3A-mediated drug interactions in rats (共著・2011) 【論文】 Estimating pediatric doses of drugs metabolized by cytochrome P450 (CYP) isozymes, based on physiological liver development and serum protein levels. (共著・2010) 【論文】 Population pharmacokinetic and pharmacodynamic analysis for time courses of docetaxel-induced neutropenia in Japanese cancer patients. (共著・2007)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 評議員 日本薬学会 会員 日本医療薬学会 会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬物動態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1333
氏名	杉山 恵理花	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	P2 診療の流れ、P3 調剤・患者対応入門(臨床薬物動態)、P3 薬の効くプロセス(PK)、P4 事前学習、P4 総合薬学研究 他					
教育活動	第8回薬学教育者のためのワークショップ(2013.8) 第7回薬学教育者のためのワークショップ(2012.7) 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(2007.9)					
研究業績	【論文】 Stability of ester prodrugs with magnesium oxide using the simple suspension method(共著・2013) 【論文】 The use of 13C-erythromycin as an in vivo probe to evaluate CYP3A-mediated drug interactions in rats (共著・2011) 【論文】 Estimating pediatric doses of drugs metabolized by cytochrome P450 (CYP) isozymes, based on physiological liver development and serum protein levels. (共著・2010) 【論文】 Desirable pharmacokinetic properties of 13C-uracil as a breath test probe of gastric emptying in comparison with 13C-acetate and 13C-octanoate in rats (共著・2009) 【論文】 注射薬混合時に用いる各種シリンジフィルターへの薬物吸着に関する検討(共著・2009)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 会員 日本医療薬学会 会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 薬物動態学部門	勤務施設	旗の台校舎	1334
氏名	齊藤 清美	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	診療の流れを知る、調剤・患者対応入門、薬の効くプロセス、総合薬学研究、実務実習事前学習、発展薬学研究、臨床研究を担う薬剤師、基礎研究を担う薬剤師、基礎薬学演習、EBMの活用					
教育活動	第6回昭和大学薬学部アドバンストWS参加(2011,8) 第1回薬学的臨床研究・教育センター主催WS参加(2009,3)					
研究業績	【論文】 Effect of Adiponectin on Cardiac Allograft Vasculopathy (共著・2011) 【論文】 Adiponectin protects against doxorubicin-induced cardiomyopathy by anti-apoptotic effects through AMPK up-regulation (共著・2011) 【論文】 The cardioprotective effects of short-term caloric restriction are mediated by adiponectin via activation of AMP-activated protein kinase (共著・2007) 【論文】 Adiponectin plays an important role in efficient energy usage under energy shortage (共著・2006) 【論文】 Angiotensin II infusion decreases plasma adiponectin level via its type 1 receptor in rats: an implication for hypertension-related insulin resistance (共著・2006)					
学会等および社会における主な活動	日本分子生物学会 会員 日本肥満学会 会員 日本医療薬学会 会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 臨床薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1335
氏名	山元 俊憲	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	薬と疾病(症候と臨床検査・感染症)、薬と疾病(炎症と骨・関節・腎・泌尿器疾患)、薬と疾病(消化器系・小児科疾患)、薬と疾病(症状から見た鑑別)					
教育活動	第8回薬学教育者のためのワークショップ(2013.8/7-8/8) 平成23年度昭和大学薬学部アドバンストワークショップ 薬剤師の職域を広げる新しい薬学教育を全国規模で展開する基盤作り(2011.8/17-8/19) 第7回薬学教育者のためのワークショップ(2012.7/29-7/30)					
研究業績	【論文】 Differential mRNA expression and the uptake of methotrexate in primary MAEC and MLF cells: involvement of the Abc and Slco/Oatp transporters in aveplar epithelial cell toxicity (共著・2013.2) 【論文】 Functional Characterization and Substrate Specificity of a Novel Gene Encoding Zinc Finger-like Protein, ZfLp, in Xenopus laevis Oocytes (共著・2012.8) 【論文】 Activation of Cyclosporin A Transport by a Novel λ Light Chain of Human Ig Surface Antigen-Related Gene in Xenopus laevis Oocytes (共著・2010.9) 【論文】 Induction of Pulmonary Fibrosis by Methotrexate Treatment in Mice Lung in vivo and in vitro (共著・2010.9) 【論文】 Cloning and pharmacological characterization of a novel gene encoding human nucleotide transporter1(hNT1) from a human breast cancer cDNA library (共著・2009.1)					
学会等および社会における主な活動	日本臨床薬理学会 評議員 (平成15年12月～) 日本医療薬学会 代議員 (平成21年8月～) 日本臨床救急医学会 評議員 (平成19年1月～)					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 臨床薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1336
氏名	小林 靖奈	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	「人体の成り立ちお機能(マクロ解剖)」、「調剤・患者対応入門」、「処方せんと調剤」、「薬と疾病(炎症と骨・関節疾患、腎泌尿器疾患)」、「化学物質の生体への影響」、「総合薬学研究」、「総合薬学演習」、「実務実習事前学習」、「基礎研究を担う薬剤師」、「臨床研究を担う薬剤師」、「発展薬学研究」、「アドバンスト病棟実習」、「臨床研究を担う薬剤師(アドバンスト)」					
教育活動	薬物治療の主軸を目指す薬剤師のためのワークショップ参加(2012.9) 薬学教育者のためのワークショップ(2012.7) 薬学部アドバンストワークショップ(2011.8)					
研究業績	【研究報告書】日本人におけるヒト型有機陰イオン薬物輸送担体(hOAT2[SLC22A7])の遺伝子多型解析と mRNA 発現量の個人差および肝がん発症に関する研究(2012.5) 【その他】薬剤師の在宅訪問により貧血症をモニタリングすることで巨赤芽球性貧血の早期診断と治療に貢献できた一例(2012.9) 【論文】Activation of Cyclosporin A Transport by A Novel Lambda Light Chain of Human Immunoglobulin Surface Antigen-related Gene in Xenopus Laevis Oocytes(2010.7) 【論文】Differential mRNA expression and the uptake of methotrexate in primary MAEC and MLF cells: Involvement of the Abc and Slco/0atp transporters in alveolar epithelial cell toxicity(2013.1) 【論文】Isolation, Transport Characterization and Substrate Specificity of a Novel Gene Encoding Zinc Finger-like Protein (ZfLp)(2012.7)					
学会等および社会における主な活動	日本毒性学会評議員(2012.4~) 日本トキシコロジー学会教育委員(2010.4~2011.3)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 臨床薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1337
氏名	中田 亜希子	職位	助教	学位	公衆衛生学修士	
担当科目	「実務実習」、「実務実習に向けて」、「実務実習事前学習」、「総合薬学演習」など					
教育活動	昭和大学病院薬剤師ワークショップ参加(2013.1月) 第7回薬学教育者のためのワークショップ参加(2012.7月) 第3回認定指導薬剤師養成ワークショップ参加(2012.5月)					
研究業績	【論文】薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導の現状調査(共著・2013.7) 【学会発表】薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導の現状調査(2012.3) 【著書】コミュニケーション研究法 第1部 4. 研究倫理(共著・2011.4) 【論文】医薬情報担当者(MR)の継続教育における倫理教育に関する現状調査(共著・2010.11) 【論文】薬剤師と看護師間のヘルス・コミュニケーションの問題点(単著・2008.6)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 臨床薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1338
氏名	神山 紀子	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	2 学年 人体の成り立ちと機能 実習、3 学年 薬と疾病チュートリアル(チーム医療による薬物治療)、3 学年 調剤・患者対応入門、4 学年 総合薬学研究、4 学年 実務実習事前学習、5 学年 実践セルフメディケーション、5 学年 EBM の活用、5 学年 実務実習に向けて、5 学年 病院実習、5 学年 薬局実習、5 学年 学部連携病棟実習、6 学年 実務実習事後学習、6 学年 臨床研究を担う薬剤師					
教育活動	平成 24 年度昭和大学薬学部アドバンストワークショップ 参加(2012.11) 第2回薬学的臨床研究・教育センター主催ワークショップ 参加(2010.1) 平成 19 年度昭和大学薬学部アドバンストワークショップ 参加(2007.8)					
研究業績	【論文】Characterization of monocarboxylate transporter 6: expression in human intestine and transport of the antidiabetic drug nateglinide(共著・2013.11) 【論文】患者の本音や期待の把握を目指した「コミュニケーション・服薬説明実習」の取り組み(共著・2013.4) 【学会発表】抗ヒスタミン薬の鎮静作用評価における眼球運動速度解析 パラメータとヒスタミンH1受容体占拠率との相関性の検討(共著・2011.10) 【その他】科学的・合理的な薬物治療を実践するための疾患別 SOAP マスターファイルの作成及びその臨床適用 高血圧症(共著・2011.4) 【学会発表】抗ヒスタミン薬カレバステンを輸送するトランスポーターの検討(共著・2010.11)					
学会等および社会における主な活動	アプライドセラピューティクス学会症例解析・文献評価ワークショップ組織委員(2009-2013)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 臨床薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1339
氏名	大林 真幸	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	薬剤師を取り巻く法律と制度(1)、調剤・患者対応入門、救急医療・外科医療と薬剤師、病院で患者中心のチーム医療を実践する(学部連携病棟実習)、初年次体験実習(学部実習)、臨床薬学(薬学研究課題)一般、臨床薬学(薬学研究課題)社会人、臨床薬学(輪講)一般、臨床薬学(輪講)社会人					
教育活動	第7回薬学教育者のためのワークショップ参加(平成24年) 昭和大学薬学部アドバンストワークショップ参加(平成23年) 昭和大学薬学部アドバンストワークショップ参加(平成22年)					
研究業績	【学会発表(抄録含む)】Methotrexate 誘発肺障害における薬物トランスポーターの関与一肺胞上皮細胞および肺 線維芽細胞における mRNA 発現と機能の比較一(平成 25 年 6 月千葉) 【論文】Differential mRNA expression and the uptake of methotrexate in primary MAEC and MLF cells: involvement of the Abc and Slco/0atp transporters in alveolar epithelial cell toxicity. (共著・2013) 【論文】Isolation, Transport Characterization and Substrate Specificity of a Novel Gene Encoding Zinc Finger-like Protein (ZfLp), (共著・2012) 【論文】日本人におけるヒト型有機陰イオン薬物輸送担体(hOAT2[SLC22A7])の遺伝子多型解析と mRNA 発現量の個人差および肝がん発症に関する研究, (共著・2012) 【論文】小学校高学年を対象とした“気づき”を与える薬育授業の構築と実施(共著・2012)					
学会等および社会における主な活動	文部科学省高等教育局医学教育課技術参与(薬学教育専門官)(2011.4月~2012.3月) 文部科学省高等教育局医学教育課参与(薬学教育専門官)(2010.4月~2011.3月) 品川学校薬剤師					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 遺伝解析薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1340
氏名	中野 泰子	職位	教授(員外)	学位	薬学学士	
担当科目	個人・集団・社会と健康、生命を担う分子(遺伝子操作)、薬と疾病(呼吸器・皮膚科疾患)、バイオ医薬品とゲノム情報、薬と疾病チュートリアル(呼吸器疾患)、医薬品情報と患者情報、調剤・患者対応入門、理論・実践薬学演習、総合薬学研究、発展薬学研究(II期)、発展薬学研究(III期)、基礎研究を担う薬剤師、基礎研究を担う薬剤師(アドバンスト)、臨床研究を担う薬剤師、薬局実習、病院実習、レギュラトリーサイエンス、生体高分子の構造解析法、					
教育活動	平成 19 年 4 月 1 日 ~ 25 年 3 月 31 日研究科運営委員会委員長。この間 4 年制大学院設置届け出の準備、平成 23 年届け出、平成 24 年 4 月開設。 第十回、十二回、十四回薬学教育改革大学会議アドバンストワークショップ参加(2007.12、2010.2、2010.11) 第8回、15回昭和大学医学教育者のためのWS(2002.7、2009.7)、平成 24 年度まで毎年昭和大学薬学部アドバンストワークショップ参加					
研究業績	【著書】バイオ医薬品 開発の基礎から次世代医薬品まで(共著・2013.8) 【論文】The effect of adiponectin on the cardiac allograft vasculopathy(共著・2011.7) 【論文】Adiponectin protects against Doxorubicin-induced cardiomyopathy by anti-apoptotic effects through AMPK upregulation(共著・2011.2) 【論文】Analytical Evaluation of a High-Molecular-Weight (HMW) Adiponectin Chemiluminescent(共著・2010.12) 【論文】Adiponectin does not bind to gelatin? A new and easy way to purify HMW adiponectin from human plasma(共著・2010.1)					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会学術誌編集委員(2014.4~継続中) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員(2002.4~継続中) 日本薬学会広報委員(2005.4から2年間)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 遺伝解析薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1341
氏名	根来 孝治	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	薬と疾病(血液疾患)、生命活動を担う分子(遺伝子操作)、薬と疾病チュートリアル(呼吸器疾患)、理論薬学演習(血液疾患、眼疾患)、生体高分子の解析法(大学院)、レギュラトリーサイエンス(大学院)					
教育活動	「コアカリ改訂に関するアンケート調査」取りまとめWS参加(2011.12)					
研究業績	【論文】Low HCMV DNA copies can establish infection and result in significant symptoms in extremely preterm infants: a prospective study(共著・2012.2) 【論文】Impaired Ca2+ regulation of CD4+CD25+ regulatory T cells from pediatric asthma(共著・2011.5) 【論文】Participation of Th17 and Treg cells in pediatric bronchial asthma(共著・2010.7) 【論文】TRPM2-mediated Ca2+ influx induces chemokine production in monocytes that aggravates inflammatory neutrophil infiltration(共著・2008.6) 【著書】Bronchial asthma-Emerging therapeutic strategies, Chapter 4: Immunomechanisms of childhood asthma(共著・2012.2)					
学会等および社会における主な活動						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 遺伝解析薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1342
氏名	谷岡 利裕	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	細胞生化学、遺伝子工学					
教育活動	平成 23 年度 薬学部アドバンスワークショップ参加 (2011.8) 平成 19 年度昭和大学薬学部アドバンスワークショップ参加 (2007) 第一回東京ブロック薬剤師養成ワークショップ参加 (2007)					
研究業績	【論文】 NO donor induces Nec-1-inhibitable, but RIP-1-independent, necrotic cell death in pancreatic beta-cells. (共著 2011.8) 【論文】 iNOS and NO donor decrease IRS-2 protein expression by promoting proteasome-dependent degradation in pancreatic beta-cells: Involvement of GSK-3beta. (共著 2011.5) 【論文】 HSP47 はアディポネクチン分泌を制御する。(共著 2010.3) 【論文】 Prg1 is regulated by the basic helix-loop-helix transcription factor Math2. (共著 2008.7) 【論文】 A novel enzyme-linked immunosorbent assay specific for high-molecular-weight adiponectin. (共著 2006.4)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 感染制御薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1343
氏名	石野 敬子	職位	准教授	学位	薬学博士	
担当科目	微生物と感染症、薬と疾病 (症候と臨床検査・感染症)、生命体の成り立ち実習、診療の流れを知る、薬と疾病チュートリアル (チーム医療による薬物治療)、総合薬学研究、実務実習事前学習、総合薬学演習 (II 期)、発展薬学研究、病院で患者中心のチーム医療を実践する (学部連携病棟実習)、基礎研究を担う薬剤師、理論薬学演習、実践薬学演習、疾患解明の先端科学					
教育活動	薬学部教育委員会委員 第 1 回 昭和大学薬学部病院実習指導者ワークショップ参加 (2012.8) 平成 23 年度 第 3 回 関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (2011.5)					
研究業績	【その他】グッドマン・ギルマン薬理書 [下] 薬物治療の基礎と臨床 [第 12 版] (分担: 2013.4) 【論文】 特定抗菌薬届出制導入による抗菌薬処方への影響とその教育的効果 (共著: 2012.3) 【学会発表】 A Role of LtsA in Virulence of Nocardia farcinica (共著: 2011.9) 【論文】 Identification of nocobactin NA biosynthetic gene clusters in Nocardia farcinica. (共著: 2011.1) 【論文】 Usefulness of PCR-RFLP of coagulase gene to discriminate arbekacin-resistant MRSA (共著: 2007.2)					
学会等および社会における主な活動	第 43 回昭和大学薬学部卒業後教育セミナー: 感染症治療の最前線「ウイルス感染症と治療薬」(2011.6) 昭和大学公開講座暮らしと健康 (第 43 回): 最新の感染症医療「災害と感染症」(2011.5)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 感染制御薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1344
氏名	前田 真之	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	感染制御学					
教育活動	平成 23 年度昭和大学薬学部アドバンス WS 参加 (2011.8) 第 3 回関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成 WS 参加 (2011.5)					
研究業績	【論文】 特定抗菌薬届出制導入による抗菌薬処方への影響とその教育的効果 (共著・2012.3) 【論文】 後発医薬品導入による注射抗菌薬使用量の変化と院内分離菌への影響 (共著・2010.7) 【論文】 オビオイド簡易変換表交付前後によるオビオイドおよび除痛動向における考察 (共著・2009.12) 【論文】 Inhibition of Angiogenesis and HIF-1α Activity by Antimycin A1 (共著・2006.12)					
学会等および社会における主な活動	日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 (第 11062 号) 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 (第 12-004 号) 日本医療薬学会 医療薬学会認定薬剤師 (第 10-0013 号)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 医薬情報解析学部門	勤務施設	旗の台校舎	1345
氏名	加藤 裕久	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	薬と疾病 (悪性腫瘍・アレルギーと免疫疾患)、処方箋と調剤、医薬品情報と患者情報、調剤・患者対応入門、薬と疾病チュートリアル (呼吸器疾患・消化器疾患・内分泌疾患)、総合薬学研究、実務実習事前学習、実務実習、総合薬学演習、からだの病気: くすりと体 (歯学部)、臨床薬学 (保健医療学部)					
教育活動	上條奨学賞 教育部門 (薬学 6 年制実務実習教育の構築支援) 受賞 第 7 回薬学部アドバンスワークショップ参加 (2011.7) 昭和大学病院実習指導者ワークショップ企画運営 (2011.7)					
研究業績	【論文】 Randomized controlled study comparing two doses of intravenous granisetron (1 and 3 mg) for acute chemotherapy-induced nausea and vomiting in cancer patients: a non-inferiority trial. (共著・2009.4) 【論文】 Concomitant polypharmacy is associated with irinotecan-related adverse drug reactions in patients with cancer. (共著・2012.5) 【学会発表】 Management of the cancer chemotherapy regimens in cancer medicine cooperation base hospital. (2012.7) 【著書】 今日の治療薬 2012 (共著・2012.2) 【著書】 がん化学療法レジメンハンドブック 改訂版 (共著・2010)					
学会等および社会における主な活動	日本緩和医療薬学会理事 (2007.10~) 日本臨床腫瘍学会評議員 (2010.4~) 日本薬剤師会編集委員長 (2008.4~)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬物療法学講座 医薬情報解析学部門	勤務施設	旗の台校舎	1346
氏名	半田 智子	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	診療の流れを知る、調剤・患者対応入門、救急医療・外科医療と薬剤師、実務実習事前学習、EBM の活用、医療を支えるサイエンス、海外における薬剤師の役割を知る、総合薬学研究、薬と疾病チュートリアル (呼吸器疾患)、病棟実習シミュレーション学部連携 PBL					
教育活動	昭和大学薬学部アドバンス教育ワークショップ (2012.11) 文部科学省「大学における医療人養成推進等委託事業」「臨床薬学教科の教材開発 (医薬品情報学)」における WS 参加 (2012.11) 第 16 回日本医薬品情報学会総会学術大会 医薬品情報学をベースとした薬物治療学の新しい教育方法教育 WS 参加 (2013.8)					
研究業績	【論文】 医薬品需要の動向からみた被災地に必要な医薬品情報 (共著・2011.12) 【論文】 薬剤師による臨床現場での携帯情報端末 (PDA) の利用に向けて—アメリカの現状分析から— (共著・2010.12) 【学会発表】 薬剤師業務における携帯情報端末 (PDA) の有効活用に関する研究 (共著 2012.3) 【学会発表】 医薬品需要の動向からみた被災地に必要な医薬品情報 (共著 2011.7) 【その他】 教育現場での国内外の DI データベースの活用法 (単著・2012.7)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1347
氏名	岩井 信市	職位	教授	学位	医学博士	
担当科目	「医薬品の研究開発の流れ」「薬剤師の臨床判断」「学部連携病棟実習」「人体の成り立ちと機能 実習」「循環・腎・呼吸・消化・脂質代謝の薬理」「中枢神経系の薬理」					
教育活動	第 8 回実務実習指導薬剤師養成 WS 参加 (2013.8) 第 8 回薬学教育者のための WS 参加 (2013.8) 第 3 回病院指導薬剤師 WS 参加 (2013.7)					
研究業績	【論文】 Benifuuki Tea Suppresses Histamine Signaling and Matrix Metalloproteinase-9 Expression in TDI-Sensitized Nasal Allergy Model Rats (共著・2013.6) 【論文】 Hepatic Gene Expression Associated With Macrophage and Oxidative Stress of Simple Steatosis and Non-Alcoholic Steatohepatitis Model Rats Using DNA Microarray Analysis (共著・2012.1) 【論文】 Tea polyphenols inhibit rat osteoclast formation and differentiation. (共著・2011.12) 【論文】 Increased in matrix metalloproteinase-2 and 9 in the liver of Nonalcoholic steatohepatitis model rats. (共著・2011.3) 【論文】 Quantification of migration and invasion and the association with matrix metalloproteinase-9 in oral squamous cell carcinomas using a real-time cell analyzer 共著・2013)					
学会等および社会における主な活動	日本薬理学会 代議員 (2010.11~現在) 日本眼薬理学会 評議員 (2010.11~現在) 日本臨床薬理学会 評議員 (2006.12~現在)					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	医薬品評価薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1348
氏名	亀井 大輔	職位	専任講師	学位	薬学博士		
担当科目	薬剤師の臨床判断、薬剤師のアドバンスト臨床技能、救急医療・外科医療と薬剤師、実務実習事前学習、基礎薬学演習、調剤・患者対応入門、総合薬学研究						
教育活動	昭和大学薬学部アドバンストWS 参加 (2011.8) 第3回 昭和大学PBLチュートリアル ファシリテータ養成WS 参加 (2008.3) 第1回 かながわ実務実習指導薬剤師養成WS 参加 (2005.6)						
研究業績	【論文】 Deletion of microsomal prostaglandin E synthase-1 protects neuronal cells from cytotoxic effects of β -amyloid peptide fragment 31-35. (共著・2012・8) 【論文】 Microsomal prostaglandin E synthase-1 is involved in multiple steps of colon carcinogenesis. (共著・2012・1) 【論文】 Analysis of two major intracellular phospholipases A(2) (PLA(2)) in mast cells reveals crucial contribution of cytosolic PLA(2) α , not Ca(2+)-independent PLA(2) β , to lipid mobilization in proximal mast cells and distal fibroblasts. (共著・2011・10) 【論文】 Physiological roles of group X-secreted phospholipase A2 in reproduction, gastrointestinal phospholipid digestion, and neuronal function. (共著・2011・4) 【論文】 Investigation of Prognostic Factors in Peripheral Facial Palsy by Multivariate Analysis. (共著・2010・12)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 薬理系薬学部会 若手世話人 (2010.4~現職) 日本薬剤師会 地域在宅委員会 委員 (2012.8~現職)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	医薬品評価薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1349
氏名	小島 章嗣	職位	助教	学位	薬学修士		
担当科目	調剤・患者対応入門、救急医療・外科医療と薬剤師、薬剤師を取り巻く法律と制度(2)、チーム医療実践の基盤チュートリアル(実務実習事前学習)、実務実習事前学習、実務実習に向けて、学部連携病棟実習、病院実習、薬局実習、医薬品の研究開発の流れ、薬剤師の臨床判断、臨床研究概論						
教育活動	第3回 昭和大学教育者のためのワークショップ参加 (2012.7) 第3回昭和大学病院実習指導薬剤師ワークショップ参加 (2013.7)						
研究業績	【学会発表(抄録含む)】 病院実習における症例検討会の導入 (共著・日本薬学会・2013.3) 【学会発表(抄録含む)】 消化性潰瘍用剤における後発医薬品への変更調剤の傾向に関する調査 (共著・日本薬学会関東支部大会・2012.10) 【学会発表(抄録含む)】 医療機関からみた補償のあり方 (共著・臨床薬理・2011.10) 【学会発表(抄録含む)】 説明文書の役割 免責か理解か (共著・臨床薬理・2010.11) 【学会発表(抄録含む)】 EDCの普及と考慮すべき点 (共著・臨床薬理・2010.11)						
学会等および社会における主な活動	日本臨床薬理学会認定CRC						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	地域医療薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1350
氏名	赤川 圭子	職位	専任講師	学位	薬学修士		
担当科目	実践セルフメディケーション、社会保障制度と薬剤経済、薬剤師を取り巻く法律と制度(1)(2)、調剤・患者対応入門、実務実習に向けて、薬局実習、臨床研究を担う薬剤師、薬学への招待、基礎薬学演習、理論・実践薬学演習、チーム医療実践の基盤チュートリアル(実務実習事前学習)、実務実習事前学習、病院実習(学部連携病棟実習を含む)						
教育活動	第23、24回 薬-学連携プログラム 企画運営 (2012.10, 2013.2) 第8回薬学教育者のためのワークショップ参加 (2013.8) 平成24年度第5回 関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ 参加 (2012.7)						
研究業績	一般用医薬品の適正使用に貢献できる薬剤師育成のための卒業教育プログラムの構築とその効果(共著・2010) Descriptive Study on the Circumstances Concerning Confirmation of Contraindications and Medicine and Manifestation of After-use Urinary Disorders(共著・2008) セルフメディケーションの実践プロセス:感冒薬服用による排尿障害経験者を対象とした質的研究(共著・2013.1) 睡眠改善薬に関する消費者の現状および販売時における薬剤師のかかわり(共著・2010) 薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導の現状調査(共著・2013.7)						
学会等および社会における主な活動	東京都薬剤師会 実務実習委員会 委員 (~2015.6) 日本社会薬学会 日本薬学会						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	衛生薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1351
氏名	原 俊太郎	職位	教授	学位	薬学博士		
担当科目	個人・集団・社会と健康、生活環境と健康、安全な食生活入門、健康と環境、日常生活と健康、基礎薬学演習(実務実習に備える)、実務実習事前学習、総合薬学研究、病院実習、薬局実習、発展薬学研究、実務実習事後学習、基礎研究を担う薬剤師、基礎研究を担う薬剤師(アドバンスト)						
教育活動	薬学部教育委員会副委員長 薬学部実務実習委員会副委員長 薬学部実務実習事前学習委員会委員長						
研究業績	Lymphoid tissue phospholipase A2 group IID resolves contact hypersensitivity by driving antiinflammatory lipid mediators (共著・2013.6) Mast cell maturation is driven via a novel group III phospholipase A2/prostaglandin D2/DP1 receptor paracrine axis (共著・2013.6) Microsomal prostaglandin E synthase-1 is involved in multiple steps of colon carcinogenesis (共著・2012.6) Mitochondrial dysfunction and reduced prostaglandin synthesis in skeletal muscle of Group VIB Ca2+-independent phospholipase A2 γ -deficient mice (共著・2010.10) Prostaglandin E synthases: understanding their pathophysiological roles through mouse genetic models (共著・2010.6)						
学会等および社会における主な活動	日本脂質生化学会庶務幹事 (2011.1~現在) 日本薬学会代議員 (2011.2~現在) 日本毒性学会評議員 (2013.1~現在)						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	衛生薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1352
氏名	中谷 良人	職位	准教授	学位	薬学修士		
担当科目	栄養と健康、生活環境と健康						
教育活動	第6回昭和大学薬学部アドバンストワークショップ参加(2011.8)						
研究業績	【論文】 Identification of a cellular protein that functionally interacts with the C2 domain of cytosolic phospholipase A2. (共著・2000.1) 【論文】 Molecular identification of cytosolic prostaglandin E2 synthase that is functionally coupled with cyclooxygenase-1 in immediate prostaglandin E2 biosynthesis. (共著・2000.10) 【論文】 Knockout mice lacking cPGES/p23, a constitutively-expressed PGE2 synthetic enzyme, are peri-natally lethal. (共著・2007.8) 【論文】 Involvement of the constitutive prostaglandin E synthase cPGES/p23 in expression of an initial prostaglandin E2 inactivating enzyme, 15-PGDH. (共著・2011.2) 【論文】 細胞質型プロスタグランジン E2 合成酵素 (単著・2012.6)						
学会等および社会における主な活動							

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座	衛生薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1353
氏名	桑田 浩	職位	専任講師	学位	薬学博士		
担当科目	栄養と健康、安全な食生活入門、健康と環境、基礎薬学演習、実務実習事前学習、初年次体験実習						
教育活動	第2回昭和大学病院実習指導者ワークショップ参加 (2013.1.26)						
研究業績	【論文】 Mitochondrial dysfunction and reduced prostaglandin synthesis in skeletal muscle of Group VIB Ca2+-independent phospholipase A2gamma-deficient mice(共著・2010) 【論文】 Differential contributions of protein kinase C isoforms in the regulation of group IIA secreted phospholipase A2 expression in cytokine-stimulated rat fibroblasts. (共著・2010) 【論文】 A novel role of group VIB calcium-independent phospholipase A2 (iPLA2gamma) in the inducible expression of group IIA secretory PLA2 in rat fibroblastic cells. (共著・2007) 【論文】 Search of factors that intermediate cytokine-induced group IIA phospholipase A2 expression through the cytosolic phospholipase A2- and 12/15-lipoxygenase-dependent pathway. (共著・2005) 【論文】 Group VIB Ca2+-independent phospholipase A2gamma promotes cellular membrane hydrolysis and prostaglandin production in a manner distinct from other intracellular phospholipases A2. (共著・2005)						
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 ファルマシア トピックス小委員 (2013~) 日本薬学会 衛生部会 若手研究者活性化小委員会 委員 (2013~)						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	社会健康薬学講座 衛生薬学部門	勤務施設	旗の台校舎	1354
氏名	依田 恵美子	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	衛生薬学					
教育活動	第1回昭和大学病院実習指導者WS参加(2012.7) 第6回学部連携PBLチュートリアルファシリテータ養成。シナリオ作成WS参加(2010.8) 第1回昭和大学教育者のためのWS参加(2010.7)					
研究業績	【学会発表】 全身性 iPLA2 γ 過剰発現マウスの解析 (共著・2013.6) 【学会発表】 DEVELOPMENTAL DEFECTS CAUSED BY OVEREXPRESSION OF MOUSE GROUP VIB Ca ²⁺ -INDEPENDENT PHOSPHOLIPASE A2. (共著・2013.5) 【学会発表】 膜結合型 Ca ²⁺ 非依存性ホスホリパーゼ A2 は血栓形成に関与する (共著・2013.3) 【学会発表】 癌細胞におけるカルシウム非依存性ホスホリパーゼ A2 の解析 (共著・2013.3) 【学会発表】 膜結合型 Ca ²⁺ 非依存性ホスホリパーゼ A2 の血小板における機能解析 (共著・2012.10)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1355
氏名	村山 純一郎	職位	教授	学位	薬学博士	
担当科目	医療の経済評価入門, 臨床研究を担う薬剤師, 臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)					
教育活動	平成 25 年度昭和大学薬学教育者のためのWS参加(2013.8) 平成 24 年度昭和大学薬学部実務実習指導者WS・タスクフォースとして参加(2012.7) 平成 23 年度昭和大学薬学部アドバンストWS参加(2011.8)					
研究業績	【論文】 回復期リハビリテーション病棟と一般病棟の病棟薬剤業務の比較, -回復期-リハビリテーション病棟業務の特徴 (共著・2013, 9) 【論文】 がん性疼痛に対するオピオイド使用に伴う重篤な便秘の発症に寄与する要因の検討 (共著・2013.4) 【論文】 進行胃がんの化学療法における公用地の測定と職種間効用値測定の評価 (共著・2013, 4) 【論文】 抗がん剤調製者への被曝調査と閉鎖式調製器具の使用効果に関する研究 (共著・2012, 4) 【論文】 がん化学療法レジメン再評価方法の提案 (共著・2012,9)					
学会等および社会における主な活動	東京都薬事委員会委員 日本医療薬学会 代議員 日本薬学会関東支部会委員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1356
氏名	阿部 誠治	職位	専任講師	学位	薬学修士	
担当科目	病院実務実習, 医療の経済評価入門, 臨床研究を担う薬剤師, 病棟実習アドバンスト					
教育活動						
研究業績	【著書】 看護師との協働で薬剤師の役割を見出した患者との出会い; さまざまな事例をとおして薬剤師の役割を考える (共著・2013.6) 【論文】 抗がん剤調製者への被曝調査と閉鎖式調製器具の使用効果に関する研究 (共著・2012) 【論文】 臨床現場におけるがん緩和ケア; 頭頸部がん (共著・2012.9) 【論文】 Development of novel fluorometric assay for nitric oxide utilizing sesamol and its application to analysis of nitric oxide-releasing drugs. (共著・2009) 【論文】 Simultaneous determination of inorganic cations and anion in medical electrolytes by capillary electrophoresis. (共著・2006)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1357
氏名	白田 昌弘	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師, 臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト), 病院実習					
教育活動	第3回教育者のためのワークショップ参加(2012.8) 薬学部 第3回実務実習指導者ワークショップ参加(2013.7)					
研究業績	【論文】 進行胃がんの化学療法における効用値の測定と職種間効用値測定の評価 (共著 筆頭著者・2013.7) 【論文】 がん性疼痛に対するオピオイド使用に伴う重篤な便秘の発症に寄与する要因の検討 (共著 2013.7)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1358
氏名	鈴木 康介	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習, 臨床研究を担う薬剤師, 臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)					
教育活動	第三回 統括薬剤部役職別ワークショップ(2012.5) 第一回 昭和大学病院指導者ワークショップ(2012.7)					
研究業績	【学会発表】 UGT1A1 遺伝子多型解析患者におけるイリノテカンの用量変更・副作用発現状況調査～第2報～(2012.10) 【著書】 標準薬物治療ファイル (執筆協力者, 2013.8)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1359
氏名	川島 渉	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師, 病院実習, 救急医療・外科医療と薬剤師					
教育活動	第1回昭和大学病院実習指導者ワークショップ参加(2012.7) 第3回統括薬剤部役職別ワークショップ参加(2012.5)					
研究業績	【学会発表(抄録含む)】 UGT1A1 遺伝子多型解析患者におけるイリノテカンの用量変更・副作用発現状況調査 第2報 (共同演者・第22回日本医療薬学会年会 2012.10) 【学会発表(抄録含む)】 ケタミン塩酸塩貼付剤の臨床的需要的調査とLC/MS/MSを用いたケタミンおよびノルケタミン微量定量法の確立 (日本薬学会 第131年会 2011.3)					
学会等および社会における主な活動						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1360
氏名	仁尾 祐太	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	薬学教育学					
教育活動	教育者に対するワークショップ参加 (2012.8) 薬学部学生手術室見学引率					
研究業績	【学会発表】肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法 (TACE) 施行時の支持療法の実態調査 (第 23 回日本医療薬学会年会 2013.9)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1361
氏名	小川 泰葉	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習					
教育活動						
研究業績	【論文】がん性疼痛に対するオピオイド使用に伴う重篤な便秘の発症に寄与する要因の検討 (共著・2013.7) 【論文】進行胃がんの化学療法における効用値の測定と職種間効用値測定の評価 (共著・2013.7)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1362
氏名	小島 茜	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床医療薬学					
教育活動	第 12 回関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (2012.9) 平成 22 年度昭和大学薬学部アドバンスドワークショップ参加 (2010.8)					
研究業績	【著書】明日から取り組む病棟業務とチーム医療～臨床薬剤師を育てる 15 の対話～ (共著・2012.3) 【論文】抗がん剤調製者への被曝調査と閉鎖式調製器具の使用効果に関する研究 (共著・2012.9) 【学会発表】婦人科領域のがん化学療法における制吐剤の適正使用の実態調査 (単著・2011.10) 【学会発表】Problem Based Learning (PBL) 形式による新任薬剤師教育プログラムの構築と成果 第 2 報- SB0s (行動目標) とポートフォリオの導入- (単著・2010.11) 【学会発表】退院後在宅ケア移行患者さんへの適切な中心静脈栄養療法のための理解に向けた取り組み (単著・2010.10)					
学会等および社会における主な活動	日本臨床腫瘍学会 会員 (2010.7～継続中) 日本緩和医療学会 会員 (2009.6～継続中) 日本医療薬学会 会員 (2007.7～継続中)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1363
氏名	大戸 祐治	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師, 病棟実習, 薬学的がんケア学					
教育活動	平成 22 年度第 2 回関東地区調整機構認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (2010.5) 第 6 回昭和大学薬学部アドバンスドワークショップ参加 (2011.8)					
研究業績	【著書】難治性疼痛の薬物療法 (2010 年) 樋口比登実 編 (分担執筆 大戸祐治) 【著書】新版よくわかるがん疼痛の治療とケア Q&A (2008 年) 梅田恵, 樋口比登実, 松林幸子 編 (分担執筆) 大戸祐治					
学会等および社会における主な活動	緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 緩和医療薬学会 評議員 (2013.6～)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1364
氏名	岡崎 敬之介	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)、薬学的がんケア学					
教育活動	平成 23 年度 薬学部アドバンスト教育 WS 参加 (2011.8) 平成 23 年度 統括部長会主催 WS 参加 (2011.6)					
研究業績	【論文】 Examination of factors affecting adverse reactions and dosage reduction in UGT1A1 genotyped patients: a retrospective survey of irinotecan (共著・2012.2) 【論文】 Effect of the active adult learning/patient oriented clerkship on affective reaction of students ? from the results of student survey (共著・2011.11) 【学会発表】 UGT1A1 遺伝子多型解析患者におけるイリノテカンの用量変更・副作用発現状況調査 (第 20 回日本医療薬学会年会 2010.11.13-14 日本医療薬学会年会講演要旨集 20, 445, 2010-10-25)					
学会等および社会における主な活動	公益財団法人 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 (2008/09～)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1365
氏名	内倉 健	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	医療の経済評価入門					
教育活動						
研究業績	I 度高血圧患者の脳卒中予防における ACE 阻害薬の OTC 薬化を想定した薬剤経済学的評価 (論文・2011) 【論文】日本における市中肺炎患者に対するクリティカルパス導入による抗生物質の投与日数及び費用に対する影響 (論文・2005)					
学会等および社会における主な活動						

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1366
氏名	若林 仁美	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病棟実習、臨床研究を担う薬剤師					
教育活動						
研究業績	【論文】 Low HCMV DNA copies can establish infection and result in significant symptoms in extremely preterm infants: a prospective study. (共著・2011.10) 【論文】 小児薬物療法認定薬剤師(仮称)の確立に向けて-認定要件とカリキュラムの提案- (単著・2010) 【論文】 日齢43よりパミドロネート周期的点滴静注療法を導入した骨形成不全症の1例 (共著・2009) 【学会発表(抄録含む)】 小児病棟における薬剤管理指導業務 off-label 使用を含む小児薬物療法への病院薬剤師の関わり (2011)					
学会等および社会における主な活動	日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 (2010.4~) 小児薬物療法認定薬剤師 (2013.5~)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1367
氏名	宮野 正広	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習、臨床研究を担う薬剤師					
教育活動						
研究業績	【論文】 抗がん剤調製者への被爆調査と閉鎖式調製器具の使用効果に関する研究 (共著・2012.06) 【論文】 Active Adult Learning 患者担当制病棟実習(PatientOriented Clerkship)の学習者情動への影響(共著・2011.08)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1368
氏名	北原 加奈之	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	P4 薬と疾病 症状からみた鑑別 (症例検討)					
教育活動	第3回 病院実務実習指導者ワークショップ タスクフォース (2013.7) 第2回 病院実務実習指導者ワークショップ タスクフォース (2013.1)					
研究業績	【学会発表】 患者の全身管理に向けた臨床薬剤師間の相互監査 (共同演者・2012.10) 【その他】 薬剤師と医師の共通言語 臨床推論から学ぶ“薬剤師力” [5] (共著・2012.5) 【その他】 薬剤師と医師の共通言語 臨床推論から学ぶ“薬剤師力” [8] (共著・2012.8) 【その他】 薬剤師と医師の共通言語 臨床推論から学ぶ“薬剤師力” [11] (共著・2012.11)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1369
氏名	太田 品子	職位	助教(員外)	学位	薬学学士	
担当科目	病院実務実習					
教育活動						
研究業績						
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1370
氏名	高田 昂輔	職位	助教(員外)	学位	薬学学士	
担当科目	病院実務実習					
教育活動						
研究業績						
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	昭和大学病院・東病院	1371
氏名	米澤 龍	職位	助教(員外)	学位	薬学学士	
担当科目	病院実習					
教育活動	平成25年度第1回 関東地区調整機構認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ (2013.4) 第8回 薬学教育者のためのワークショップ (2013.8)					
研究業績	【学会発表】 肺癌での主要崩壊症候群に対してラスリテック®を使用した一例 (演者・第56回日本薬学会関東支部大会 2012.10) 【学会発表】 デトスメドミジン塩酸塩注をモルヒネ塩酸塩注に段階的に移行した一症例 (共同演者・第7回日本緩和医療薬学会 2013.9)					
学会等および社会における主な活動	日本病院薬剤師会 会員 日本薬学会 会員					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	藤が丘病院	1372
氏名	八木 仁史	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習、臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンス)					
教育活動	平成 22 年度第 7 回関東地区調整機構認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (2010.9) 第 6 回昭和大学薬学部アドバンスワークショップ参加 (2011.8)					
研究業績	【論文】免疫賦活経腸栄養剤インパクト投与時の血中尿素窒素上昇の危険因子の解析 (単著・2011.9) 【論文】東日本大震災における昭和大学の医療救援活動と薬剤師の活動 (共著・2011.12) 【論文】Active Adult Learning 患者担当制病棟実習 (Patient Oriented Clerkship) の学習者情動への影響 (共著・2011.8) 【学会発表】昭和大学藤が丘病院における TPN 施行時のリン投与の実態と安全性に関する検討 (単著・2012.1) 【学会発表】急性期栄養管理における血中 DAO 活性測定の意義 (第二報) グルタミン経腸投与の効果 (共著・2013.1)					
学会等および社会における主な活動	神奈川県病院薬剤師会くすり Get the Answers かながわ推進委員会 委員 (2005.4~現在) 神奈川県食・嘔下リハビリテーション研究会 世話人 (2011.2~現在)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	藤が丘病院	1373
氏名	富家 俊弥	職位	助教	学位	薬学博士	
担当科目	P5 実務実習					
教育活動						
研究業績	【論文】Mizoribine requires individual dosing due to variation of bioavailability (単著・2012.12) 【論文】添付文書上に記載された投与量および小児薬用量の推定式より算出された投与量と実際の投与量との比較 (単著・2013.3) 【論文】Extended-spectrum β -lactamase (ESBL) 産生大腸菌が分離された 上部尿路感染症の乳児 4 例 (共著・2011.9) 【学会発表】小児への安全かつ有効な薬物療法の提供に関する検討 (演者・2012.11) 【著書】入院外来薬物治療プラクティス (共著・2013.4)					
学会等および社会における主な活動	小児薬物療法研修委員 (2012.4~現在) BLS instructor (2010.5~2012.5) 小児薬物療法認定薬剤師 (2013.5~現在)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	藤が丘病院	1374
氏名	田中 広紀	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	P6「薬剤師の臨床判断」、P5 実務実習					
教育活動						
研究業績	【論文】血液培養陽性患者への積極的介入と抗菌薬の de-escalation 療法による医療経済効果 (2011.3) 【論文】昭和大学藤が丘病院におけるリネゾリド使用状況 (2008.12) 【論文】管理抗菌薬の使用届出制導入による影響と評価 (2008.10) 【論文】市販データベースソフトを用いた製剤室業務 (2007.11) 【論文】昭和大学藤が丘病院における抗 MRSA 薬の適正使用へ向けた ICT の取り組み (2007.7)					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	藤が丘病院	1375
氏名	須永 登美子	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病棟実習					
教育活動	第 5 回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 (2013.7)					
研究業績	【論文】化学放射線療法を施行した食道癌患者における嘔吐発現リスクの解析 (共著・2008.1) 【論文】化学放射線療法を施行した食道癌患者における口内炎発現リスクの解析 (共著・2008.4) 【論文】進行再発胃癌症例に対する CDDP+S-1 または CDDP+CPT-11 療法の初回投与後の骨髄抑制発現リスク (共著・2009.4) 【論文】化学放射線療法を施行した食道癌患者における腎毒性と低 Na 血症発現のリスク解析 (共著・2009.1) 【論文】進行再発大腸癌症例に対する CPT-11+TS-1 療法後の骨髄抑制発現リスク (共著・2010.11)					
学会等および社会における主な活動	日本医療薬学会会員					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	藤が丘リハビリテーション病院	1376
氏名	藤原 久登	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	総合薬学研究、病院実習、臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンス)					
教育活動	実務実習委員会委員 (2012~現在)					
研究業績	【論文】回復期リハビリテーション病棟と一般病棟の病棟薬剤業務の比較 一回復期リハビリテーション病棟業務の特徴 (単著・2013.9) 【学会発表】脳血管障害患者の障害部位が服薬自己管理能力に与える影響 (単著・2013.9) 【学会発表】脳卒中患者における入院時 FIM を用いた服薬自己管理導入の予測式の作成 (単著・2013.7) 【学会発表】回復期リハビリテーション病棟において医師が病棟薬剤師に求める業務とは (単著・2013.1) 【著書】プレアポイド報告実例集 3 (共著・2011)					
学会等および社会における主な活動	神奈川県病院薬剤師会業務検討委員会委員 (2006.4~現在)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	横浜市北部病院	1377
氏名	石井 亜矢子	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	総合薬学研究、臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンス)、薬剤師の臨床判断、病院実務実習					
教育活動	平成 22 年度薬学部アドバンスワークショップ参加 第 2 回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 平成 24 年度関東地区調整機構主催 第 11 回認定指導薬剤師養成ワークショップ (薬学教育者ワークショップ) 参加					
研究業績	【論文】昭和大学薬学雑誌 原著 第 2 巻 第 2 号 (2011 年 12 月) 「医薬品需要の動向からみた被災地に必要な医薬品情報」 共著 【論文】薬学雑誌 原著 131 巻 11 号 (2011 年 11 月) Active Adult Learning 患者担当制病棟実習 (Patient Oriented Clerkship) の学習者情動への影響 【その他】昭和医学会雑誌 Vol. 71 (2011) No. 3 P 256-271 特集: 東日本大震災における昭和大学医療救援活動の記録 昭和大学医療救援隊第 3 陣活動報告 【学会発表・講演】2011 年 11 月 11~12 日 第 59 回 日本職業・災害医学会学術大会 シンポジウム 13 災害時医療救援における薬剤師の役割 シンポジスト 「昭和大学医療救援隊活動報告 - 震災後亜急性期における医療救援隊での薬剤師の役割 -」 【学会発表】2011 年 12 月 1~3 日 第 32 回日本臨床薬理学会年会 共同発表者 外来がん化学療法における薬剤師の役割~昭和大学横浜市北部病院における取り組み~ 日本臨床薬理学会巻: 42 号: Supplement 頁: S346					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会会員 日本医療薬学会会員 神奈川県病院薬剤師会会員					

【昭和大学】教員が有する学位及び業績
(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	横浜市北部病院	1378
氏名	市倉 大輔	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習、臨床研究を担う薬剤師					
教育活動	H23 年度薬学教育アドバンスワークショップ参加 (2011.8) 第 2 回昭和大学教育者のためのワークショップ参加 (2011.7)					
研究業績	【論文】がん化学療法レジメン再評価方法の提案 (共著 2012.09) 【学会発表】がん化学療法レジメンの再評価～文献の再確認とエビデンスレベルの設定～ (共著 2010.11)					
学会等および 社会における 主な活動	日本病院薬剤師会 日本医療薬学会 日本臨床腫瘍学会					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	横浜市北部病院	1379
氏名	森 愛奈	職位	助教 (員外)	学位	薬学学士	
担当科目	病院実務実習					
教育活動						
研究業績						
学会等および 社会における 主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	横浜市北部病院	1380
氏名	越塚 宏美	職位	助教 (員外)	学位	薬学学士	
担当科目	病院実務実習					
教育活動	第 3 回 昭和大学病院指導者 WS 参加 (2013.07.13)					
研究業績	【学会発表】当院における DIC 治療の実態調査 (共著 2013.2)					
学会等および 社会における 主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	豊洲病院	1381
氏名	渡邊 徹	職位	専任講師	学位	薬学博士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師 (アドバンスト)、医療の経済評価入門、病院実習					
教育活動	学部合同連携病棟実習ワークショップ参加 (2012.5) 国家試験対策複合問題作成ワークショップ (2011.5) 薬学部アドバンストワークショップ (2010.8)					
研究業績	【論文】UGT1A1 遺伝子多型解析患者におけるイリノテカンの用量変更・副作用発現状況調査 (共著・2012.2) 【論文】Active Adult Learning 患者担当制病棟実習 (Patient Oriented Clerkship) の学習者情動への影響 (共著・2011.11) 【学会発表】当院におけるプラザキサプセル導入症例に関する使用実態調査 (共著・2012.3) 【著書】新薬剤師のための輸液・栄養療法 (共著・2012.4) 【学会発表】薬剤師の新たな臨床技能の習得を目指した体験型実習の取り組み (共著・2012.3)					
学会等および 社会における 主な活動	東京都病院薬剤師会輸液・栄養領域研究会特別委員 (2001.4~2014.3) 東京都病院薬剤師会 教育研修部 部員 (2000.4~2010.3)					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	豊洲病院	1382
氏名	栗原 久瑠美	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実務実習					
教育活動	第 11 回関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成 WS 参加 (2012.8)					
研究業績						
学会等および 社会における 主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	烏山病院	1383
氏名	齋藤 勲	職位	准教授	学位	薬学修士	
担当科目	実務実習 (病院)、臨床研究を担う薬剤師、アドバンスト病棟実習、医療の経済評価入門、実践薬学演習、薬学英語、アドバンスト薬学英語					
教育活動	薬学教育者アドバンストワークショップ参加 (2012.7) 昭和大学附属病院における学部連携病棟実習ワークショップ (文部科学省大学教育推進 GP 事業) 参加 (2012.5) 第 2 回薬学的臨床研究・教育センター主催ワークショップ参加 (2011.1)					
研究業績	【論文】Developing the Patient Oriented Participatory Clerkship - Individual Patient Management and Innovating the Evaluation Scale-. Jan. J. Pharm. Health Care Sci. 3:743-750.2009 【論文】客観的臨床能力試験 (OSCE) の試行にむけた準備と OSCE の副次的効果: 評価者アンケートと受験者アンケートから. 医療薬学, 34, 805-810.2008 【論文】Introduction of the Problem Based Learning and Small Group Discussion into Pharmacotherapy Seminars in a graduate School: Primitive Efficacy Analysis by Subjective and Objective Evaluations. Pharmacy Education. 7:103-108.2007 【論文】Comparison of Physician's Compliance, Clinical Efficacy, and Drug Cost Before and After Introduction of Asthma Prevention and Management Guidelines in Japan (JGL2003). Allergology International.5:33-41.2010 【論文・総説】看護師に必要な薬の知識 在宅, 施設での服薬援助のために. 昭和大学保健医療雑誌. 7:1-5.2010					
学会等および 社会における 主な活動	日本薬学会 会員 日本医療薬学会 会員 日本中毒学会 会員					

(基礎資料 15)専任教員の教育および研究活動の業績

【昭和大学】教員が有する学位及び業績

(平成 25 年 5 月 1 日現在)

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	烏山病院	1384
氏名	杉沢 諭	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師（アドバンスド）、病院実習					
教育活動	第5回薬学部アドバンスドワークショップ参加（2010年8月） 学部合同実習カリキュラム作成ワークショップ（2010年）					
研究業績	【論文】入院中の統合失調症患者に対する多職種による心理教育の効果（共著・臨床精神医学 2013） 【論文】抗がん剤調製者への被爆調査と閉鎖式調製器具の使用効果に関する研究（共著・昭和薬学雑誌 2012.9） 【著書】明日から取り組む病棟業務とチーム医療～臨床薬剤師を育てる15の対話～（じほう 2012.3） 【学会発表】統合失調症を対象とした心理教育プログラムにおける薬剤の影響の検討（社会精神医学会 2013.3） 【学会発表】神経性食思不振症患者の栄養補給療法におけるリン補正と全身管理（日本医療薬学会 2012.10）					
学会等および社会における主な活動	日本医療薬学会（2004～） 社会精神医学会（2010～）					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	烏山病院	1385
氏名	永井 努	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	病院実習					
教育活動	第3回昭和大学病院指導薬剤師ワークショップ参加（2013.7） 第5回昭和大学教育者のためのワークショップ参加（2013.7-8）					
研究業績	【著書】薬剤師の強化書 精神科薬物療法の管理（共著・2011.3） 【著書】精神科領域の服薬指導Q&A 改訂版（共著・2012.4）					
学会等および社会における主な活動	東京都病院薬剤師会薬務薬制部病棟業務整備小委員会 委員（2006.5-現在）					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	歯科病院	1386
氏名	平藤 彰	職位	助教	学位	薬学修士	
担当科目	総合薬学研究、病院実習、臨床研究を担う薬剤師、臨床研究を担う薬剤師（アドバンスド）					
教育活動	昭和大学病院実習指導者WS参加（2011.7） 第3回昭和大学病院指導薬剤師WS参加（2013.7）					
研究業績	【論文】昭和大学歯科病院における薬剤師と歯科衛生士の協働によるCRC業務（単著・2011.4） 【論文】Active Adult Learning 患者担当制病棟実習（Patient Oriented Clerkship）の学習者情動への影響（共著・2011.11） 【学会発表】昭和大学歯科病院における薬剤師の持参薬確認業務に対する医療スタッフの意識調査（共著・2012.6）					
学会等および社会における主な活動						

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	病院薬剤学講座	勤務施設	歯科病院	1387
氏名	二村 哲未	職位	助教（員外）	学位	薬学学士	
担当科目	病院実習					
教育活動	平成25年度第5回 関東地区調整機構認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（2013.7）					
研究業績						
学会等および社会における主な活動	日本病院薬剤師会 日本医療薬学会					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	薬用植物学講座	勤務施設	富士吉田校舎	1388
氏名	平井 康昭	職位	教授（員外）	学位	薬学博士	
担当科目	基礎化学、有機化合物の基礎B、総合サイエンス臨床実習入門、チーム医療の基礎A、チーム医療の基礎B、初年次体験実習、初年次体験実習（学部実習）、基礎サイエンス実習I、基礎サイエンス実習II					
教育活動	平成22年度薬学部アドバンスドワークショップ参加（2010.8） 第1回 昭和大学保健医療学部・富士吉田教育部教育WS参加（2012.3） 第2回 昭和大学保健医療学部・富士吉田教育部合同WS参加（2012.8）					
研究業績	【著書】古代出雲の薬草文化一見直される出雲薬と和方（共著・2013.5） 【総説】生薬あれこれ 五味子（単著・2013.5） 【著書】日本の有毒植物（共著・2013.1） 【論文】Anti-allergic Effects and Bioactive Compounds of Cnidii Rhizoma（共著・2012.6） 【論文】Eight New Oleanane-Type Triterpenoid Saponins From Platycodon Root（共著・2010.10）					
学会等および社会における主な活動	日本薬学会 ファルマシアトピックス小委員（2001.4～2003.3）					

学部等	薬学部	講座・学科・部門等	臨床精神薬学講座	勤務施設	烏山病院	1389
氏名	蜂須 貢	職位	教授（員外）	学位	薬学修士	
担当科目	医薬品の開発と生産入門					
教育活動	平成20年度、21年度、23年度薬学部アドバンスドWS参加（2008.8、2009.8、2011.8） 平成21年度3年生学部横断PBLチュートリアル・ファシリテータ実施（2010.11） 平成22年度、23年度、24年度学部連携病棟実習 指導責任者実施（烏山病院）（2010.6、2011.6、10、11、2012.6、9、10）					
研究業績	【論文】Galantamine for aggressive behavior in Alzheimer's disease.（共著・2012.6） 【論文】抗うつ薬はどの様にうつ病に効果をもたらすか？—SSRIとNaSSAの比較—（単著・2011.5） 【論文】Influence of anticholinergic activity in serum on clinical symptoms of Alzheimer's disease.（共著・2011.1） 【論文】Adverse effects of anticholinergic activity on cognitive functions in Alzheimer's disease.（共著・2010.3） 【著書】D-cycloserineにより曝露療法の効果がなぜ増強するのか？—認知行動療法家のための神経科学—（共著・2010.3）					
学会等および社会における主な活動	活性アミンに関するワークショップ 世話人（2000.4～2012継続中） 日本薬理学会 評議員（1982.4～2012継続中） 活性アミンに関するワークショップ 代表世話人（2008.8）					